

# 参考資料

## ※2020年度通年中止



時 限	月			火			水			木			金			
	講義 番号	科目	担当 者	募集 人数	講義 番号	科目	担当 者	募集 人数	講義 番号	科目	担当 者	募集 人数	講義 番号	科目	担当 者	募集 人数
1 9:30 ~ 11:00					39	仏教と文化 I	木村文輝	15名	77	アジアのなかの日本文化 I	木村文輝	15名	67	東洋史特殊講義A-I	大知聖子	15名
					143	国際関係論	杉山知子	5名	89	仏教と芸術 I	高橋早紀子	10名	120	地域文化研究 I a	高木眞理子	5名
2 11:10 ~ 12:40	3	ドイツ語 I (基礎)	糸井川修	6名	18	英語学概論 a	藤田賢	5名	7	第2言語習得論	上田恒雄	5名	8	教養セミナーⅢ	齋藤和佳子	6名
	14	中国語 I (基礎)	中村綾	6名	28	インド仏教の思想 I	石田尚敏	10名	41	宗教学 I	木村文輝	15名	10	英語圏の文化と社会 I	佐々木真	6名
	20	フランス語 I (基礎)	堀田敏幸	6名	33	禅語録講読 I	河合泰弘	10名	59	書道文化 4 I	明園 劉作勝	5名	31	仏教と現代社会 II	大橋崇弘	6名
	43	宗教社会学 I	熊田一雄	15名	54	人間の尊厳と平等 I	菅原研州	6名	79	国際関係史 I	小林隆夫	10名	49	宗教文化史 I	小林奈央子	10名
	69	日本の古典文学 I	神山重彦	10名	73	古典文学研究 I	川名淳子	15名	92	日本民俗学 I	朝島直	5名	94	日本語学 I	多門晴彦	5名
	76	東アジア史 I	金光旭	5名	81	日本の思想 I	下川玲子	10名	138	金徳論 I	内木茉莉子	5名	112	産業心理学 a	高木浩人	5名
					97	考古学概説 I	長井謙治	10名					134	化学 I	米住準一	6名
					107	日本史特殊研究A-I	松園 斉	10名								
					132	生物学 I	小木曾学	6名								
					136	化学 I	吉村正宏	6名								
				145	産官学連携講座 I	松岡昌幸	10名									
3 13:30 ~ 15:00	5	ドイツ語Ⅲ (総合)	糸井川修	6名	24	ドイツ語会話 I	三宅恭子	6名	37	禅の思想Ⅱ-Ⅰ	河合泰弘	5名	2	社会言語学	石川弓子	5名
	45	宗教文化史 I	熊田一雄	15名	35	禅史 I	河合泰弘	5名	61	書道文化 5 I	明園 劉作勝	5名	12	中国語会話 I	朱新建	6名
	116	社会心理学	大幡直也	5名	100	西洋史特殊研究A-I	中村敦子	5名	87	言語学 I	高田三枝子	5名	47	宗教心理学 I	熊田一雄	15名
	124	人間と環境 I	伊藤雅彦	6名	141	生涯学習社会論	楠原博美	4名	128	化学 I	伊藤雅彦	6名	50	宗教と民俗文化 I	小林奈央子	10名
	150	人間の安全保障論	山旗張星允	5名	147	地域政策	村田尚生	5名	149	コミュニケーション論	村田尚生	5名				
4 15:10 ~ 16:40	16	中国語Ⅲ (表現)	中村綾	6名	22	Business English a	道添栄一	4名	26	フランス語会話 I	F.エーラル	6名	56	日本の思想 I	林淳	10名
	118	先端医療概論	伊藤高行	10名					58	アジアの思想と文化	平野克典	10名	122	健康の科学	小出龍郎	6名
	126	人間と環境 I	伊藤雅彦	6名					109	言語と文化 I	三木理	5名	140	男女共生社会論	岩田和男	5名
									130	化学 I	伊藤雅彦	6名				







# 開かれた大学として、知的財産を広く社会に還元

国の文教政策において、大きな課題となっているのが生涯学習です。その背景に、社会的な知識欲の高まりと生きがいや自己実現の場を求めて、生涯学習ニーズがあることは言うまでもありません。こうした社会情勢の中、本学ではかねてより地域との連携のもとに社会人教育を推進し、平成 4 年度に『公開講座』、平成 8 年度に『開放講座』がスタートしました。

開放講座は、「地域や社会に向けて大学の知的財産を開放」をテーマに、各学部学科で開講している授業科目を一般社会人に開放し、興味や目的に合わせて受講できる講座です。

これまで延べ 20,700 名の方々に知識吸収の場として、講座を受講していただきました。

学生と一緒に、日々の生活に役立つ知識を吸収する場としてご活用ください。


## 目次

---

科目一覧(曜日別).....	巻頭
1. 出願要項 .....	2
2. 聴講特典について.....	3
3. 申込手順 .....	4
4. 授業スケジュール.....	5
5. 科目一覧(ジャンル別).....	6
6. シラバス(講義概要).....	11
7. 聴講に際して .....	110
8. 授業について.....	111
9. 個人情報の取り扱いについて.....	112
10. 講義の閉講について.....	112
11. Q&A .....	113
12. エクステンションセンターからのお知らせ .....	114
13. キャンパスマップ・交通案内.....	116
14. 聴講願書.....	別紙

---

# 1. 出願要項

開講場所	愛知学院大学 日進キャンパス / 名城公園キャンパス
出願資格	高等学校を卒業した方、または愛知学院大学が同等以上の学力があると認められた方。
単位	修得できません。
聴講料	1科目 12,000円 (半期:全15回講義) *「4. 授業スケジュール」参照
開講科目	「6. シラバス(講義概要)」参照
科目定員	科目ごとに制限人数が定められています。*申込多数の場合は、抽選にて決定
聴講期間	春学期(4月～7月)、秋学期(9月～翌年1月)
募集期間	<p>【1次募集】 秋学期科目も同時受付 2020年2月5日(水)～17日(月) 必着 *先着順ではありません。期日前のお申込はお受けできません。 *年間(春・秋)を通じての聴講、秋学期のみ聴講の方もお申込ください。</p> <p>【2次募集(1次募集出願者のみ)】 春学期科目のみ 2020年2月27日(木)～2月28日(金) *先着順</p> <p>【追加募集(秋学期分)】 定員に余裕のある科目のみ8月頃募集を行います。</p>
出願書類	<p>本学所定の聴講願書(巻末) 証明写真1枚(4cm×3cm) 注: <u>無背景のみ</u>。顔が不鮮明なもの、小さいもの、スナップ写真は不可。 最近<u>1年以内</u>に撮影したもの。</p> <p>【見本】                      【悪い例】</p>  <p>頭が切れている                      顔が大きすぎる                      小さすぎる                      など。</p> <p>*申込は郵送または持参。電話・FAX・E-mailは不可。 *出願書類に不備がある場合は、受付できません。</p>
聴講決定	2020年2月21日(金) *聴講可否の結果を送付 注: <u>聴講決定後の科目の追加・変更はできません</u> 。
聴講料納入	2020年2月25日(火)～3月5日(木) *指定銀行口座への納金手続きをしていただきます。 <u>窓口での納入は出来ません</u> 。金額をご確認の上、必ず期間中にお振込ください。
聴講キャンセル	聴講決定後の聴講キャンセルに伴う返金は各学期授業開始日前日(春学期:4月3日(金)、秋学期:9月18日(金))まで受け付けます。 *聴講キャンセル料として1科目1,000円が必要となります。

## 2. 聴講特典について

### A. 図書館情報センターの利用

日進・名城公園キャンパスとも利用ができます。図書の貸出期間は 14 日間で各キャンパス 3 冊まで借りることができます。

### B. スポーツセンターの利用

スポーツセンターでは、トレーニングジムやプールなどが登録料 3,300 円 で利用できます(年度内有効)。

### C. 資格取得講座の受講

エクステンションセンターにて、学内で資格取得を目的とした対策講座を開講しています。「宅建、簿記、FP、行政書士、TOEIC、旅行業務、パソコン操作 (Excel、Word、PowerPoint)、色彩検定」などを開講しており、学生料金で受講することができます。

### D. 学内パソコンの利用

日進キャンパスでは情報処理教育センター (9 号館 2 階)・図書館情報センター、名城公園キャンパスではインテリジェンスキューブ (3 階 Lab F) にて利用できます。また、一人あたり年間 100 枚まで無料で印刷できます。(図書館情報センター利用の場合は、印刷用紙をご持参ください。)

### E. KaihouLounge の利用 (日進キャンパス)

日進キャンパスでは、KaihouLounge として開放講座聴講生が利用できる教室 (9102 教室) を用意しています。聴講生間の情報交換・交流の場として是非ご利用ください。  
※土日祝日、授業日以外(定期試験期間を含む)に利用することはできません。

### F. 駐車場の利用 (日進キャンパスのみ)

通学の際に自動車を利用される場合は、駐車場を登録料 2,200 円 で利用できます(年度内有効)。



### 3. 申込手順

#### ① 聴講申込（1次）

【期間：2月5日(水)～17日(月) 必着】

- 「シラバス(講義概要)」にて、授業の内容、開講される学期、曜日時限、授業時間帯をご確認の上、巻末の「聴講願書」にてお申してください。
- 申込は、郵送または持参にてお願いいたします。  
※電話・FAX・E-mailでの受付はできません
- 年間(春学期・秋学期)を通じての一括申込。  
\*半期(春学期のみ、または秋学期のみ)聴講の方もお申してください。

郵送先住所  
〒470-0195  
愛知県日進市岩崎町阿良池12  
愛知学院大学  
教務課 開放講座係

#### ② 聴講者決定

【聴講結果送付：2月21日(金) 予定】

- 定員数を超える申込があった場合は、抽選にて聴講を決定させていただきます。
- 聴講可否は郵送にてご連絡いたします(不許可の方にも通知します)。  
許可された方には「聴講料納付の案内」を送付いたします。

#### ③ 聴講申込（2次）

【期間：2月27日(木)～28日(金) \*先着順】

- 1次募集出願者のみ対象（聴講結果発送時にご案内）
- 定員に余裕のある春学期開講科目のみを対象に先着順にて教務課窓口で受付

#### ④ 聴講料納入

【期間：2月25日(火)～3月5日(木)】

- 1科目 12,000円(半期)
- 納入方法：銀行振込（詳細は聴講結果発送時にご案内）

#### ⑤ オリエンテーション

【日進キャンパスにて3月18日(水) 予定】

- 「聴講に際しての注意」、「聴講生証の配付」などを行います。（詳細は聴講結果発送時にご案内）

#### ⑥ 聴講開始

【春学期：4月6日(月) / 秋学期：9月21日(月)】

- 講義の教室へ直接お越しください(教室の案内はオリエンテーション時に配付いたします)。
- 教科書・参考文献は、初回授業にて担当教員より案内があります。
- 祝日でも講義が行われる日がありますので、「4. 授業スケジュール」にてご確認ください。

# 4. 授業スケジュール

\* 諸事情により上記授業期間外に講義を行う場合があります。

○ : 事務休業日

○印 : 授業日

<春学期> 4~7月

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
26	㉗	㉘	㉙	㉚		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	4	5	6	⑦	⑧	⑨
10	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
17	⑱	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
24	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	⑥
7	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
14	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
21	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
28	㉗	㉘				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	④
5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
26	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	

<秋学期> 9~1月

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	⑱
20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
27	㉗	㉘	㉙	㉚		

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③
4	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
11	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
18	⑱	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
25	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	④	⑤	⑥	⑦
8	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
15	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
22	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
29	㉗					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	④	⑤
6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
27	㉗	㉘	㉙	㉚		

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	⑦	⑧	⑨
10	11	⑫	⑬	⑭	⑮	16
17	⑱	⑲	20	21	22	㉓
24	25	26	27	28	29	30
31						

## <授業時間帯>

\* キャンパスごとに授業時間帯が異なりますのでご注意ください。

日 進 キ ャ ン パ ス	1限	9:30~11:00
	2限	11:10~12:40
	3限	13:30~15:00
	4限	15:10~16:40
	5限	16:50~18:20

名 城 公 園 キ ャ ン パ ス	1限	9:00~10:30
	2限	10:40~12:10
	3限	13:10~14:40
	4限	14:50~16:20
	5限	16:30~18:00



\*7/23・7/24・12/24・1/20:授業予備日

# 5.科目一覧（ジャンル別）

日進キャンパス

## 言語

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
1	英語学概論b	石川弓子	秋	火	2	5名
2	社会言語学	石川弓子	春	木	3	5名
3	ドイツ語Ⅰ(基礎)	糸井川修	春	月	2	6名
4	ドイツ語Ⅱ(基礎)	糸井川修	秋	月	2	6名
5	ドイツ語Ⅲ(総合)	糸井川修	春	月	3	6名
6	ドイツ語Ⅳ(総合)	糸井川修	秋	月	3	6名
7	第2言語習得論	上田恒雄	春	水	2	5名
8	教養セミナーⅢ	齋藤和佳子	春	木	2	6名
9	教養セミナーⅣ	齋藤和佳子	秋	木	2	6名
10	英語圏の文化と社会Ⅰ	佐々木真	春	木	2	6名
11	英語圏の文化と社会Ⅱ	佐々木真	秋	木	2	6名
12	中国語会話Ⅰ	朱新建	春	木	3	6名
13	中国語会話Ⅱ	朱新建	秋	木	3	6名
14	中国語Ⅰ(基礎)	中村綾	春	月	2	6名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
15	中国語Ⅱ(基礎)	中村綾	秋	月	2	6名
16	中国語Ⅲ(表現)	中村綾	春	月	4	6名
17	中国語Ⅳ(表現)	中村綾	秋	月	4	6名
18	英語学概論a	藤田賢	春	火	2	5名
19	言語・文化と教育入門	藤田賢	秋	水	3	5名
20	フランス語Ⅰ(基礎)	堀田敏幸	春	月	2	6名
21	フランス語Ⅱ(基礎)	堀田敏幸	秋	月	2	6名
22	Business English a	道添栄一	春	火	4	4名
23	Business English b	道添栄一	秋	火	4	4名
24	ドイツ語会話Ⅰ	三宅恭子	春	火	3	6名
25	ドイツ語会話Ⅱ	三宅恭子	秋	火	3	6名
26	フランス語会話Ⅰ	F.モラール	春	水	4	6名
27	フランス語会話Ⅱ	F.モラール	秋	水	4	6名

## 宗教

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
28	インド仏教の思想Ⅰ	石田尚敬	春	火	2	10名
29	インド仏教の思想Ⅱ	石田尚敬	秋	火	2	10名
30	宗教文化史Ⅱ	伊藤雅之	秋	木	2	10名
31	仏教と現代社会Ⅱ	大橋崇弘	春	木	2	6名
32	仏教と現代社会Ⅰ	岡島秀隆	秋	木	4	6名
33	禅語録講読Ⅰ	河合泰弘	春	火	2	10名
34	禅語録講読Ⅱ	河合泰弘	秋	火	2	10名
35	禅宗史Ⅰ	河合泰弘	春	火	3	5名
36	禅宗史Ⅱ	河合泰弘	秋	火	3	5名
37	禅の思想Ⅱ-Ⅰ	河合泰弘	春	水	3	5名
38	禅の思想Ⅱ-Ⅱ	河合泰弘	秋	水	3	5名
39	仏教と文化Ⅰ	木村文輝	春	火	1	15名
40	仏教と文化Ⅱ	木村文輝	秋	火	1	15名
41	宗教学Ⅰ	木村文輝	春	水	2	15名
42	宗教学Ⅱ	木村文輝	秋	水	2	15名
43	宗教社会学Ⅰ	熊田一雄	春	月	2	15名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
44	宗教社会学Ⅱ	熊田一雄	秋	月	2	15名
45	宗教文化史Ⅰ	熊田一雄	春	月	3	15名
46	宗教文化史Ⅱ	熊田一雄	秋	月	3	15名
47	宗教心理学Ⅰ	熊田一雄	春	木	3	15名
48	宗教心理学Ⅱ	熊田一雄	秋	木	3	15名
49	宗教文化史Ⅰ	小林奈央子	春	木	2	10名
50	宗教と民俗文化Ⅰ	小林奈央子	春	木	3	10名
51	宗教と民俗文化Ⅱ	小林奈央子	秋	木	3	10名
52	現代社会と宗教Ⅰ	小林奈央子	春	金	2	10名
53	現代社会と宗教Ⅱ	小林奈央子	秋	金	2	10名
54	人間の尊厳と平等Ⅰ	菅原研州	春	火	2	6名
55	人間の尊厳と平等Ⅱ	菅原研州	秋	火	2	6名
56	日本の思想Ⅰ	林淳	春	木	4	10名
57	日本の思想Ⅱ	林淳	秋	木	4	10名
58	アジアの思想と文化	平野克典	春	水	4	10名

## 文化・歴史

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
59	書道文化4Ⅰ	明園 劉作勝	春	水	2	5名
60	書道文化4Ⅱ	明園 劉作勝	秋	水	2	5名
61	書道文化5Ⅰ	明園 劉作勝	春	水	3	5名
62	書道文化5Ⅱ	明園 劉作勝	秋	水	3	5名
63	比較文化論	伊藤雅之	秋	木	4	10名
64	欧米文化特講Ⅴa	伊藤雅之	春	金	3	10名
65	欧米文化特講Ⅴb	伊藤雅之	秋	金	3	10名
66	表象文化論	岩田和男	秋	木	4	5名
67	東洋史特殊講義A-Ⅰ	大知聖子	春	木	1	15名
68	東洋史特殊講義A-Ⅱ	大知聖子	秋	木	1	15名
69	日本の古典文学Ⅰ	神山重彦	春	月	2	10名
70	日本の古典文学Ⅱ	神山重彦	秋	月	2	10名
71	日本の近代文学Ⅰ	神山重彦	春	金	4	10名
72	日本の近代文学Ⅱ	神山重彦	秋	金	4	10名
73	古典文学研究Ⅰ	川名淳子	春	火	2	15名
74	古典文学研究Ⅱ	川名淳子	秋	火	2	15名
75	東洋史特殊講義B-Ⅱ	菊池一隆	秋	木	3	5名
76	東アジア史Ⅰ	金光旭	春	月	2	5名
77	アジアのなかの日本文化Ⅰ	木村文輝	春	水	1	15名
78	アジアのなかの日本文化Ⅱ	小崎智則	秋	金	2	15名
79	国際関係史Ⅰ	小林隆夫	春	水	2	10名
80	国際関係史Ⅱ	小林隆夫	秋	水	2	10名
81	日本の思想Ⅰ	下川玲子	春	火	2	10名
82	日本の思想Ⅱ	下川玲子	秋	火	2	10名
83	地域文化研究Ⅰa	高木真理子	春	木	1	5名
84	地域文化研究Ⅰb	高木真理子	秋	木	1	5名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
85	欧米文化特講Ⅱa	高木真理子	春	金	2	5名
86	欧米文化特講Ⅱb	高木真理子	秋	金	2	5名
87	言語学Ⅰ	高田三枝子	春	水	3	5名
88	言語学Ⅱ	高田三枝子	秋	水	3	5名
89	仏教と芸術Ⅰ	高橋早紀子	春	水	1	10名
90	仏教と芸術Ⅱ	高橋早紀子	秋	水	1	10名
91	多文化共生社会論	竹田真紀子	秋	月	2	5名
92	日本民俗学Ⅰ	蛸島直	春	水	2	5名
93	日本民俗学Ⅱ	蛸島直	秋	水	2	5名
94	日本語学Ⅰ	多門靖容	春	木	2	5名
95	日本語学Ⅱ	多門靖容	秋	木	2	5名
96	東洋史特殊講義B-Ⅰ	土屋洋	春	金	3	5名
97	考古学概説Ⅰ	長井謙治	春	火	2	10名
98	考古学概説Ⅱ	長井謙治	秋	火	2	8名
99	考古学概論	長井謙治	秋	水	2	8名
100	西洋史特殊研究A-Ⅰ	中村敦子	春	火	3	5名
101	西洋史特殊研究A-Ⅱ	中村敦子	秋	火	3	5名
102	東洋史特殊研究A-Ⅰ	松下憲一	春	金	2	15名
103	東洋史特殊研究A-Ⅱ	松下憲一	秋	金	2	15名
104	中国の思想Ⅰ	松下憲一	春	金	4	15名
105	地域史特殊研究C-Ⅰ	松島周一	春	金	3	10名
106	地域史特殊研究C-Ⅱ	松島周一	秋	金	3	10名
107	日本史特殊研究A-Ⅰ	松蘭斉	春	火	2	10名
108	日本史特殊研究A-Ⅱ	松蘭斉	秋	火	2	10名
109	言語と文化Ⅰ	三木理	春	水	4	5名
110	言語と文化Ⅱ	三木理	秋	水	4	5名

## 日進キャンパス

### 心理

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
111	生涯発達心理学	片山和男	春	金	3	10名
112	産業心理学a	高木浩人	春	木	2	5名
113	産業心理学b	高木浩人	秋	木	2	5名
114	計量心理学a	谷伊織	春	金	1	10名
115	計量心理学b	谷伊織	秋	金	1	10名
116	社会心理学	太幡直也	春	月	3	5名
117	対人認知論	太幡直也	秋	月	3	5名

### 健康

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
118	先端医療概論	伊藤高行	春	月	4	10名
119	ストレス科学論	片山和男	秋	火	1	10名
120	人間と環境Ⅰ	来住準一	春	木	1	6名
121	人間と環境Ⅱ	来住準一	秋	木	1	6名
122	健康の科学	小出龍郎	春	木	4	6名
123	健康の科学	小出龍郎	秋	木	4	6名

### 科学

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
124	人間と環境Ⅰ	伊藤雅彦	春	月	3	6名
125	人間と環境Ⅱ	伊藤雅彦	秋	月	3	6名
126	人間と環境Ⅰ	伊藤雅彦	春	月	4	6名
127	人間と環境Ⅱ	伊藤雅彦	秋	月	4	6名
128	化学Ⅰ	伊藤雅彦	春	水	3	6名
129	化学Ⅱ	伊藤雅彦	秋	水	3	6名
130	化学Ⅰ	伊藤雅彦	春	水	4	6名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
131	化学Ⅱ	伊藤雅彦	秋	水	4	6名
132	生物学Ⅰ	小木曾学	春	火	2	6名
133	生物学Ⅱ	小木曾学	秋	火	2	6名
134	化学Ⅰ	来住準一	春	木	2	6名
135	化学Ⅱ	来住準一	秋	木	2	6名
136	化学Ⅰ	吉村正宏	春	火	2	6名
137	化学Ⅱ	吉村正宏	秋	火	2	6名

### 経済

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
138	金融論Ⅰ	内木茉莉子	春	水	2	5名

### 情報処理

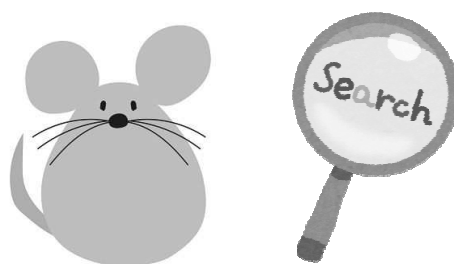
講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
139	マルチメディア論	泉寛幸	秋	金	4	5名

### その他

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
140	男女共生社会論	岩田和男	春	木	4	5名
141	生涯学習社会論	榊原博美	春	火	3	4名
142	現代教育論	榊原博美	秋	火	3	4名
143	国際関係論	杉山知子	春	火	1	5名
144	国際関係史	杉山知子	秋	火	1	5名
145	産官学連携講座Ⅰ	松岡昌幸	春	火	2	10名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
146	産官学連携講座Ⅱ	松岡昌幸	秋	火	2	10名
147	地域政策	村田尚生	春	火	3	5名
148	NPO・NGO論	村田尚生	秋	火	3	5名
149	コミュニティ論	村田尚生	春	水	3	5名
150	人間の安全保障論	山旗張星允	春	月	3	5名
151	国際開発論	山旗張星允	秋	月	3	5名

各科目の授業内容については、P.11～6.シラバス(講義概要)を参照してください。



## 5.科目一覧（ジャンル別）

名城公園キャンパス

### 言語

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
152	フランス語Ⅲ(読解)	堀田敏幸	春	金	2	6名
153	フランス語Ⅳ(読解)	堀田敏幸	秋	金	2	6名

### 宗教

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
154	仏教と現代社会Ⅱ	大橋崇弘	秋	月	4	6名
155	仏教と現代社会Ⅰ	岡島秀隆	春	月	4	6名
156	人間の尊厳と平等Ⅰ	菅原研州	春	月	4	6名
157	人間の尊厳と平等Ⅱ	菅原研州	秋	月	4	6名

### 文化・歴史

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
158	社会思想史	田中秀夫	春	木	2	5名

### 健康

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
159	人間と環境Ⅰ	来住準一	春	水	1	6名
160	人間と環境Ⅱ	来住準一	秋	水	1	6名

### 科学

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
161	化学Ⅰ	伊藤雅彦	春	火	3	6名
162	化学Ⅱ	伊藤雅彦	秋	火	3	6名
163	化学Ⅰ	伊藤雅彦	春	火	4	6名
164	化学Ⅱ	伊藤雅彦	秋	火	4	6名
165	化学Ⅰ	来住準一	秋	火	1	6名
166	数学Ⅰ	南裕明	春	火	1	6名
167	数学Ⅱ	南裕明	秋	火	1	6名
168	数学Ⅰ	南裕明	春	火	3	6名
169	数学Ⅱ	南裕明	秋	火	3	6名
170	化学Ⅰ	吉村正宏	春	金	2	6名
171	化学Ⅱ	吉村正宏	秋	金	2	6名

### 経済

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
172	金融論	荒井耕一郎	春	金	2	3名
173	国際金融論	荒井耕一郎	秋	金	2	3名
174	経済学特講Ⅳ	池上彰	春	水	4	10名
175	ミクロ経済学Ⅲ	岡谷良二	春	木	2	5名
176	中部経済論	岡谷良二	春	金	4	3名
177	公共経済学A	岡谷良二	春	金	5	5名
178	公共経済学B	岡谷良二	秋	金	5	5名
179	都市経済学	岡谷良二	秋	火	4	5名
180	都市経済学A	岡谷良二	春	金	4	5名
181	商学特論Ⅷ/経済学特講Ⅴ	神田真秋	秋	木	2	10名
182	西洋経済史A	後藤俊明	春	水	3	5名
183	西洋経済史B	後藤俊明	秋	水	3	5名
184	一般経済史A	後藤俊明	春	木	2	5名
185	金融システム論	近藤万峰	春	火	4	3名
186	金融政策論	近藤万峰	秋	火	4	3名
187	金融論A	近藤万峰	春	火	5	3名
188	金融論B	近藤万峰	秋	火	5	3名
189	地域経済論	近藤智	春	火	4	3名
190	現代産業論A	近藤智	春	火	5	5名
191	現代産業論B	近藤智	秋	火	5	5名
192	産業組織論	佐橋倫一	秋	水	1	5名
193	マクロ経済学Ⅰ	佐橋倫一	春	水	2	5名
194	マクロ経済学Ⅱ	佐橋倫一	秋	水	2	5名
195	農業経済学A	関根佳恵	春	火	2	3名
196	農業経済学B	関根佳恵	秋	火	2	3名
197	経済学特講Ⅱ	関根佳恵	春	水	2	5名
198	労働経済学A	武内真美子	春	水	2	3名
199	労働経済学B	武内真美子	秋	水	2	3名
200	経済学史A	田中秀夫	春	水	2	5名
201	経済学史B	田中秀夫	秋	水	2	5名
202	保険論A	田畑康人	春	月	2	5名
203	保険論B	田畑康人	秋	月	2	5名
204	生命保険論	田畑康人	春	火	2	3名
205	損害保険論	田畑康人	秋	火	2	3名
206	社会保障論	玉井金五	春	火	4	5名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
207	社会政策論A	玉井金五	春	水	3	3名
208	社会政策論B	玉井金五	秋	水	3	3名
209	国際経済学A	多和田眞	春	火	3	3名
210	国際経済学B	多和田眞	秋	火	3	3名
211	経済学特講Ⅵ	中山厚	春	木	5	5名
212	経済学特講Ⅶ	中山厚	秋	木	5	5名
213	経済政策論A	藤川清史	春	金	3	3名
214	経済政策論B	藤川清史	秋	金	3	3名
215	一般経済史B	二谷智子	秋	木	2	3名
216	日本経済史A	二谷智子	春	金	2	5名
217	日本経済史B	二谷智子	秋	金	2	5名
218	国際貿易論A	古田学	春	火	4	5名
219	国際貿易論B	古田学	秋	火	4	5名
220	アジア経済論	古田学	春	木	3	5名
221	経済原論B	古田学	秋	金	3	2名
222	欧米経済論	松波京子	秋	水	3	5名
223	ファイナンス論	水野伸昭	秋	火	3	3名
224	国際金融論A	水野伸昭	春	水	3	5名
225	国際金融論B	水野伸昭	秋	水	3	5名
226	経済統計学A	宮原正人	春	月	4	2名
227	経済統計学B	宮原正人	秋	月	4	2名
228	経済学A	宮原正人	春	月	5	2名
229	経済学B	宮原正人	秋	月	5	2名
230	マクロ経済学Ⅲ	宮原正人	春	木	3	5名
231	日本経済論A	三好向洋	春	月	5	5名
232	日本経済論B	三好向洋	秋	月	5	5名
233	財政学A	吉田雅彦	春	金	3	3名
234	財政学B	吉田雅彦	秋	金	3	3名
235	地方財政論A	吉田雅彦	春	金	4	5名
236	地方財政論B	吉田雅彦	秋	金	4	5名
237	開発経済学A	李泰王	春	水	5	5名
238	開発経済学B	李泰王	秋	水	5	5名
239	計量経済学A	渡邊隆俊	春	月	2	3名
240	計量経済学B	渡邊隆俊	秋	月	2	3名
241	経済学特講Ⅰ	渡邊隆俊	春	金	4	5名

# 名城公園キャンパス

## 経営

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
242	国際経営論Ⅰ	丹下博文	春	金	3	10名
243	国際経営論Ⅱ	丹下博文	秋	金	3	10名
244	原価会計論A	中澤優介	春	月	1	5名
245	原価会計論B	中澤優介	秋	月	1	5名
246	管理会計論A	中澤優介	春	水	1	5名
247	管理会計論B	中澤優介	秋	水	1	5名
248	財務諸表分析	中山重穂	春	火	2	10名
249	財務会計論A	中山重穂	春	水	2	10名
250	財務会計論B	中山重穂	秋	水	2	10名
251	税務会計論A	野口倫央	春	金	3	5名
252	税務会計論B	野口倫央	秋	金	3	5名
253	中小企業経営論	林伸彦	春	月	3	3名
254	中小企業事例研究	林伸彦	秋	月	3	3名
255	会計学入門Ⅰ	平賀正剛	春	月	3	10名
256	会計学入門Ⅱ	平賀正剛	秋	月	3	10名

## 情報処理

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
257	経営管理実習ⅡC	荒井耕一郎	秋	水	4	2名
258	ソフトウェア開発論	竹治勲	春	水	4	5名
259	データベースⅠ	中野健秀	春	月	4	3名
260	データベースⅡ	中野健秀	秋	月	4	3名
261	データ分析Ⅰ	中野健秀	春	火	3	3名
262	データ分析Ⅱ	中野健秀	秋	火	3	3名
263	データ分析Ⅰ	中野健秀	春	火	4	3名
264	データ分析Ⅱ	中野健秀	秋	火	4	3名
265	情報リテラシーA	御幸英寛	春	水	4	3名
266	情報リテラシーB	御幸英寛	秋	水	4	3名
267	コンピュータシステム論	吉田聡	秋	火	4	5名

## 政治

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
268	比較政治	梅川正美	春	月	2	5名
269	政治学原論	梅川正美	秋	月	2	5名
270	政治思想史	梅川正美	春	月	3	5名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
271	政治学原論	梅川正美	秋	月	4	5名
272	西洋政治史	中谷毅	春	火	2	3名
273	国際関係論	中谷毅	秋	火	2	3名

## 法律

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
274	憲法入門	飯野賢一	春	木	2	5名
275	憲法Ⅰ(統治)	飯野賢一	秋	木	2	5名
276	憲法Ⅱ(人権)A	飯野賢一	春	金	2	5名
277	憲法Ⅱ(人権)B	飯野賢一	秋	金	2	5名
278	刑事訴訟法A	石田倫識	春	火	1	5名
279	刑事訴訟法B	石田倫識	秋	火	1	5名
280	特殊講義V/Ⅰ租税法A(基礎)	小川正雄	春	火	3	5名
281	特殊講義VI/Ⅱ租税法B(応用)	小川正雄	秋	火	3	5名
282	法哲学A	堅田研一	春	月	2	5名
283	法哲学B	堅田研一	秋	月	2	5名
284	国家と宗教	堅田研一	秋	火	1	5名
285	法学	堅田研一	春	木	2	5名
286	日本政治史	栗田直樹	秋	月	1	5名
287	地方政治	栗田直樹	春	月	2	5名
288	政党史	栗田直樹	春	水	1	5名
289	企業取引形態と法	黒野葉子	春	水	3	5名
290	企業取引決済と法	黒野葉子	秋	水	3	5名
291	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	黒野葉子	春	金	3	5名
292	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	黒野葉子	秋	金	3	5名
293	会社法Ⅰ(設立・株式等)A	黒野葉子	春	金	4	5名
294	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	黒野葉子	秋	金	4	5名
295	民法入門	神田桂	春	火	3	5名
296	民法Ⅲ(債権総論)	神田桂	秋	火	3	3名
297	民法Ⅳ(契約)	神田桂	春	金	2	3名
298	民法Ⅳ(契約)	神田桂	秋	金	2	3名
299	地方自治法	小林明夫	春	火	2	5名
300	行政法A	小林明夫	秋	火	2	5名
301	特殊講義XⅣ自治体法務	小林明夫	春	木	2	5名
302	地方自治と法	小林明夫	春	木	4	5名
303	行政法Ⅰ(総論)A	小林明夫	秋	木	4	5名
304	民法Ⅰ(総則)	佐藤啓子	春	火	1	5名
305	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	秋	火	1	5名
306	民法入門	佐藤啓子	春	火	3	5名
307	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	秋	火	3	5名
308	民法Ⅰ(総則)	佐藤啓子	春	火	4	5名
309	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	秋	火	1	5名

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
310	民法Ⅴ(担保物権)	佐藤啓子	春	水	2	3名
311	消費者と法	佐藤啓子	秋	水	2	3名
312	行政法Ⅰ(総論)B	杉原文史	春	月	3	5名
313	行政法Ⅱ(各論)	杉原文史	秋	月	3	5名
314	行政法Ⅰ(総論)A	杉原文史	秋	火	2	5名
315	特殊講義Ⅵ行政紛争と法	杉原文史	春	金	2	5名
316	行政法B	杉原文史	秋	金	3	5名
317	法学	鈴木慎太郎	春	月	2	5名
318	外国法A	鈴木慎太郎	春	火	5	5名
319	外国法B	鈴木慎太郎	秋	火	5	5名
320	環境と法	鈴木慎太郎	秋	水	3	15名
321	法学	鈴木慎太郎	春	木	2	5名
322	法と倫理	鈴木慎太郎	秋	木	2	5名
323	民法Ⅶ(親族)	鈴木伸智	秋	水	3	3名
324	家族と福祉	鈴木伸智	春	木	3	3名
325	現代社会と家族	鈴木伸智	秋	木	3	5名
326	民法Ⅷ(相続)	鈴木伸智	春	金	2	5名
327	特殊講義XⅤ家族法	鈴木伸智	秋	金	2	3名
328	民事執行・保全法	高木敬一	春	水	3	5名
329	民事訴訟法入門	高木敬一	秋	水	3	5名
330	紛争解決と法	高木敬一	秋	金	2	5名
331	民事訴訟法A	高木敬一	春	金	3	5名
332	民事訴訟法B	高木敬一	秋	金	3	5名
333	国際機構と法	尋木真也	春	月	4	5名
334	国際紛争と法	尋木真也	秋	月	4	5名
335	国際法Ⅰ(総論)A	尋木真也	春	木	2	10名
336	国際法Ⅰ(総論)B	尋木真也	秋	木	2	10名
337	国際法Ⅰ(総論)A	尋木真也	春	木	3	10名
338	国際法Ⅰ(総論)B	尋木真也	秋	木	3	10名
339	民法Ⅱ(物の利用と法)	田中淳子	春	月	4	5名
340	金融担保と法	田中淳子	秋	月	4	5名
341	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	秋	月	2	5名
342	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	秋	火	1	5名
343	民法入門	永岩慧子	春	火	3	5名
344	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	秋	火	3	5名
345	損害賠償と法	永岩慧子	秋	火	4	5名

## 名城公園キャンパス

### 法律

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
346	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	春	水	1	5名
347	民法Ⅵ(不法行為等)	永岩慧子	秋	水	3	5名
348	刑法Ⅱ(各論)A	野村健太郎	春	火	2	5名
349	刑法Ⅱ(各論)B	野村健太郎	秋	火	2	5名
350	刑事法入門	野村健太郎	秋	木	2	5名
351	刑法(各論)	野村健太郎	秋	木	4	5名
352	刑法Ⅰ(総論)A	野村健太郎	春	金	2	5名
353	刑法Ⅰ(総論)B	野村健太郎	秋	金	2	5名
354	メディアと法	波多江悟史	春	水	2	5名
355	情報と法	波多江悟史	秋	水	2	5名
356	憲法入門	波多江悟史	春	木	3	5名
357	人権論	波多江悟史	秋	木	3	5名
358	憲法入門	波多江悟史	春	金	2	5名
359	憲法Ⅰ(統治)	波多江悟史	秋	金	2	5名
360	特殊講義Ⅹ国際人権法/国際人権と法	初川満	秋	木	1	5名
361	刑法Ⅱ(各論)A	三上正隆	春	月	4	5名
362	刑法Ⅱ(各論)B	三上正隆	秋	月	4	5名
363	刑法Ⅰ(総論)A	三上正隆	春	火	4	5名
364	刑法Ⅰ(総論)B	三上正隆	秋	火	4	5名

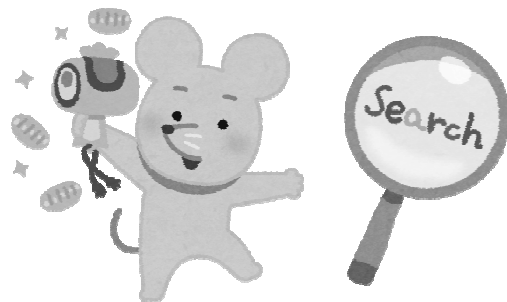
講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
365	刑法(総論)	三上正隆	春	木	3	5名
366	会社法Ⅰ(設立・株式等)A	南川和範	春	水	1	5名
367	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	南川和範	秋	水	1	5名
368	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	南川和範	春	木	1	5名
369	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	南川和範	秋	木	1	5名
370	企業組織の運営と法	南川和範	春	木	2	5名
371	企業組織の資金調達と法	南川和範	秋	木	2	5名
372	特殊講義Ⅸ/Ⅲ金融商品取引法	村上康司	春	水	1	5名
373	特殊講義ⅩⅢ/V 企業法特講	村上康司	秋	水	1	5名
374	会社法Ⅰ(設立・株式等)A	村上康司	春	水	2	5名
375	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	村上康司	秋	水	2	5名
376	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	村上康司	春	水	3	5名
377	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	村上康司	秋	水	3	5名
378	保険法A	山野嘉朗	春	水	1	5名
379	保険法B	山野嘉朗	秋	水	1	5名
380	現代社会と保険	山野嘉朗	春	水	2	5名
381	交通災害と補償	山野嘉朗	秋	水	2	5名
382	商取引法A	山野嘉朗	春	木	4	5名
383	商取引法B	山野嘉朗	秋	木	4	5名

### その他

講義番号	科目名	講師名	学期	曜日	時限	募集人数
384	イノベーション論	内藤勲	春	水	1	10名
385	コミュニケーション論	内藤勲	秋	水	1	10名

各科目の授業内容については、P.50～ 6.講義概要(シラバス)を参照してください。

2020年度より法学部開講科目はすべて  
名城公園キャンパス開講となっております。  
お申し込みの際はご注意ください。



## 6.シラバス(講義概要)

日進キャンパス

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
1	秋	言語	英語学概論b	石川弓子	火	2	5

【副題】 英語学基礎

## 【講義内容】

本講義は、英語の構造や意味についての知識を深めることによって、英語を学ぶ楽しさを知って頂くことを目的とします。扱う内容は、単語ができる仕組み、文の構造、ことばの意味が理解される仕組みなどです。具体的には、例えば同じ言語表現が二通りの意味を持つとき、構造的にどのような違いがあるか、また、英語話者と日本語話者の発話時の視点の違いが言語表現にどのような影響を及ぼすかなどを学びます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
2	春	言語	社会言語学	石川弓子	木	3	5

【副題】 ことばと社会の関係を学ぶ

## 【講義内容】

言語政策、多言語社会など、社会と言語の間には密接な関係があります。本講座では、人種、社会的身分、性別、年齢といった社会的な要素と言語の関わり、国語、公用語、言語教育政策のような、国家と社会の関係などについて学びます。文化の違いから生じる「丁寧さ」に対する考え方の違いなどについても学びますので、異文化理解、異文化交流についての理解も深まると思われます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
3	春	ドイツ語	ドイツ語 I (基礎)	糸井川修	月	2	6

【副題】 ドイツ語にチャレンジしよう(1)

## 【講義内容】

私たちは母国語を、自然に経験を重ねて習得できました。しかし、ドイツ語学習の場合はそうはいきません。不足する経験を理論で補います。約束事(文法)を最大限に活用します。文法は難しいものではなく、とても便利なものです。文法理解を基礎にして、ドイツ語の総合的な運用能力の養成を目指します。ドイツ語 I では、主に名詞の性や格など、英語にはなかった文法が出てきます。新しい世界に挑戦してみませんか？

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
4	秋	ドイツ語	ドイツ語 II (基礎)	糸井川修	月	2	6

【副題】 ドイツ語にチャレンジしよう(2)

## 【講義内容】

ドイツ語の初級文法を学びつつ、ドイツ語を「読む」「書く」「聞く」「話す」力を養います。I と II の1年間の学習によって、最終的には、テキストを正しく発音できること、辞書の力を借りて、正確な日本語訳ができること、単語の置き換えによって基本表現を応用できることを目標とします。ドイツ語 II では、I で学んだ文法をもとに、形容詞の変化や助動詞、過去形・完了形といった様々な時制の表現などを学んでいきます。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
5	春	言語	ドイツ語Ⅲ(総合)	糸井川修	月	3	6

【副題】ドイツ語の基礎の応用(1)

【講義内容】

ドイツ語の基礎文法を一通り学び終えた方を対象に、文法を反復練習しながら、中級への橋渡しを目的とする授業です。日常表現を中心とした教材を用いて、ドイツ語の正しい理解、発音、独作文などに挑戦し、ドイツ語に慣れ親しんで頂きたいと思います。授業はLL教室で行い、映像教材を見たり、機械を使った発音練習なども行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
6	秋	言語	ドイツ語Ⅳ(総合)	糸井川修	月	3	6

【副題】ドイツ語の基礎の応用(2)

【講義内容】

ドイツ語Ⅲ(総合)の内容と教材を引き継いで行う、中級への橋渡しを目的とする授業です。基礎文法の反復練習に加え、関係代名詞や接続法などの文法も取り上げ、やや複雑な文章にも挑戦しながら、ドイツ語の理解を深めて頂きたいと思います。授業はLL教室で行い、映像教材を見たり、機械を使った発音練習なども行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
7	春	言語	第2言語習得論	上田恒雄	水	2	5

【副題】なぜ外国語は母語のように習得できないのか？

【講義内容】

この講義は、「外国語を学ぶ」ということが、専門的にどのように捉えられているかを理解することができるように、次の3点を目標とする。1) 英語学習者が英語を習得する過程について説明できる。2) 母語習得と第二言語習得の違いを説明できる。3) 第二言語習得論におけるさまざまな理論や先行研究の成果について説明できる。授業では自らの外国語学習の経験を振り返りながら、外国語学習の考え方や研究方法に触れ、例えば学習者がどのような過程を経て英語を習得していくのかを学ぶと同時に言語習得のメカニズムをふまえた知識にも触れる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
8	春	言語・文化	教養セミナーⅢ	齋藤和佳子	木	2	6

【副題】「ボンジョルノ！イタリア」－文化と会話を楽しもう－（入門）

【講義内容】

当セミナーでは、「イタリア料理」と「イタリアの街」を通してイタリア文化に触れながら、イタリア語で簡単な自己紹介ができるように学んでいきます。イタリアの人々と行ってきた「文化交流」の体験事例も紹介します。初めて学ぶ方にもわかりやすいように、映像・音楽などの視聴覚教材を活用していきます。魅力の国、イタリアの扉を開けてみましょう。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
9	秋	言語・文化	教養セミナーⅣ	齋藤和佳子	木	2	6

【副題】「ボンジョルノ！イタリア」－文化と会話を楽しもう－（初級）

【講義内容】

春学期に引き続き、「イタリア料理」と「イタリアの街」を通してイタリア文化に触れながら、イタリア語で簡単な自己表現ができるように学んでいきます。イタリアの人々で行ってきた「文化交流」の体験事例も紹介します。初めて学ぶ方にもわかりやすいように、映像・音楽などの視聴覚教材を活用していきます。魅力の国、イタリアの扉を開けてみましょう。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
10	春	言語	英語圏の文化と社会Ⅰ	佐々木真	木	2	6

【副題】 Language and Communication

【講義内容】

This course aims to provide the students with opportunities to consider the significance of language in communication. Language plays a critical role in human interaction even though nonlinguistic media, such as facial expressions, also carry important information. The course is will be conducted exclusively in English, therefore, those who plan to take this course are expected to have certain English fluency e.g. Pre-first Grade of English Proficiency Test (EIKEN).

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
11	秋	言語	英語圏の文化と社会Ⅱ	佐々木真	木	2	6

【副題】 Language and Society

【講義内容】

This course aims to provide the students with opportunities to consider the significance of a language in the society. There are differences in linguistic properties and semantic values in any society due to various social factors. The course is will be conducted exclusively in English, therefore, those who plan to take this course are expected to have certain English fluency e.g. Pre-first Grade of English Proficiency Test (EIKEN).

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
12	春	言語	中国語会話Ⅰ	朱新建	木	3	6

【副題】 少人数のペアワークによる楽しい会話

【講義内容】

入門から初級レベルまでの中国語会話です。ペアワークによる会話の練習をしていきます。発音を重視し、ペアワークによる会話の発表を毎回行います。中国映画観賞を通して聴解力をアップします。受講生の中国語検定試験HSKへの挑戦をバックアップします。パソコンの使用が可能です。中国語学習経験者も大歓迎ですので、若い学生たちと楽しく中国語の会話をしましょう。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
13	秋	言語	中国語会話Ⅱ	朱新建	木	3	6

【副題】 少人数のペアワークによる楽しい会話

【講義内容】

入門から初級レベルまでの中国語会話です。ペアワークによる会話の練習をしていきます。発音を重視し、ペアワークによる会話の発表を毎回行います。中国映画観賞を通して聴解力をアップします。受講生の中国語検定試験HSKへの挑戦をバックアップします。パソコンの使用が可能です。中国語学習経験者も大歓迎です。で、若い学生たちと楽しく中国語の会話をしましょう。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
14	春	言語	中国語Ⅰ(基礎)	中村綾	月	2	6

【副題】 中国語入門—発音からしっかりと学ぼう

【講義内容】

中国語の入門の授業です。初めて習う人を対象とします。中国語は漢字を使う言語ですが、入門では、まずピンイン(ローマ字を用いた中国語の発音記号)を習わなくてはなりません。簡単なあいさつなどをピンインを使って習い、発音記号が一通り読めるようになった後は、中国語の文法を一から学んでいきます。文を読むだけでなく、自分で作ったり、聞き取ったりできるようになるのが目標です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
15	秋	言語	中国語Ⅱ(基礎)	中村綾	月	2	6

【副題】 中国語初級—基本的な文型を学ぼう

【講義内容】

内容は春学期の「中国語Ⅰ(基礎)」の続きで、テキストも同じものを使います。中国語の発音に大分慣れたところで、様々な基本文型を学び、それにいろいろな単語を当てはめて表現のバリエーションを増やしていきます。基礎の段階ですから内容はまだ難しくありません。聞く・話すの練習を積み重ねることによって中国語が身についていくことを目指します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
16	春	言語	中国語Ⅲ(表現)	中村綾	月	4	6

【副題】 中国語の様々な表現を身に付けよう

【講義内容】

一年間習ってきた中国語をさらにレベルアップしていきます。授業では、中国語の文章を読んだり、聴いたり、話したりしながら様々なスキルを自分のものにしていくことを目指します。授業は教科書を使用して進めますが、それ以外にも、アニメや映画の台詞などからも学んでいきます。また、並行して中国語検定の問題集にも取り組んでいきます。色々な中国語の表現に触れることで中国語文法の理解を深めていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
17	秋	言語	中国語Ⅳ(表現)	中村綾	月	4	6

【副題】 中国語の様々な表現を身に付けよう

【講義内容】

春学期に引き続き、中国語の文章や音声・映像などから中国語を総合的に身に付けていきます。中国語で様々なことを表現できるようになることを目指し、同時に中国語検定など資格取得の対策も行います。教科書以外の中国語にも触れ、より多くの中国語を自分のものにしていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
18	春	言語	英語学概論a	藤田賢	火	2	5

【副題】 英語学基礎

【講義内容】

本講義は、英語の発音と綴り、標準英語と英語の変種、英語と文化、英語と社会・国家の関係、日本の英語教育と教授法などについて基礎的な知識を身につけ、ことばそのものだけでなく、ことばの周辺にあるものとの関係からことばを見つめることによって、言語への理解を深めることを目的とします。 ※授業レベル: 上級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
19	秋	言語	言語・文化と教育入門	藤田賢	水	3	5

【副題】 第二言語習得論・応用言語学基礎

【講義内容】

第二言語習得研究から外国語学習・外国語教育の在り方について考えます。応用言語学から言語と社会・文化の様々な関係について考えます。研究課題やトピックについて意見交換しながら学習します。 ※授業レベル: 上級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
20	春	言語	フランス語Ⅰ(基礎)	堀田敏幸	月	2	6

【副題】 フランス語への第一歩

【講義内容】

フランス語に限らず外国語を学ぶことは、楽しくもあり素晴らしいことです。異国の人と視線だけでなく言葉を交わすことが出来るし、外国の見知らぬ街角を一步でも奥へと、胸おどらせて踏み入ることが可能となります。そこで、フランス語の基本文法とともに挨拶や買い物などの短文を覚え、日常会話に慣れます。一言、ボン・ジュール！(今日は)と言ってみるだけで、あなたの知らない世界が生まれるでしょう。 ※授業レベル: 入門

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
21	秋	言語	フランス語Ⅱ(基礎)	堀田敏幸	月	2	6

【副題】 フランス語は希望の言葉

【講義内容】

秋学期は、フランス語Ⅰで学んだことを、更に深めていきます。テキストの短い例文を繰り返し反復することで、フランス語のリズムを身につけます。一言、あなたがメルシー(有難う)と言ってみれば、フランス人の明るい笑顔が答えてくれます。日常生活の機微にふれる会話文を覚えて、フランスへ旅行しても、フランス人と楽しい意思疎通ができるようにしたい。\*授業レベル:初級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
22	春	言語	Business English a	道添栄一	火	4	4

【副題】 シーン毎に学ぶビジネス英語

【講義内容】

教科書に沿ってDVDを見ながらビジネスシーンで使われる英語表現を学んでいきます。社交会話、コミュニケーション、会議、発表、交渉の5つのビジネスシーンに出てくる実践的なビジネス英会話を学びながら「聞く、話す」能力を高め、同時にビジネスの理解も深めてゆきます。また、メモ・報告書、契約書等の文書訓練を通じて、語彙や「読む、書く」能力の向上も目指します。中級程度のレベルです。予習を前提に授業を進めます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
23	秋	言語	Business English b	道添栄一	火	4	4

【副題】 国際ビジネスと異文化理解

【講義内容】

Business English aはDVDを見ながらビジネスシーン毎の会話中心の学習ですが、本講では、教科書でビジネス、文化等に関する記事をまず読みます。CDを聴きながら、国際ビジネスマナー、異文化理解等基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指すとともに、対話を通じて実用性の高いビジネス英会話の練習をします。中級レベルの内容です。予習を前提に授業を進めます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
24	春	言語	ドイツ語会話Ⅰ	三宅恭子	火	3	6

【副題】 ドイツ語会話の基礎を学ぶ(1)

【講義内容】

ドイツ語の基礎文法や基本的な語彙を学習したことがある方を対象としています。基本的な文法を復習しながら、多くの会話パターンを練習したいと思っています。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
25	秋	言語	ドイツ語会話Ⅱ	三宅恭子	火	3	6

【副題】ドイツ語会話の基礎を学ぶ(2)

【講義内容】

文法を再度確認しながら、パターン練習を重ね、ドイツ語会話の基礎を勉強します。ドイツ語のリズムや発音が身に付くようにします。ドイツの話題にも触れながら、ドイツ語での意思表示や様々な表現に挑戦します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
26	春	言語	フランス語会話Ⅰ	F.モラール	水	4	6

【副題】Conversation françaiseⅠ

【講義内容】

基本的な口語表現を練習することによって、実用的なフランス語表現の使い方を覚えるように訓練します。一年程度の初歩のフランス語文法の知識が必要です。(初・中級)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
27	秋	言語	フランス語会話Ⅱ	F.モラール	水	4	6

【副題】Conversation françaiseⅡ

【講義内容】

基本的な口語表現を練習することによって、実用的なフランス語表現の使い方を覚えるように訓練します。一年程度の初歩のフランス語文法の知識が必要です。(初・中級)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
28	春	宗教	インド仏教の思想Ⅰ	石田尚敬	火	2	10

【副題】インド仏教思想における唯識思想の誕生

【講義内容】

本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の思想史的展開を把握することを目的とします。本年度は、仏教思想において「心」と認識の問題がどのように論じられているか見ていきます。春学期は、インド仏教思想において展開した唯識思想に焦点を当て、仏教の思想史においてなぜ唯識思想が誕生したのか、その背景に迫りつつ、唯識思想の意味を考察します。講義では、講師の解説のほか、原典とその翻訳を配布して読解します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
29	秋	宗教	インド仏教の思想Ⅱ	石田尚敬	火	2	10

【副題】 インド仏教における唯識思想の展開

【講義内容】

本講義では、春学期に引き続き、インドにおける仏教の思想史的展開を解説します。本年度は、仏教思想における「心」と認識の問題を主題とし、秋学期は、唯識思想を原典に即して考察します。ヴァスバンドゥ(世親)の『唯識三十頌』を中心に、唯識思想の基本的理解を解説するほか、中国をはじめとした東アジアで展開した法相宗の解釈も併せて考察します。講義では、原典とその翻訳を配布して読解します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
30	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ	伊藤雅之	木	2	10

【副題】 欧米と日本の幸福のゆくえ

【講義内容】

この授業では、欧米と日本で追い求められる効率主義と豊かさ、そして人びとの幸福の関係を対象とし、現代のスピリチュアリティ、マインドフルネスの展開を検討する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
31	春	宗教	仏教と現代社会Ⅱ	大橋崇弘	木	2	6

【副題】 現代に生きる禅の精神

【講義内容】

中国から日本に伝わった禅仏教は、宗教としてのみではなく日本人の精神を豊かにする新たな概念として人々に受け入れられている。本講義では現代生活の中に脈々と受け継がれている禅の要素をとり上げ考察していく。講義内容…「禅とは何か」・「海外に広まるZEN」・「スポーツ・武道と禅」・「癒しとしての禅」等 資料等…講義時にプリント配布

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
32	秋	宗教	仏教と現代社会Ⅰ	岡島秀隆	木	4	6

【副題】 仏教の可能性を考える

【講義内容】

本講義は、「①仏教者の言葉は現代人にどのような指針を提供できるのか ②仏教的世界観や仏教的イメージは現代人にどのように映り、どのような影響を持ち得るか ③多様化する現代社会において、仏教はどのような役割を担い得るか」という課題を念頭に置きながら、前半は禅者・仏教者の名言を、後半は仏教的イメージ世界(須弥山世界や華嚴経の世界、地獄、浄土など)をppt、DVDなどの資料を用いて紹介する。[テキストはプリントを配付する]

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
33	春	宗教	禅語録講読Ⅰ	河合泰弘	火	2	10

【副題】『祖堂集』を読む(1)

【講義内容】

『祖堂集』は、952年に成立した禅宗燈史(仏法の伝授を伝える歴史書)のひとつである。本書では、過去七仏から西天(インド)の28代を経て、中国禅宗六祖慧能に至る各祖師と、六祖門下南嶽系の臨濟義玄の孫弟子までと、青原系の雪峯義存の孫弟子までの257人の祖師の師資相承の伝記がまとめられており、それぞれの祖師の語録をもとに編集された「語録のダイジェスト版」とも言える。本講義では、六祖慧能下、青原系の各祖師の伝記を講読する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
34	秋	宗教	禅語録講読Ⅱ	河合泰弘	火	2	10

【副題】『祖堂集』を読む(2)

【講義内容】

『祖堂集』は、952年に成立した禅宗燈史(仏法の伝授を伝える歴史書)のひとつである。本書では、過去七仏から西天(インド)の28代を経て、中国禅宗六祖慧能に至る各祖師と、六祖門下南嶽系の臨濟義玄の孫弟子までと、青原系の雪峯義存の孫弟子までの257人の祖師の師資相承の伝記がまとめられており、それぞれの祖師の語録をもとに編集された「語録のダイジェスト版」とも言える。本講義では、「禅語録講読Ⅰ」(春学期)に引き続き、六祖慧能下、青原系の各祖師の伝記を講読する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
35	春	宗教	禅宗史Ⅰ	河合泰弘	火	3	5

【副題】中国禅宗思想史

【講義内容】

禅は、インドで発生し、中国に伝わり禅宗として発展した。ダルマを初祖とする中国禅宗は、ダルマから数えて6代目の時代に大きな転換期を迎え、北宗禅と南宗禅に分かれて隆盛へと向かった。特に南宗禅は、その後、更なる分派を繰り返し、五家七宗へと展開し、やがてわが国にもたらされた。本講座では、中国禅宗を中心に、代表的な祖師の語録や燈史(仏法の伝授を伝える禅宗の歴史書)などの記述を参考にしながら、その歴史と思想についての理解を深めていきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
36	秋	宗教	禅宗史Ⅱ	河合泰弘	火	3	5

【副題】中国禅宗祖師伝

【講義内容】

禅は、インドで発生し、中国に伝わり禅宗として発展した。ダルマを初祖とする中国禅宗は、ダルマから数えて6代目の時代に大きな転換期を迎え、北宗禅と南宗禅に分かれて隆盛へと向かった。特に南宗禅は、その後、更なる分派を繰り返し、五家七宗へと展開し、やがてわが国にもたらされた。本講座では、中国禅宗の代表的な祖師の伝記を講読することによって、禅宗の歴史と思想についての理解を深めていきたい。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
37	春	宗教	禅の思想Ⅱ－Ⅰ	河合泰弘	水	3	5

【副題】 禅の公案に学ぶ(1)

【講義内容】

禅の公案とは、仏祖が示した仏法の道理で、多くは師弟の間に交わされた問答体で表現される。それは難解な対話の例えにもされるが、様々な示唆が含まれている。本講座では、中国の禅宗で成立した「語録」や「燈史」の中に含まれる公案を講読して、禅思想の理解を深めてゆく。テキストは、道元の著した『正法眼蔵三百則』などの公案集や『景德伝燈録』などの燈史を用いるが、その都度プリントを配布する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
38	秋	宗教	禅の思想Ⅱ－Ⅱ	河合泰弘	水	3	5

【副題】 禅の公案に学ぶ(2)

【講義内容】

禅の公案とは、仏祖が示した仏法の道理で、多くは師弟の間に交わされた問答体で表現される。それは難解な対話の例えにもされるが、様々な示唆が含まれている。本講座では、「禅の思想Ⅱ－Ⅰ」(春学期開講)に引き続き、中国の禅宗で成立した「語録」や「燈史」の中に含まれる公案を講読して、禅思想の理解を深めてゆく。テキストは、道元の著した『正法眼蔵三百則』などの公案集や『景德伝燈録』などの燈史を用いるが、その都度プリントを配布する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
39	春	宗教	仏教と文化Ⅰ	木村文輝	火	1	15

【副題】 現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化

【講義内容】

本講義では、現代まで伝わる日本仏教の様々な思想と、それにもとづく日本文化の諸相について、その淵源を日本仏教の歴史の中に探ることを目指します。具体的には、日本への仏教の伝来以来、それぞれの時代背景の中で成立した思想と文化を時系列にそって概観するとともに、それらが現代の日本において、どのような形で受け継がれているのかを考察します。また、その一環として、神と仏の共存についても論及する予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
40	秋	宗教	仏教と文化Ⅱ	木村文輝	火	1	15

【副題】 仏教からみる「いのち」と尊厳

【講義内容】

本講義では、仏教的観点から「いのち」と尊厳について考察します。生と死の定義から、自殺や他殺、臓器移植の問題、葬儀や汚れ等の文化的事象まで、幅広く扱う予定です。考察にあたっては、インド的、あるいは日本的な仏教の教義の解説をまじえるとともに、キリスト教や生命倫理学の観点も参照します。また、関連するビデオ教材も利用する一方、受講生の意見も参考にします。なお、参考書として『生死の仏教学』(木村文輝著、法蔵館)を使用します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
41	春	宗教	宗教学Ⅰ	木村文輝	水	2	15

【副題】 人間にとって宗教とは何か

【講義内容】

世界情勢や日本文化を理解するために、宗教の理解は欠かせません。また、エセ「宗教」に惑わされないためにも、宗教の正確な理解は不可欠です。本講義では、「聖なるもの」と人との関係、人間の心理活動、社会秩序の維持という3つの観点から、宗教の考察を行います。ただし、個別の宗教の解説は最小限にとどめます。また、本講義は1年生の必修科目であり、愛知学院大学の建学の精神を学ぶためのものであることをご承知おきください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
42	秋	宗教	宗教学Ⅱ	木村文輝	水	2	15

【副題】 釈尊から禅へ(建学の精神を学ぶ)

【講義内容】

本講義では、古代インドの思想から説き起こし、仏教の開祖である釈尊の教え、大乘仏教の思想、および、禅の立場を概説します。教科書には『宗教と人間』(愛知学院大学宗教研究会編、大東出版社)を用います。ただし、インド、中国、日本における仏教の歴史の全体像を論ずることはいたしません。また、本講義は1年生の必修科目であり、愛知学院大学の建学の精神を学ぶためのものであることをご承知おきください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
43	春	宗教	宗教社会学Ⅰ	熊田一雄	月	2	15

【副題】 現代日本の宗教問題

【講義内容】

宗教と社会の相関関係を分析する宗教社会学。前期の授業では、宗教社会学の話題を幅広く扱う。後期の授業では、社会的影響力に比してそもそも実態の知られていない新宗教や「精神世界」の問題を概観する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
44	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ	熊田一雄	月	2	15

【副題】 現代日本の宗教問題

【講義内容】

宗教と社会の相関関係を分析する宗教社会学。前期の授業では、宗教社会学の話題を幅広く扱う。後期の授業では、社会的影響力に比してそもそも実態の知られていない新宗教や「精神世界」の問題を概観する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
45	春	宗教	宗教文化史Ⅰ	熊田一雄	月	3	15
【副題】 世界の宗教文化の歴史的背景と現状							
【講義内容】 世界の主要な宗教伝統の歴史をはば広く扱う。マスメディアが取り上げるような世界の様々な宗教問題を、ジャーナリストとは一味違う学者の視点から分析する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
46	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ	熊田一雄	月	3	15
【副題】 世界の宗教文化の歴史的背景と現状							
【講義内容】 世界の主要な宗教伝統の歴史をはば広く扱う。マスメディアが取り上げるような世界の様々な宗教問題を、ジャーナリストとは一味違う学者の視点から分析する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
47	春	宗教	宗教心理学Ⅰ	熊田一雄	木	3	15
【副題】 ジェンダー論入門							
【講義内容】 宗教や心理療法の話題を中心に、女性学・男性学の基本を学ぶ。「男らしさ/女らしさ」とイメージされるものの大半は、生物学的宿命ではなく社会や文化によって構築されるもの、従って変化するものである。急激に変化する現代日本社会において、ジェンダー(社会的文化的性差)は、人々の「心の問題」にどう影響するかを考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
48	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ	熊田一雄	木	3	15
【副題】 ジェンダー論入門							
【講義内容】 宗教や心理療法の話題を中心に、女性学・男性学の基本を学ぶ。「男らしさ/女らしさ」とイメージされるものの大半は、生物学的宿命ではなく社会や文化によって構築されるもの、従って変化するものである。急激に変化する現代日本社会において、ジェンダー(社会的文化的性差)は、人々の「心の問題」にどう影響するかを考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
49	春	宗教	宗教文化史 I	小林奈央子	木	2	10

【副題】 神話から考える宗教

【講義内容】

神話myth(英)は、ギリシア語のmythos(ミートス)、すなわち「真実の話」を起源とし、「神聖なる叙述」といわれます。世界各地で生み出され、宇宙や自然の始原、神々の起源、故事来歴などが記されました。神話という「古いもの」というイメージがありますが、実際には後世に編集されたり、宗教の影響を受けたりして成立しているため、驚くほど現代に生きる私たちの文化ともつながっています。本講義では世界各地の神話を通して、その地域の文化的特色や宗教について考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
50	春	宗教	宗教と民俗文化 I	小林奈央子	木	3	10

【副題】 日本の民俗宗教

【講義内容】

現代の日本人の日常生活では、宗教への関心やかかわりは希薄になってきています。また、「無宗教」を自認する日本人も少なくありません。しかし、そうした日本人であっても初詣や盆行事、先祖供養などは比較的多くの人がおこなっています。本授業では、「日本民俗学の祖」とされる柳田國男や折口信夫、また、柳田以降、日本の民俗文化を明らかにしようとした先学の研究に学びながら、日本の民俗宗教の特色や、宗教と民俗文化との関係について学びます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
51	秋	宗教	宗教と民俗文化 II	小林奈央子	木	3	10

【副題】 日本の諸信仰

【講義内容】

日本の民俗宗教には、さまざまな種類の信仰が見られます。伊勢信仰や諏訪信仰など特定の神社に関わる信仰や、観音信仰や阿弥陀信仰など仏教にもとづくものも存在します。また、富士信仰や御嶽信仰などの山岳信仰、歳神や妖怪などの民間信仰、帯祝いのような産育儀礼、正月や彼岸といった年中行事も日本の民俗宗教に含まれます。本授業では、さまざまな日本の諸信仰を取り上げ、日本の民俗宗教を総合的に理解・展望しようという視点から学んでいきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
52	春	宗教	現代社会と宗教 I	小林奈央子	金	2	10

【副題】 宗教から読み解く現代社会①

【講義内容】

世界に渦巻く排外主義や民族問題、人種やジェンダーにかかわる問題など、現代社会で起こっている諸問題の背景には、少なからず宗教がかかわっています。日本ではあまり実感することがありませんが、宗教は、政治や経済にも大きな影響を与え、私たちの日常生活にも無関係ではありません。本講義では、現在世界各地で起こっている諸問題について、宗教を切り口に考察していきます。まず、世界の諸宗教について歴史や教義内容、特色などを学んだ上で、具体的な問題について検討していきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
53	秋	宗教	現代社会と宗教Ⅱ	小林奈央子	金	2	10

【副題】 宗教から読み解く現代社会②

【講義内容】

本講義では、「現代社会と宗教Ⅰ」で学んだ内容をふまえ、毎時間、現代社会と宗教に関する個別のトピックを取り上げ、考察していきます。具体的には、グローバル化、ナショナリズム、ファンダメンタリズム(原理主義)、ジェンダー、教育などと宗教の関係、また、文学や美術、音楽や映画などの芸術と宗教とのかかわりについても、身近な作品を題材としながら検討を加えていきたいと思っています。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
54	春	宗教	人間の尊厳と平等Ⅰ	菅原研州	火	2	6

【副題】 仏教と人権問題 人間はいかにして生きるべきか

【講義内容】

現代社会では自明とされる「人権」だが、より深く学ぶために、歴史から「人権」の意義と、その確立してきた状況を学ぶ。更に、仏教の人間観への考察を通して、平等と差別に対抗する根源的な思想を各自に学んでもらいたい。そのため、仏教史の中で、本講義に関係ある諸事象を抽出し、考察する際の題材として提供する。講義は基本、配布プリントで行い、参考資料などは適宜紹介する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
55	秋	宗教	人間の尊厳と平等Ⅱ	菅原研州	火	2	6

【副題】 宗教・仏教の社会福祉

【講義内容】

社会福祉についての歴史的意義と、各宗教・仏教による福祉活動の思想的基盤への考察を通して、各受講者には福祉を行ってきた人々の心底にある思いを知ってもらいたい。その上で、その思いへの共感を通して、福祉活動への理解と実践を促したいと考えている。なお、講義に際しては、基本は配布プリントで行い、参考資料などは適宜紹介する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
56	春	宗教	日本の思想Ⅰ	林淳	木	4	10

【副題】 陰陽道・暦・天文

【講義内容】

日本では中国の律令制度を模倣して、陰陽寮という機関が設置され、天文・暦・陰陽道を担った。平安時代に陰陽道は広がって、安倍晴明が登場する。その実像と影響力を考察する。16世紀にイエズス会の宣教師がもたらした地球儀・世界地図は、日本人に衝撃を与えた。江戸時代における渋川春海の改暦と、改暦の背景にあった思想的な動機をたどって、改暦を通じて、日本思想史の特徴を学びたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
57	秋	宗教	日本の思想Ⅱ	林淳	木	4	10

【副題】 日本の宗教弾圧

【講義内容】

日本において政治権力が宗教を弾圧してきた歴史をたどる。鎌倉時代には法然、親鸞、日蓮に対する苛烈な弾圧はあった。江戸幕府はキリシタンを禁制にした。明治政府は神仏分離令を出し、それがきっかけで廃仏毀釈があった。戦前における天皇制国家は、不敬罪、大逆罪、治安維持法によって、多くの宗教団体を弾圧した。このような宗教弾圧の経験を通じて、日本における政治権力と宗教のあり方を再考する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
58	春	宗教	アジアの思想と文化	平野克典	水	4	10

【副題】 比較宗教学概論

【講義内容】

本講義では、アジアの思想と文化を「宗教」に焦点を合わせ、また「比較」という視点をもって解説する。アジアの宗教を代表する仏教を他の世界宗教であるキリスト教やイスラム教とテーマ別に比較考察し、仏教の宗旨の特質を理解する。テーマには、教祖、宗派、聖典、死生観などを設定する。また、必要に応じて、ユダヤ教やヒンドゥー教なども取り上げる予定である。昨今、宗教と関連した出来事が国際社会で多発している。その点において宗教は現代の国際社会を理解する上で不可欠なキーワードといえよう。授業では、主要な宗教に対する基礎知識が単に古代に関する知識で終わることなく、現代を読み解く鍵となることを関連する新聞記事などを適宜配布し確認する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
59	春	文化・歴史	書道文化4Ⅰ	明園 劉作勝	水	2	5

【副題】 行書古典の学習

【講義内容】

中国の行書、日本の行書の古典を鑑賞することにより、時代的背景・作者の個性・人物・思想等を加味して総合的な視野による鑑賞をします。また、臨書を通して、行書表現(技法)の多様性や各自の独自性を学び、今後の創作的な表現に活かす能力を身に付けます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
60	秋	文化・歴史	書道文化4Ⅱ	明園 劉作勝	水	2	5

【副題】 水墨画の学習

【講義内容】

本講義は「書画一致」の観点に立ち、「書」の技法を活かして絵を描きます。また、絵の表現を書に還元することもできるということ、実際の作品づくりを通して学びます。筆の線による形態の簡化要約、墨の濃淡潤渴による作品表現できるように指導します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
61	春	文化・歴史	書道文化5 I	明園 劉作勝	水	3	5
【副題】 古代文字の学習(殷周時代を中心に)							
【講義内容】 甲骨文や金文を代表する古代文字の字源(成り立ち)を学び、古代人の造形に対する知恵や豊かな創造性を理解します。また臨書により、篆書の基本的な用筆や結構を学び、その学習成果を活用し、作品作りが出来るように指導します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
62	秋	文化・歴史	書道文化5 II	明園 劉作勝	水	3	5
【副題】 隷書の古典を学ぶ(漢代を中心に)							
【講義内容】 隷書は篆書を母体として漢代に発展した書体であります。この講義は碑刻・木簡隷書の歴史的な位置付けを理解し、隷書の書風の多様性について学びます。基礎的な隷書の学習により、隷書の用筆・運筆法や結構法を理解でき、表現技法の幅をもたせます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
63	秋	文化・歴史	比較文化論	伊藤雅之	木	4	10
【副題】 異文化コミュニケーションとしてのスポーツ文化							
【講義内容】 この授業では、英米の文化比較をする題材としてスポーツを取り上げ、特定のスポーツに関わる青少年に焦点をおき、その背後にある階級や人種、教育制度などとの関わりについて検討する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
64	春	文化・歴史	欧米文化特講 Va	伊藤雅之	金	3	10
【副題】 現代イギリスの社会と文化							
【講義内容】 この講義では、現代イギリスの社会と文化に関わる具体的なテーマ(春学期はイギリスの地域性、子育てと教育、社会階層によるライフコースのちがいを)を取り上げ、多様な文化について考察する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
65	秋	文化・歴史	欧米文化特講 Vb	伊藤雅之	金	3	10
【副題】 現代イギリスの社会と文化							
【講義内容】 この講義では、現代イギリスの社会と文化に関わる具体的なテーマ(秋学期はイギリスの階級、食文化、EUとの関係)を取り上げ、多様な文化について考察する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
66	秋	文化・歴史	表象文化論	岩田和男	木	4	5
【副題】 教養としての日本映画、そしてそこから日本社会・日本人を考える							
【講義内容】 溝口健二・小津安二郎・黒澤明をまったく見たことがない若者が圧倒的多数を占めるようになりました。外国で大変有名な彼らをまったく知らないのは大変な不幸なので、まずは彼らの映画を見てもらい、素晴らしさを実感してもらいます。そのうえで、表象文化論の立場から日本映画を見ると、どんな日本社会、日本人が見えてくるのかを考えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
67	春	文化・歴史	東洋史特殊講義A-I	大知聖子	木	1	15
【副題】 北魏の歴史と東アジア世界							
【講義内容】 遊牧民族の鮮卑族が建国した北魏王朝は439年に華北を統一する。それ以前の五胡十六国時代の諸政権とは異なり、なぜ北魏は華北統一の後に支配を継続できたのだろうか。その統治はいかなる方法だったのだろうか。そして滅びた原因は何だったのだろうか。また、余り意識されていないが、日本が遣唐使を派遣して取り入れた唐代の諸制度は、実は北魏を起源とするものがある。例えば班田収授法は唐代の均田制に基づくが、その起源は北魏に遡る。このように北魏が中国や東アジア世界に与えた影響についても、最新の研究を紹介しながら検討する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
68	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義A-II	大知聖子	木	1	15
【副題】 北魏の石刻史料の世界							
【講義内容】 北魏の歴史研究はこれまで正史『魏書』など文献史料に依ってきたが、近年、石刻史料の発見が相次ぎ、研究が活発化している。石刻史料とは例えば、故人の徳行を称揚し、死を悼み、詩文を加え、石に刻んだ墓誌が挙げられる。その文化は漢民族の伝統に基づくが、大流行したのは遊牧民族の鮮卑族が建国した北魏においてだった。他にも仏教信仰に基づく造像銘や、皇帝が巡幸した際に建てた石碑などの石刻史料を扱い、文献史料と比較する。実際に墓誌を読むためのガイドランスや、フィールドワークの様子も説明します。							



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
69	春	文化・歴史	日本の古典文学Ⅰ	神山重彦	月	2	10
【副題】 歌舞伎『忠臣蔵』を見る(1)							
【講義内容】 数ある歌舞伎作品の中でもっとも著名な、『仮名手本忠臣蔵』全十一段を見る。場面ごとに区切ってまずテキストを読み、その後にビデオやDVDで実際の上演のありさまを見る。春学期は、大序から五段目までの予定。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
70	秋	文化・歴史	日本の古典文学Ⅱ	神山重彦	月	2	10
【副題】 歌舞伎『忠臣蔵』を見る(2)							
【講義内容】 数ある歌舞伎作品の中でもっとも著名な、『仮名手本忠臣蔵』全十一段を見る。場面ごとに区切ってまずテキストを読み、その後にビデオやDVDで実際の上演のありさまを見る。秋学期は、六段目から討ち入りまで。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
71	春	文化・歴史	日本の近代文学Ⅰ	神山重彦	金	4	10
【副題】 映画化された小説(1)							
【講義内容】 小説と、その映画化されたものとを比較対照し、両者の相違点を検討する。取り上げる作品は、『舞姫』『雁』『野菊の墓』『坊っちゃん』『こころ』などを予定している。小説の原文(プリントを配布する)を読み、ビデオやDVDで映画を見る。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
72	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ	神山重彦	金	4	10
【副題】 映画化された小説(2)							
【講義内容】 小説と、その映画化されたものとを比較対照し、両者の相違点を検討する。取り上げる作品は、『伊豆の踊子』『春琴抄』『銀河鉄道の夜』『砂の器』『氷点』などを予定している。小説の原文(プリントを配布する)を読み、ビデオやDVDで映画を見る。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
73	春	文化・歴史	古典文学研究Ⅰ	川名淳子	火	2	15

【副題】『伊勢物語』を読む

【講義内容】

『伊勢物語』全125段を読みます。『伊勢物語』は多くの短編が集まった歌物語ですが、全体の流れとしては、在原業平をモデルとする主人公「昔男」の人生を辿るというかたちになっています。そこには恋の話だけではなく、人の世の愛別離苦の情を考えさせる珠玉のことがばが連ねられています。『伊勢物語』を読むということは、自ずと『源氏物語』をはじめとする物語文学、『古今和歌集』などの和歌文学にも思いを及ぼすこととなります。『伊勢物語』を題材とした絵巻なども鑑賞しつつ、様々な角度からこの作品を楽しみたいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
74	秋	文化・歴史	古典文学研究Ⅱ	川名淳子	火	2	15

【副題】『伊勢物語』を読む

【講義内容】

『伊勢物語』全125段を読みます。『伊勢物語』は多くの短編が集まった歌物語ですが、全体の流れとしては、在原業平をモデルとする主人公「昔男」の人生を辿るというかたちになっています。そこには恋の話だけではなく、人の世の愛別離苦の情を考えさせる珠玉のことがばが連ねられています。『伊勢物語』を読むということは、自ずと『源氏物語』をはじめとする物語文学、『古今和歌集』などの和歌文学にも思いを及ぼすこととなります。『伊勢物語』を題材とした絵巻なども鑑賞しつつ、様々な角度からこの作品を楽しみたいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
75	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義B-Ⅱ	菊池一隆	木	3	5

【副題】日中全面戦争への道

【講義内容】

満州事変は「日中十五年戦争」の起点と位置づけられ、極めて重要な事件である。その後、第一次上海事変、「満州国」建国と日中関係は悪化の一途を辿った。何故日本は戦争を開始するに至ったのか。当時の日本の状況はどのようなものであったのか。それに対して中国政府、中国民衆はどのように対応したのか。本講義はいわば日中全面戦争に至る1931～1937年を扱い、その実態を解明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
76	春	文化・歴史	東アジア史Ⅰ	金光旭	月	2	5

【副題】日中韓の三国間の関係回復による地域内のダイナミズムと相互作用

【講義内容】

東アジアの国々中でも日本に近く、また、深い絆で結ばれてきた日本の周辺国の情勢を中心に取り上げる。広い観点から、その国々の現在の政治、経済的な状況などを歴史的な視点から振り返って、国際関係について学ぶ。最近、日本はこれらの国々とのような脈絡で国家間の関係を築いてきたかを中心に検討していく。これらの観点を念頭に置きながら、日中関係と日韓関係の改善を展望し、日中韓の三国間の関係回復による地域内のダイナミズムと相互作用の効果を分析しながら、そのための道筋について考察する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
77	春	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 I	木村文輝	水	1	15

【副題】 日本文化に取り入れられたインド的世界像

【講義内容】

日本の文化には、仏教を通して取り入れられた様々なインド的な要素が含まれています。本講義では、その中から六道輪廻、須弥山世界、多彩な神々(天部)など、世界像にまつわる事柄を取り上げます。また、それらの事柄に由来する日本語の単語についても考察します。講義内容は仏教に関連したものになりますが、教義そのものを論ずるのではなく、インド的な世界観がどのような形で日本人に受け入れられたのかを検討したいと思います。なお、教材はプリントを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
78	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 II	小崎智則	金	2	15

【副題】 漢字・漢文と日本文化

【講義内容】

日本文化に対して、歴史的にとりわけ大きな影響を与えているのが中国の文化です。中国の文化は、外交使節や留学僧、貿易を通して、また、時として朝鮮半島を経由して漢籍とともに我が国に伝わり、様々な形で現在に受け継がれています。インドの文化や仏教でさえ、少なからず中国文化のフィルターを透過して日本に到達しています。本講義では、そうした中国の漢字や漢文の世界が、どのような形で日本の言語・文学・思想などの中に取り入れられていったのかを検討したいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
79	春	文化・歴史	国際関係史 I	小林隆夫	水	2	10

【副題】 19世紀末から第二次世界大戦前夜までの国際関係史の展開

【講義内容】

国際政治とは、本来ヨーロッパの国際政治をさすものであったが、それは19世紀末から全世界的規模へと拡大し、新興の日本やアメリカ合衆国含めたものへと変容していった。しかし、その運営の基本的性格は権力政治であり、国際会議や外交技術は進化していったとはいえ、国家間の問題を解決する最終手段は戦争であり、力であった。この講義では、19世紀末の帝国主義の時代から20世紀前半の第二次世界大戦前夜までの国際関係史を映像資料も使用しながら説明し、権力政治の具体的過程や性格はどのようなものであったのかを考えていく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
80	秋	文化・歴史	国際関係史Ⅱ	小林隆夫	水	2	10

【副題】第二次世界大戦勃発から冷戦の終結までの国際関係史の展開

【講義内容】

第二次世界大戦は力の政治の最悪の結果であった。しかし、権力政治に批判的なアメリカとソ連という超大国が、第二次世界大戦中から発言力を高めた。戦後はヨーロッパ列強や日本に代わってアメリカが圧倒的な経済力を背景にして、自由貿易主義に基づく新たな国政政治経済体制を構築しようとした。しかし、アメリカの資本主義的自由主義に対して、ソ連が社会主義の優越を唱えて挑戦した。それによって生じた冷戦とは、どのように展開したのか？その間の世界はどのように変容したのか？この講義では、映像資料も使用しながら冷戦を軸として国際政治の展開を考えていく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
81	春	文化・歴史	日本の思想Ⅰ	下川玲子	火	2	10

【副題】日本思想史(古代～近世初期まで)

【講義内容】

この授業は、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学ぶものである。神道という基盤の上に、仏教・儒教・西洋思想などの外来思想を受け入れて成立した日本思想の重層性を確認する。春学期に取り上げるのは、『日本書紀』などの古代思想、平安・鎌倉時代の仏教思想と神仏習合思想、近世初期の朱子学思想と神儒習合思想である。テキストは、プリントを使用する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
82	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ	下川玲子	火	2	10

【副題】日本思想史(近世中期から近代まで)

【講義内容】

「日本の思想Ⅰ」に引き続き、日本の近世中後期から近代までの思想を扱う。江戸時代中期には朱子学批判が生じるが、儒教における批判者である伊藤仁斎・荻生徂徠の思想、儒教そのものを否定した本居宣長や平田篤胤の国学思想などを読解する。幕末には攘夷思想が起こるが、明治期になり西洋思想を全面的に受容することになる。この時期の思想家として、福沢諭吉・中江兆民・幸徳秋水などを扱う。テキストは、プリントを使用する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
83	春	文化・歴史	地域文化研究Ⅰa	高木真理子	木	1	5

【副題】建国期から再建期までのアメリカ社会を映画や人物史を通してみる

【講義内容】

アメリカ史において、エスニック・マイノリティの果たした役割は、二次的なものに思われがちである。この授業では、アメリカ社会の主流(メインストリーム)の人々の歩みだけでなく、マイノリティのアフリカ系の視点を通してみたアメリカ史を扱う。主に建国期から再建期までに焦点をあてる。人物史や映画を使って理解度を高めたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
84	秋	文化・歴史	地域文化研究 I b	高木眞理子	木	1	5

【副題】 20世紀末までのアメリカ社会史を先住民の視点からみる

【講義内容】

アメリカ史において、エスニック・マイノリティの果たした役割は、二次的なものに思われがちである。この授業では、アメリカ社会の主流(メインストリーム)の人々の歩みだけでなく、自らの土地に入って来た開拓者によって建てられたアメリカ合衆国の中で、マイノリティの地位に追いやられた先住民に焦点をあてる。人物史や映画を使って理解度を高めたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
85	春	文化・歴史	欧米文化特講 II a	高木眞理子	金	2	5

【副題】 アメリカ50番目の州ハワイについて、様々なテーマからアプローチし特性を知る

【講義内容】

ハワイという日本人に一番馴染みのあるリゾート地について、歴史的、社会学的見地から書かれた英語、日本語による論考を紹介しながら、テーマごとにハワイの多様な面を学んでいき、「楽園のような島」という作られたイメージではない、本当のハワイの姿に気づきたい。特にハワイ王国の歴史や日本との関係、そして日系人の歩みに注目していく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
86	秋	文化・歴史	欧米文化特講 II b	高木眞理子	金	2	5

【副題】 戦中・戦後～現代までの「アジア系」アメリカ人コミュニティ

【講義内容】

アメリカにおける日系、中国系、フィリピン系などの戦前の移民の経験を理解し、資料(日本語、英語)を読み解きながら、第二次大戦中・戦後から最近までの各アジア系アメリカ人コミュニティのアメリカにおける経験を概観し、移民母国とアメリカとの国際関係やアメリカにおける偏見との戦いの意味を探る。特に日系への偏見・差別そして日米戦争中の強制収容について注目していく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
87	春	文化・歴史	言語学 I	高田三枝子	水	3	5

【副題】 言語学の基礎

【講義内容】

言語学の基礎的な事項について学ぶこと、また言語を観察する観点を養うことを目標とします。私たちが使っている「ことば」とは何でしょうか？授業ではまず、この問題を、身近な例から皆さんに考えてもらいたと思います。次に言語学という学問領域の全体像を簡単に示した後で、日本語だけでなく様々な言語に普遍的に見られる現象、あるいは個別言語的な特徴を見ることを通して、世界中の言語の中に日本語を位置づける視点を提案したいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
88	秋	文化・歴史	言語学Ⅱ	高田三枝子	水	3	5

【副題】 社会言語学・方言学の基礎

【講義内容】

社会言語学の基礎的な事項について学ぶこと、また言語を社会との関係で観察する観点を養うことを目標とします。言語は実際には、その運用される状況(話者の属性、使用場面など)によって多様性を伴い、様々な形で運用されます。この授業では特に言語の多様性という側面について、日常的な言語使用の具体的事例を通して言語を観察する方法を紹介したいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
89	春	文化・歴史	仏教と芸術Ⅰ	高橋早紀子	水	1	10

【副題】 インドの仏教美術

【講義内容】

インドを中心とした仏教美術史の概論で、仏教美術に関する基礎的知識の修得と各時代における特色の理解を目的とします。授業は講義形式で行い、パワーポイントを用いて多くの絵画や彫刻の画像を提示します。概要等をまとめたレジュメを配布し、復習や自主的学修ができるようにします。インドの仏教美術に興味・関心をもっていることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
90	秋	文化・歴史	仏教と芸術Ⅱ	高橋早紀子	水	1	10

【副題】 中国の仏教美術

【講義内容】

中国を中心とした仏教美術史の概論で、仏教美術に関する基礎的知識の修得と各時代における特色の理解を目的とします。授業は講義形式で行い、パワーポイントを用いて多くの絵画や彫刻の画像を提示します。概要等をまとめたレジュメを配布し、復習や自主的学修ができるようにします。中国の仏教美術に興味・関心をもっていることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
91	秋	文化・歴史	多文化共生社会論	竹田真紀子	月	2	5

【副題】 多文化社会における多様性の尊重とは Respecting Diversity in Multicultural Societies

【講義内容】

多文化社会の中で生じる障壁を分析し、国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きて行くためにはどうしたらよいかを考えます。講義は、基本的に英語で行いますが、日本語でもサポートします。This course teaches various perspectives on multiculturalism, provides insightful cases and analyzes the societal challenges.

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
92	春	文化・歴史	日本民俗学Ⅰ	蛸島直	水	2	5

【副題】 民間伝承とその背景を探る。

【講義内容】

はじめに「民俗学」とは何か、「民族学」との相違、そして日本の民俗学の特徴を考える。つづいて、年中行事、人生儀礼、食文化、贈答、社交、死と不浄などの具体的話題を取り上げながら、日常生活における民俗学的意味付けを探し出していきたい。さらに民俗調査及び資料の操作方法を概観したい。テキストは使用しない。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
93	秋	文化・歴史	日本民俗学Ⅱ	蛸島直	水	2	5

【副題】 口承文芸・民間知識とその背景を考える。

【講義内容】

口承文芸(伝説・昔話・都市伝説)や民間医療をはじめとする民間知識など、春学期に扱わなかった日本民俗学の研究内容を紹介していく。単なる講義形式ではなく小レポート等で受講者からの話題や情報の提供を期待している。テキストは使用しないが、重要な参考文献については適宜紹介していく。なお、受講に際しては、日本民俗学Ⅰを履修済みであることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
94	春	文化・歴史	日本語学Ⅰ	多門靖容	木	2	5

【副題】 現代日本語について考える

【講義内容】

日本語に囲まれて生まれ育ってきた日本人にとって、自分の使用することばがどんな仕組みを持った言語なのかを意識することはほとんどありません。自分のことばであるだけに、突き放して見るのが難しいわけです。この講義では、そのような日本語をあらためて見つめ直し、どんな特徴があるのかを探ります。春学期では、ことばの分析の楽しさを紹介しつつ、音声から語のレベルの話題を取り上げます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
95	秋	文化・歴史	日本語学Ⅱ	多門靖容	木	2	5

【副題】 現代日本語について考える

【講義内容】

日本語に囲まれて生まれ育ってきた日本人にとって、自分の使用することばがどんな仕組みを持った言語なのかを意識することはほとんどありません。自分のことばであるだけに、突き放して見るのが難しいわけです。この講義では、そのような日本語をあらためて見つめ直し、どんな特徴があるのかを探ります。秋学期では、引き続き、ことばの分析の楽しさを紹介しつつ、語から文、文から文章のレベルの話題を取り上げます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
96	春	文化・歴史	東洋史特殊講義B- I	土屋洋	金	3	5

【副題】 日中歴史教科書の歴史

【講義内容】

この授業では、日中の歴史認識を映し出す歴史教科書を取り上げて、近代以降の「歴史教科書の歴史」についてお話しします。今日、対立が目につきがちな両国の歴史教科書ですが、かつては密接に交流していた時期がありました。一方で、今日以上に、激しく対立していた時期もありました。このようなこれまでの歴史を紐解きながら、日中の「歴史教科書の未来」を展望したいと思います。なお、授業では中国語の資料を多く紹介するので、中国語の初歩的な能力を有することが望ましいです。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
97	春	文化・歴史	考古学概説 I	長井謙治	火	2	10

【副題】 考古学とはどのような学問か？

【講義内容】

パワーポイント・資料を使って概説します。考古学とは何かに始まり、考古学の範囲、資料、方法、時代について、解説します。それから、人類誕生以降の99%の歴史をもつ旧石器時代の概説をします。できるだけ本物の遺物を見せる機会をつくり、映像等を用いて、五感を使って学べる工夫をします。考古学の広がり魅力伝える入門のための講義です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
98	秋	文化・歴史	考古学概説 II	長井謙治	火	2	8

【副題】 考古学通史

【講義内容】

パワーポイント・資料を使って講義します。春学期の考古学概説 I を受けて、縄文時代から近現代(歴史時代)に至るまでの考古学通史をあつかいます。日本考古学における論争を中心として、考古学通史を概説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
99	秋	文化・歴史	考古学概論	長井謙治	水	2	8

【副題】 考古学の方法論

【講義内容】

パワーポイント・資料を使います。この講義では、考古学研究の方法を解説します。考古学研究において基礎となる型式論、層位論、機能論、分布論、年代決定論等について解説し、近年進展目覚ましい考古学と自然科学による共同研究の成果についても取り上げます。物言わぬモノに息吹をかけて、モノに何を語らしめるかは考古学者の腕の見せどころ。考古学における主要な研究法について紹介します。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
100	春	世界の文化・歴史	西洋史特殊研究A-I	中村敦子	火	3	5

【副題】 中世ヨーロッパ社会の成立

【講義内容】

中世ヨーロッパ社会は、古代地中海世界からゆっくりと、しかし大きく変容しながら成立しました。この講義では、古代世界末期から中世への移行、中世ヨーロッパ初期、そして11・12世紀頃までの中世ヨーロッパ盛期の社会について、いくつかのトピックをとりあげて考察します。ブリテン島とフランスがおもな舞台になりますが、ヨーロッパ全体、あるいは世界史的視点を意識しながら考えていきます。なお授業中に小テストを行うことがあります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
101	秋	世界の文化・歴史	西洋史特殊研究A-II	中村敦子	火	3	5

【副題】 中世ヨーロッパ社会の展開

【講義内容】

この講義では、春学期に引き続き、ブリテン島とフランスをおもな舞台に、11・12世紀頃から13世紀頃までの中世ヨーロッパ盛期の社会について、いくつかのトピックをとりあげて考察します。史料を読んだり、論述等の作業を行いながら、歴史的アプローチの一端に触れてほしいと思います。春学期の内容が前提になりますが、秋学期のみの受講も可能です。なお授業中に小テストを行うことがあります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
102	春	世界の文化・歴史	東洋史特殊研究A-I	松下憲一	金	2	15

【副題】 中国史と北方民族

【講義内容】

本講義では、中国史に関係の深い北方民族の活動についてその歴史的展開を解説します。殷周時代と夷狄・西戎、秦漢と匈奴、魏晉と烏桓・鮮卑、五胡十六国、北朝などについて取り上げます。受講にあたって中国史の流れなど基本的な事項をおさえておいてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
103	秋	世界の文化・歴史	東洋史特殊研究A-II	松下憲一	金	2	15

【副題】 中国史と北方民族

【講義内容】

本講義では、中国史に関係の深い北方民族の活動についてその歴史的展開を解説します。春学期に引き続いて、隋唐と突厥、宋と契丹・女真、モンゴル帝国、明とモンゴル、満州族の清などについて取り上げます。受講にあたって中国史の流れなど基本的な事項をおさえておいてください

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
104	春	世界の文化・歴史	中国の思想 I	松下憲一	金	4	15
【副題】 儒教の歴史							
【講義内容】 本講義では、中国の思想を代表する儒教についてその歴史的展開を解説します。儒教成立以前の殷周時代の天命思想・祖先祭祀、春秋時代の孔子の活動、戦国時代の孟子、荀子の活動、秦の始皇帝による焚書・坑儒と儒家の関係、前漢武帝による儒教の国教化、王莽による儒教国家の建設、後漢の白虎観会議、魏晋の玄学などについて取り上げます。受講にあたって中国史の流れなど基本的な事項をおさえておいてください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
105	春	文化・歴史	地域史特殊研究C- I	松島周一	金	3	10
【副題】 日本中世史の中の三河							
【講義内容】 前半は鎌倉・室町時代の三河を舞台とした朝廷や幕府、現地勢力の動きを見ていく。後半は、松平氏の動向を中心に、戦国時代の三河の様相をみていく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
106	秋	文化・歴史	地域史特殊研究C- II	松島周一	金	3	10
【副題】 日本中世史の中の尾張							
【講義内容】 室町時代から戦国時代にかけての尾張の様相を、守護斯波氏、有力な奉公衆としての熱田大宮司家、地域勢力としての織田氏などを中心にみていく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
107	春	文化・歴史	日本史特殊研究A- I	松菌斉	火	2	10
【副題】 中世の文化をひもとく ―鎌倉・南北朝期を中心に―							
【講義内容】 日本の生活文化の基礎となった中世の文化を紹介し、その歴史的背景を説明していく。前期は、その前提となる平安時代の王朝文化や仏教文化から概観し、中世前期の文化をその思想や文学、歴史意識などから考察していく。特に鎌倉時代末期の新たな時代への転換点に焦点を当て、南北朝期の問題まで進む予定である。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
108	秋	文化・歴史	日本史特殊研究A-Ⅱ	松菌齊	火	2	10

【副題】 中世の文化をひもとく ―室町・戦国期を中心に―

【講義内容】

中世後期の文化を代表するネーミングに北山文化・東山文化があるが、かえって同時代の文化の本質をわかりにくくしている。ここでは室町・戦国期の文化を別な側面からとらえなおしていきたい。また、日本の生活文化の源は、この時期の文化にあるという。その歴史的背景を解説し、近世への連続性を考えてみたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
109	春	文化・歴史	言語と文化Ⅰ	三木理	水	4	5

【副題】 日本語の語彙(基礎編)

【講義内容】

ことばの研究に関しては様々な分野がありますが、この授業では語彙論の分野に立って日本語の語彙について学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本語の個々の語について、様々な例を採り上げながら、構造と意味の両面から考察していく予定です。単に「単語をたくさん覚える」ということよりも、いつもと違う視点から単語を考察することや、その成り立ちや意味に興味を惹かれる皆さんの聴講を歓迎します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
110	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ	三木理	水	4	5

【副題】 日本語の語彙(ケーススタディー地名と人名Ⅰ)

【講義内容】

「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙についてさらに深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例として主に地名と人名を採り上げ、その特徴等について考察していく予定です。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思えます。語彙(単語)や地名・人名に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
111	春	心理	生涯発達心理学	片山和男	金	3	10

【副題】 人生を豊かに生きる

【講義内容】

人は人の環境に入り(誕生)、人とかわり、そして環境を去る(死)。この誕生から死に至る過程と、その過程における生活環境(家庭・学校・職場)とのかかわりに視点をおいて人間の生物学的・心理的・社会的変化を考える。人生を豊かに生きるためには「人間は生涯発達する」ことを理論的に、実証的に知ることが必要である。そして、自分が歩んできた道を顧みて、人間を広く捉える視野を養い、人間発達の本質を志向する姿勢を身につけることを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
112	春	心理	産業心理学a	高木浩人	木	2	5

【副題】 個人と組織の関わり

【講義内容】

およそ社会で生きていく上で組織と無縁でいられる人はまずいません。産業心理学aでは、とくに「社会的パワー」、「リーダーシップ」に焦点を当て、さまざまな研究を紹介し、現在までにどのようなことが明らかとなっているのか、何が課題として残されているのかについて考えます。受講生の方には、授業で紹介する一般的な理論や現象について、できる限り身近な問題に引き寄せて理解することを試みてほしいと思います。なお、最終回はまとめとレポート作成となります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
113	秋	心理	産業心理学b	高木浩人	木	2	5

【副題】 個人と組織の関わり

【講義内容】

産業心理学bでは、とくに「組織のなかで働く個人」に焦点を当て、組織内での服従行動、少数者の影響、モチベーション、キャリア等について、さまざまな研究を紹介し、現在までにどのようなことが明らかとなっているのか、何が課題として残されているのかについて考えます。受講生の方には、授業で紹介する一般的な理論や現象について、できる限り身近な問題に引き寄せて理解することを試みてほしいと思います。なお、最終回はまとめとレポート作成となります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
114	春	心理	計量心理学a	谷伊織	金	1	10

【副題】 心を測るa

【講義内容】

春学期では測定されたデータの基礎的な集計方法やその統計学的基礎について学ぶ。後半には人の性格の測定に始まる因子分析の基礎と応用について学ぶ。講義レベルは中級程度である。予習・復習のためには配布される資料に基づいて統計ソフトウェアのインストールから操作までを行うことが求められる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
115	秋	心理	計量心理学b	谷伊織	金	1	10

【副題】 心を測るb

【講義内容】

秋学期では、春学期において学習した内容を基礎として、アドバンスドコースとしての計量心理学的方法を学ぶ。本講義で扱う計量心理学的手法の1つは心理や行動・態度等を探り、表現する方法である。もう1つは測定されたデータから当該現象に潜在する原因変動を探る方法である。講義レベルは中級程度である。予習・復習のためには配布される資料に基づいて統計ソフトウェアのインストールから操作、実施および得られたアウトプットの要約が求められる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
116	春	心理	社会心理学	太幡直也	月	3	5

【副題】 ミクロ・マクロな視点から社会的行動を理解する

【講義内容】

われわれは、日々、他者や社会から多くの影響を受けながら生活しています。また、自分自身が他者や社会に多くの影響を与えています。これらの影響のダイナミズムに着目するのが社会心理学です。この授業では、人間の考え方や行動の背後には他者や社会からの影響が多くみられることを、われわれの日常の行動を例にとりながら解説します。授業の前半は、対人関係、対人行動に関する研究テーマを説明します。後半は、集団に関する研究テーマを説明します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
117	秋	心理	対人認知論	太幡直也	月	3	5

【副題】 他者や社会的事象に対する認知プロセスを理解する

【講義内容】

われわれは、日々、他者や社会的事象について、特徴を判断したり、推測したりしながら生活しています。この授業では、社会心理学の重要なテーマの一つである、他者や社会的事象に対する認知プロセスについて、われわれの日常の行動を例にとりながら解説します。授業の前半は、他者や社会的事象に対する認知プロセスに関する代表的な研究テーマを説明します。後半は、欺瞞的コミュニケーションを例に、認知プロセスと対人行動との関係を説明します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
118	春	健康	先端医療概論	伊藤高行	月	4	10

【副題】 生命科学の進歩とそれが医療に新たにもたらすもの

【講義内容】

今、先端医療の基礎にある生命科学はすごい勢いで進歩している。特に生命活動を分子レベルで捉える分子生物学の急速な進歩やデジタル技術の飛躍的発展は遺伝子診断、遺伝子治療、分子標的薬、再生医療などの領域を生み出し、また診断技術や治療技術や遠隔地医療にも大きな進歩をもたらしている。新たな医療とその基礎を一般向けに概説し、さらに先端医療開発を支えるシステムや技術革新に伴う新たな倫理的問題にも触れたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
119	秋	健康	ストレス科学論	片山和男	火	1	10

【副題】 ストレス社会を乗り越えよう

【講義内容】

現代社会で生きるということは、ストレスと共に生きる、と言ってもよいでしょう。生理的・心理的・社会的に苦痛、不快、悩み、不満、絶望などを伴う生活環境は、ヒトにさまざまな種類の、さまざまな程度のストレス反応を起こします。しかし、「ストレスとはこうだ」と明確に定義することは難しく(曖昧)、だからこそ対処が難しい部分があります。ストレス社会をたくましく乗り越えるには、まずこのストレスの特徴について知り、ストレスマネジメントの本質的な考え方について理解することが大切です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
120	春	健康	人間と環境 I	来住準一	木	1	6

【副題】 食品の科学

【講義内容】

(目標) 食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①健康情報の正しい読み方(天然モノは安全か、メディアバイアス、みのもんた症候群、フードファディズムなど)②リスクとハザード(狂牛病、ダイオキシン、リスクのトレードオフ、風評被害など)③身近な食品(バターvs.マーガリン、和牛vs.国産牛、発酵vs.腐敗など)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
121	秋	健康	人間と環境 II	来住準一	木	1	6

【副題】 食品の科学

【講義内容】

(目標) 食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①食品の表示(第3の牛乳、第3のビール、賞味期限vs.消費期限、無糖vs.砂糖不使用、和牛vs国産牛)②身近な食品(せんべいvs.おかき、フェイク食品、健康食品など)③食生活と疾患(むし歯、がん、歯周病など)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
122	春	健康	健康の科学	小出龍郎	木	4	6

【副題】 「健康医学」と「健康スポーツ」

【講義内容】

人生100年時代を迎え、日本人は平均寿命で世界一長寿国となりましたが、反面、生活の中で健康をおびやかす条件があまりにも多くなってきています。また、超高齢化が進む中で健康への関心が益々高まり、医療に関わる情報が日常真偽とりまぜてあふれています。世はまさに健康ブームで、限りなく新たな健康法が日々登場してきています。本講座では、正しい医学的知識を身につけ、食生活はもとより生活習慣の見直しとともに、どう健康情報を活かしていくのかを学びます。そして、ひとりひとりの健康増進と健康寿命の延伸を目指します。

2年生次対象の講義のため、わかりやすく、初歩的な内容からスタートします。

また、学生さんへは毎回課題に対するレポートを冒頭を書いてグループディスカッションをしていただいています。

※秋の内容と同一です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
123	秋	健康	健康の科学	小出龍郎	木	4	6
【副題】「健康医学」と「健康スポーツ」							
【講義内容】 <p>人生100年時代を迎え、日本人は平均寿命で世界一長寿国となりましたが、反面、生活の中で健康をおびやかす条件があまりにも多くなってきています。また、超高齢化が進む中で健康への関心が益々高まり、医療に関わる情報が日常真偽とりまぜてあふれています。世はまさに健康ブームで、限りなく新たな健康法が日々登場してきています。本講座では、正しい医学的知識を身につけ、食生活はもとより生活習慣の見直しとともに、どう健康情報を活かしていくのかを学びます。そして、ひとりひとりの健康増進と健康寿命の延伸を目指します。</p> <p>2年生次対象の講義のため、わかりやすく、初歩的な内容からスタートします。  また、学生さんへは毎回課題に対するレポートを冒頭を書いてグループディスカッションをしていただいています。</p> <p>※春の内容と同一です。</p>							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
124	春	科学	人間と環境 I	伊藤雅彦	月	3	6
【副題】 化学の基礎と地球環境の歴史							
【講義内容】 <p>最初に、基礎的な化学の概念を紹介する。次に、宇宙・地球の生成から現在の環境に至るまでの歴史や他の惑星との比較から、生物と地球環境との関係について紹介する。</p>							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
125	秋	科学	人間と環境 II	伊藤雅彦	月	3	6
【副題】 地球規模の環境問題と環境ホルモン							
【講義内容】 <p>地球規模の環境問題や環境ホルモンなどの、人間が原因となっている地球環境の変化について科学的(化学的)な観点を中心に紹介する。</p>							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
126	春	科学	人間と環境 I	伊藤雅彦	月	4	6
【副題】 化学の基礎と地球環境の歴史							
【講義内容】 <p>最初に、基礎的な化学の概念を紹介する。次に、宇宙・地球の生成から現在の環境に至るまでの歴史や他の惑星との比較から、生物と地球環境との関係について紹介する。</p>							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
127	秋	科学	人間と環境Ⅱ	伊藤雅彦	月	4	6
【副題】 地球規模の環境問題と環境ホルモン							
【講義内容】 地球規模の環境問題や環境ホルモンなどの、人間が原因となっている地球環境の変化について科学的(化学的)な観点を中心に紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
128	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	水	3	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
129	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	水	3	6
【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学							
【講義内容】 まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
130	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	水	4	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
131	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	水	4	6

【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学

【講義内容】

まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
132	春	科学	生物学Ⅰ	小木曾学	火	2	6

【副題】 生物多様性を考える

【講義内容】

東海地方には、この地域を中心に自生する特徴的な植物群「東海丘陵要素」が見られますが、その多くが人に知られることなく、絶滅の危機に瀕しています。生物学Ⅰでは、生命の誕生から遺伝を経て、進化にいたる原理を学習し、なぜ「東海丘陵要素」がこの地域に生育しているのか、東海地方の成り立ちとともに考えます。また、地球の生物圏でのエネルギーの循環についても理解します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
133	秋	科学	生物学Ⅱ	小木曾学	火	2	6

【副題】 生物多様性を考える

【講義内容】

生物学Ⅱでは、遺伝子とは何か、を理解し、遺伝子レベルで生物多様性が生まれる仕組み、さらに分子進化から種の分化にいたる過程を考えます。また、地球温暖化、オゾン層の破壊、内分泌かく乱物質などの環境問題が生態系に与える影響についても学習し、この地域の多様性を守るために何をすべきか、何をすべきではないか、を理解します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
134	春	科学	化学Ⅰ	来住準一	木	2	6

【副題】 化学が答える身のまわりの疑問

【講義内容】

(目標)授業では、常に“なぜ?”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①ニセ科学にご用心(マイナスイオン、火渡りなど)②クッキングの科学(ポップコーン、ゼリー、トマトケチャップ、調味料、スポンジケーキ、石焼き芋、ステーキの焼き方、チャーハンのこつ、熟成など)③身近な食品のなぜ(牛乳はなぜ白い、あめ玉が湿ける理由、とろみなど)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
135	秋	科学	化学Ⅱ	来住準一	木	2	6

【副題】 化学が答える身のまわりの疑問

【講義内容】

(目標)授業では、常に“なぜ?”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①身のまわりの化学(もしイヌに風船をつないだら、なぜ信号のストップは赤色か、ヤモリと宇宙遊泳、低気圧と高気圧、花火、洗濯、ドライクリーニング、シャボン玉、使い捨てカイロ、静電気、コピー、消しゴムで字が消せる理由、大気圧、乾電池など)②からだの疑問(ヒトはスターダスト、男は妊娠できるか(トリビアクイズ)、あなたの部屋が散らかる理由、ヒトの健康を化学ではかるなど)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
136	春	科学	化学Ⅰ	吉村正宏	火	2	6

【副題】 身の回りの化学:生活編

【講義内容】

化学の基礎を学びながら、日常の生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。世の中の様々な情報に対して科学的な見方が出来るようになることを目標とします。身近な話題として、「ダイヤモンド、水、衣服や洗濯、料理や食品、薬、プラスチック、材料、電池、犯罪捜査、香り、生命など」をテーマに、一話完結型で授業を進めます。春学期のみの受講も可能です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
137	秋	科学	化学Ⅱ	吉村正宏	火	2	6

【副題】 身の回りの化学:健康・環境編

【講義内容】

生命の仕組みを学びながら、化学物質がもつ二面性(メリットとデメリット)を考えます。日常の生活での人と化学物質の関わりについて、自分で理解し判断できる力を養うことを目標とします。身近な話題として、「生命をつくる分子、細胞内の情報伝達、遺伝情報の仕組み、ヒトゲノム計画、ケミカルバイオロジー、抗がん剤、感染症、免疫、血液型、創薬科学、生命と環境など」をテーマに進めます。秋学期のみの受講も可能です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
138	春	経済	金融論Ⅰ	内木茉莉子	水	2	5

【副題】 日本の金融システム

【講義内容】

金融は、私たちの生活に深く関わっており、経済活動において重要な役割を果たしている。この授業では金融システムに焦点を当て、金融機関や金融市場について講義を行う。具体的には、金融システムの機能や、銀行や証券会社などの金融機関の種類や役割、金利に関する基本的な概念、様々な金融資産(金融商品)の特徴について、日本の歴史や現状を踏まえながら学んでいく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
139	秋	情報処理	マルチメディア論	泉寛幸	金	4	5

【副題】 マルチメディアの要素技術・現状・応用・展望

【講義内容】

本講義では、マルチメディアの要素技術、現状、応用、今後の展開について解説する。マルチメディアの要素技術として、人間の認知過程の研究や、音声処理技術、画像処理技術、コンピュータグラフィックス(CG)、アニメーション、通信・放送技術などについて、解説する。そして、それらの要素技術を組み合わせると、どのようなことが可能となるかを、社会でのマルチメディアの応用例をもとに説明する。マルチメディア検定3級程度の知識を身につけてもらうことを一つの目標としている。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
140	春	その他	男女共生社会論	岩田和男	木	4	5

【副題】 今までの男女のあり方から現代の家族・社会を考える

【講義内容】

前半は、男女共生が現代社会の目標となるのに大きな役割を果たしたフェミニズムがジェンダー論へと名称を変え、幅広く人権問題を議論する学問の範疇へと進化した経緯を分かり易く解説します。後半は、男女に関する現況を確認したうえで、なぜ外国のように日本は一気に「男女共生社会」とならないのか、その要因を歴史的・共時的に考察、これから男女共生に向けて変化していくための筋道を、ドイツ・韓国・台湾の取り組み例を参考に考えていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
141	春	その他	生涯学習社会論	榊原博美	火	3	4

【副題】 生涯学び続けることの意義を問う

【講義内容】

本講義では、誰もが生涯にわたって自由に学習し、その成果が自己発見と自己実現に活かされ、社会に還元されることによって積極的に社会からも評価される持続可能な生涯学習社会の構築・実現に向けて、ユネスコの生涯学習理念に学びつつ日本における政策の問題点を探りながら、21世紀の鍵となるまさに生涯的な学習のあり方について実践的に学ぶ。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
142	秋	その他	現代教育論	榊原博美	火	3	4

【副題】 戦後日本の学校教育の問題点を探る

【講義内容】

本講義では、現代社会の問題について、その背景にあると考えられる学校教育の問題を、歴史的な視点、グローバルな視点、幼児教育や社会教育の学びのあり方、教育現場の現状などさまざまな視点から捉え、自由な発想でその解決策を探る。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
143	春	その他	国際関係論	杉山知子	火	1	5

【副題】 日本と中国：歴史・競争・協調関係・国内政治

【講義内容】

この授業では、日本と中国との関係について、その歴史的背景を理解し、それぞれの国内政治が両国の関係にどのような影響を与えてきたかについて考えます。満州事変・日中戦争・アジア太平洋戦争・その後の冷戦と日米同盟、1970年代の米中和解、日中国交正常化、日中経済協力関係といった流れを理解し、ポスト冷戦期の中国の経済成長と日中関係、今日の歴史認識をめぐる問題、日本と中国の国内事情などについても考えていきたいと思ひます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
144	秋	その他	国際関係史	杉山知子	火	1	5

【副題】 20世紀の戦争と平和について考える

【講義内容】

この授業では、20世紀に起きた代表的な戦争である第二次世界大戦とその後の冷戦期の国際関係の変化について講義します。冷戦期はアメリカとソ連の二大超大国を中心とするパワーポリティックスの特徴を持ちますが、そのなかでアジアがどのように変化していくのかという視点を中心に講義を展開していく予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
145	春	その他	産官学連携講座 I	松岡昌幸	火	2	10

【副題】 観光資源論

【講義内容】

春期の授業では、観光まちづくりの基本である観光資源論(観光地形成の基盤、観光地経営の動力源、観光商品の素材)に着目し、愛知県日進市に点在する観光資源の相貌や特徴を明らかにし、さらに観光資源に関連するツーリズム形態の可能性を検証する。また宗教学、歴史学、経済学、観光学等の視点から、日進市に根ざす観光資源の可能性を考察する。講師陣は、日進市(産業振興課等)の観光資源に関わる職員や、観光まちづくり協会関連職員、大学講師の混合によるオムニバス形式による連携講座とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
146	秋	その他	産官学連携講座 II	松岡昌幸	火	2	10

【副題】 観光政策論

【講義内容】

秋期の授業では旅行産業に着目し、実務的な知識や汎用的技能を身に付ける。特に旅行会社内において展開される観光政策(観光企画)や観光サービスを学習し、観光産業に必要なサービス(ホスピタリティ的なサービス)のあり方を修得する。さらに日進市が推進する「ぐるぐる日進」にも触れ、観光政策に関する基礎的知識を修得する。また社会学、宗教学、経済学、サービス論等の視点から、日進市で有効な観光政策を考察する。講師陣は観光政策に関わる職員や、日進観光まちづくり協会職員、大学講師の混合によるオムニバス形式による連携講座とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
147	春	その他	地域政策	村田尚生	火	3	5

【副題】 市民の立場からのまちづくり

【講義内容】

近代都市はいかに効率化するか、生産性をあげるかを目標に様々なものを切り捨ててきた。その結果、地域コミュニティが崩壊し、防犯・防災や福祉、教育、環境など、様々な面で問題がおこっている。こうした問題を解決するためには、行政まかせになってきた地域政策を市民の立場から検証し、市民が主体的に考え、実践していくことが求められる。そのための基礎知識として、本講義は地域における政策のあり方について様々な側面から考える。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
148	秋	その他	NPO・NGO論	村田尚生	火	3	5

【副題】 人のために役立つもう1つの仕事

【講義内容】

これまで社会にある問題に対応し暮らしやすい社会形成を担ってきたのは公共セクターであったが、社会ニーズが多様化するなか、財政的な限界もあり、柔軟に対応することが困難になっている。そうした中、重要な役割を担うようになってきたのが非営利セクターである。この授業では、NPO・NGOを中心とした非営利セクターの社会的役割や組織のあり方、公共セクターや営利セクターとの協働について学習することで、一人ひとりが非営利セクターに関わることができるかを考える。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
149	春	その他	コミュニティ論	村田尚生	水	3	5

【副題】 持続可能な地域コミュニティのあり方を考える

【講義内容】

「無縁社会」という言葉が象徴するように、現代の日本社会は様々な関係性がとぎれ、孤独死や自殺、ひきこもりなど人々の暮らしは不安の中にある。こうした中、2011年3月におこった東日本大震災では避難と復興を通して人と人の「絆」が見直され、コミュニティの存在価値が改めて認められつつある。そこで、これからのコミュニティのあり方について考え、希薄化したコミュニティの関係性を再生し持続可能とするための方策について検討する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
150	春	その他	人間の安全保障論	山旗張星允	月	3	5

【副題】 The causes and pursuit of human security from the convergence of security and development

【講義内容】

Human security is all about humanity to win a borderless war fighting against poverty and all forms of existing unfreedoms threatening civilization. It therefore highlights the ability to protect people and broaden capacity building for them as the long lasting mean to safeguard countries in the long run. It demands satisfying materials sufficiency and achieving human dignity with wider accessibility and choices. This course explains about the concepts and types of human security, economic security, international development cooperation, international NGOs, role of the state and nation building, development actions and aid flows, civil society, public goods, and social projects Discussion is also focused on integrating a new security thinking into the wellbeing and freedom of each individual of any given society as the foundation for security, social justice and development of that particular country.

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
151	秋	その他	国際開発論	山旗張星允	月	3	5

【副題】 Purpose of international cooperation for today's world

【講義内容】

This course introduces fundamental concepts of development studies and its relations to other related disciplines. Major contents of the lecture are organised around three key areas, namely, development, aid and public policy with the role of international cooperation as a central pillar. Students will be able to do the following;

- [1] Understand important theories, practices, principles and concepts, terms and analytical thinking
- [2] Understand various case studies through educational DVDs
- [3] Build a new knowledge-base
- [4] Have an applied sense of using acquired knowledge

## 6.シラバス(講義概要)

## 名城公園キャンパス

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
152	春	言語	フランス語Ⅲ(読解)	堀田敏幸	金	2	6

【副題】 フランス語を話せば、心楽しく！

## 【講義内容】

フランス語を楽しく口ずさんでみましょう。私たちは日本語を話し始めたとき、まず物の名を表す名詞を一語覚え、次に動詞を付け加えながら言葉を覚えたはず。大人になってフランス語を学ぶ場合も短文の反復や言い換えにより実生活に結びついた表現を身に付けることが大事です。  
フランスで生活する気持ちになって、フランス語でフランス人に意思を伝えるつもりで、日常会話をやさしく学んでいきます。\*授業レベル:初級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
153	秋	言語	フランス語Ⅳ(読解)	堀田敏幸	金	2	6

【副題】 フランス語はユーモアを持って！

## 【講義内容】

フランス語をもう少し、フランス人らしく気持ちをこめて話せるようになりましょう。とにかく、外国語はたとえ一単語ずつであるとしても、繰り返し口に出して言うことが大事です。トレ・ビヤン！(とてもいい)と大声で言うてみれば、日常の憂鬱な気分も吹き飛びます。  
フランス語を学ぶことは、新しい物の考え方を知るための第一歩であり、フランス人のエスプリやユーモアを楽しんで話してみましょう。\*授業レベル:中級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
154	秋	宗教	仏教と現代社会Ⅱ	大橋崇弘	月	4	6

【副題】 現代に生きる禅の精神

## 【講義内容】

国から日本に伝わった禅仏教は、宗教としてのみではなく日本人の精神を豊かにする新たな概念として人々に受け入れられている。本講義では現代生活の中に脈々と受け継がれている禅の要素をとり上げ考察していく。講義内容…「禅とは何か」・「海外に広まるZEN」・「スポーツ・武道と禅」・「癒しとしての禅」等  
資料等…講義時にプリント配布

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
155	春	宗教	仏教と現代社会Ⅰ	岡島秀隆	月	4	6

【副題】 仏教の可能性を考える

## 【講義内容】

本講義は、「①仏教者の言葉は現代人にどのような指針を提供できるのか ②仏教的世界観や仏教的イメージは現代人にどのように映り、どのような影響を持ち得るか ③多様化する現代社会において、仏教はどのような役割を担い得るか」という課題を念頭に置きながら、前半は禅者・仏教者の名言を、後半は仏教的イメージ世界(須弥山世界や華嚴経の世界、地獄、浄土など)をppt、DVDなどの資料を用いて紹介する。[テキストはプリントを配付する]

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
156	春	宗教	人間の尊厳と平等 I	菅原研州	月	4	6

【副題】 仏教と人権問題 人間はいかにして生きるべきか

【講義内容】

現代社会では自明とされる「人権」だが、より深く学ぶために、歴史から「人権」の意義と、その確立してきた状況を学ぶ。更に、仏教の人間観への考察を通して、平等と差別に対抗する根源的な思想を各自に学んでもらいたい。そのため、仏教史の中で、本講義に関係ある諸事象を抽出し、考察する際の題材として提供する。講義は基本、配布プリントで行い、参考資料などは適宜紹介する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
157	秋	宗教	人間の尊厳と平等 II	菅原研州	月	4	6

【副題】 宗教・仏教の社会福祉

【講義内容】

社会福祉についての歴史的意義と、各宗教・仏教による福祉活動の思想的基盤への考察を通して、各受講者には福祉を行ってきた人々の心底にある思いを知ってもらいたい。その上で、その思いへの共感を通して、福祉活動への理解と実践を促したいと考えている。なお、講義に際しては、基本は配布プリントで行い、参考資料などは適宜紹介する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
158	春	文化・歴史	社会思想史	田中秀夫	木	2	5

【副題】 啓蒙思想と現代思想を考える

【講義内容】

近代から現代にかけての社会思想史において重要な活躍をした思想家について考察します。取り上げる思想家は16世紀のマキアヴェッリ、17世紀のホブズ、ロック、18世紀のヒューム、モンテスキュー、ルソー、カント、19世紀のベンサム、トクヴィル、ミル、ヘーゲル、マルクス、20世紀のウェーバー、アレント、フーコー、ハーバーマスなどの予定です。ただし、ラインナップは一部、変更があるかもしれません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
159	春	健康	人間と環境 I	来住準一	水	1	6

【副題】 食品の科学

【講義内容】

(目標) 食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容) ①健康情報の正しい読み方(天然モノは安全か、メディアバイアス、みのもんた症候群、フードファディズムなど) ②リスクとハザード(狂牛病、ダイオキシン、リスクのトレードオフ、風評被害など) ③身近な食品(バターvs.マーガリン、和牛vs.国産牛、発酵vs.腐敗など)



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
160	秋	健康	人間と環境Ⅱ	来住準一	水	1	6
<b>【副題】 食品の科学</b>							
<b>【講義内容】</b> (目標) 食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①食品の表示(第3の牛乳、第3のビール、賞味期限vs.消費期限、無糖vs.砂糖不使用、和牛vs国産牛)②身近な食品(せんべいvs.おかき、フェイク食品、健康食品など)③食生活と疾患(むし菌、がん、歯周病など)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
161	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	火	3	6
<b>【副題】 地球と生命の歴史</b>							
<b>【講義内容】</b> 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
162	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	火	3	6
<b>【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学</b>							
<b>【講義内容】</b> まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
163	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	火	4	6
<b>【副題】 地球と生命の歴史</b>							
<b>【講義内容】</b> 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
164	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	火	4	6

【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学

【講義内容】

まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
165	秋	科学	化学Ⅰ	来住準一	火	1	6

【副題】 化学が答える身のまわりの疑問

【講義内容】

(目標)授業では、常に“なぜ?”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①ニセ科学にご用心(マイナスイオン、火渡りなど)②クッキングの科学(ポップコーン、ゼリー、トマトケチャップ、調味料、スポンジケーキ、石焼き芋、ステーキの焼き方、チャーハンのコツ、熟成など)③身近な食品のなぜ(牛乳はなぜ白い、あめ玉が湿ける理由、とろみなど)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
166	春	科学	数学Ⅰ	南裕明	火	1	6

【副題】 微分積分入門

【講義内容】

この講義では大学教養の微分積分の基本的な知識を身につけることを目標としている。春学期は数列や指数、対数、三角関数などの初等関数のグラフや特徴について復習して、微分の計算を行う。高校の数学Ⅰや数学Ⅱ程度の知識を前提とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
167	秋	科学	数学Ⅱ	南裕明	火	1	6

【副題】 微分積分入門

【講義内容】

この講義では大学教養の微分積分の基本的な知識を身につけることを目標としている。秋学期は積分の計算やその応用と多変数関数の微分や極値問題について取り上げる。高校の数学Ⅰや数学Ⅱ程度の知識を前提とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
168	春	科学	数学 I	南裕明	火	3	6
【副題】 微分積分入門							
【講義内容】 この講義では大学教養の微分積分の基本的な知識を身につけることを目標としている。春学期は数列や指数、対数、三角関数などの初等的な関数のグラフや特徴について復習して、微分の計算を行う。高校の数学Iや数学II程度の知識を前提とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
169	秋	科学	数学 II	南裕明	火	3	6
【副題】 微分積分入門							
【講義内容】 この講義では大学教養の微分積分の基本的な知識を身につけることを目標としている。秋学期は積分の計算やその応用と多変数関数の微分や極値問題について取り上げる。高校の数学Iや数学II程度の知識を前提とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
170	春	科学	化学 I	吉村正宏	金	2	6
【副題】 身の回りの化学:生活編							
【講義内容】 化学の基礎を学びながら、日常の生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。世の中の様々な情報に対して科学的な見方が出来るようになることを目標とします。身近な話題として、「ダイヤモンド、水、衣服や洗濯、料理や食品、薬、プラスチック、材料、電池、犯罪捜査、香り、生命など」をテーマに、一話完結型で授業を進めます。春学期のみの受講も可能です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
171	秋	科学	化学 II	吉村正宏	金	2	6
【副題】 身の回りの化学:健康・環境編							
【講義内容】 生命の仕組みを学びながら、化学物質がもつ二面性(メリットとデメリット)を考えます。日常の生活での人と化学物質の関わりについて、自分で理解し判断できる力を養うことを目標とします。身近な話題として、「生命をつくる分子、細胞内の情報伝達、遺伝情報の仕組み、ヒトゲノム計画、ケミカルバイオロジー、抗がん剤、感染症、免疫、血液型、創薬科学、生命と環境など」をテーマに進めます。秋学期のみの受講も可能です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
172	春	経済	金融論	荒井耕一郎	金	2	3

【副題】 わが国の金融市場並びに金融機関の特徴と今後の動向を理解する。

【講義内容】

本講義では、①わが国の金融機関の特徴、②わが国の高度成長を支えた金融システムの特徴、③金融の根幹を成す決済の原理と決済システムの特徴、④わが国の証券市場の概観などを講義しながら、金融のグローバル化やフィンテックの進展、少子高齢化、低金利の定着という大きな環境変化のもとで、競争力やサービスの向上、再編成を迫られているわが国の金融機関について考えて行きます。また講義期間中に出题する課題に回答していただきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
173	秋	経済	国際金融論	荒井耕一郎	金	2	3

【副題】 国際金融の視点からグローバル化する世界経済を理解する。

【講義内容】

本講義では、①外国為替市場の概観と為替ヘッジの基本的な仕組み、②1997年7月に起きたアジア通貨危機の原因と東アジア地域連帯に向けた動き、③欧州単一通貨ユーロ導入の歴史、④統合と分断の試練に揺れる欧州の今後の動向、⑤2008年9月のリーマン・ショックに起因する世界金融危機の原因と特徴、⑥中国人民元の最近の動向などについて考えて行きますが、グローバル化する世界経済を理解する座標軸を養っていただくことを目標としています。また講義期間中に出题する課題に回答していただきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
174	春	経済	経済学特講Ⅳ	池上彰	水	4	10

【副題】 日本と世界の経済を現代史の中で考える。

【講義内容】

さまざまな課題を抱える日本は、第二次世界大戦後の廃墟の中から甦ってきた歴史がある。それはなぜ可能だったのか。今後に生かすヒントを得る。日本と世界の現状を歴史の中で位置づけ、今後の生き方を自分で考える能力を獲得する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
175	春	経済	ミクロ経済学Ⅲ	岡谷良二	木	2	5

【副題】 ミクロ経済学の基礎

【講義内容】

この授業では、経済学を学習する際に必要となる基本的知識としてのミクロ経済学の基礎的内容について講義します。教科書として『ミクロ経済学の力』を用います。論理的な思考を着実に実行する力と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の力が必要とされる内容になりますので、受講を計画する際に、教科書の内容を見て受講者自身のこの分野に対する向き不向きを確認する必要があると思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
176	春	経済	中部経済論	岡谷良二	金	4	3

【副題】 財務省東海財務局提携：税政・金融および東海経済の現状と課題

【講義内容】

この講義は、財務省東海財務局との官学連携講座です。東海地方を中心とする地域経済の動向、国家・地方財政の状況と課題、金融事情、国有財産の有効利用などをテーマとして、財務局スタッフがリレー講義を行います。第一線の実務家から直接、中部圏経済の実態について学ぶなかで「生きた経済」に触れ、経済学をより実践的な観点から理解できるとともに、将来、社会人になるためのモチベーションを高めることができます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
177	春	経済	公共経済学A	岡谷良二	金	5	5

【副題】 ミクロ経済学の応用

【講義内容】

公共経済学Aは、ミクロ経済学の基本的な知識を前提として、公共財に関するミクロ経済理論について講義をします。私たちの社会には公共財と呼ばれる財が多く存在します。公共財はどのようなものなのか、それがあるとなぜ問題が生じるのかということをミクロ経済学を用いて説明できるようになることがこの授業の目標です。内容の習得にはミクロ経済学の基本的な知識と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の知識が必要となりますので十分に注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
178	秋	経済	公共経済学B	岡谷良二	金	5	5

【副題】 ミクロ経済学の応用

【講義内容】

公共経済学Bは、ミクロ経済学の基本的な知識を前提として、外部性に関するミクロ経済理論について講義をします。私たちの社会には環境問題などの外部性に起因する問題が多く存在します。外部性はどのようなものなのか、それがあるとなぜ問題が生じるのかということをミクロ経済学を用いて説明できるようになることがこの授業の目標です。内容の習得には、ミクロ経済学の基本的な知識と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の知識が必要となりますので十分に注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
179	秋	経済	都市経済学B	岡良浩	火	4	5

【副題】 都市開発プロジェクトを評価する

【講義内容】

ここでは、都市開発プロジェクトに着目し、その経済評価をみていきます。代表的な公共事業である道路・河川改修・農業農村事業などは、それぞれ費用便益分析を用いて評価がなされています。地域活性化プロジェクトでは必要に応じて産業連関分析などを用いた経済波及効果の分析がなされます。ここではできるだけ具体的な事例をあげながら、個々のプロジェクトをどのように評価するかについて講義します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
180	春	経済	都市経済学A	岡良浩	金	4	5

【副題】 都市・地域経済学の基礎を学ぶ

【講義内容】

都市・地域経済学は都市や地域を対象とする経済学の応用分野です。基本的な捉え方は経済学全般を同じですが、都市や地域では「スモール・オープンである」という特徴があります。ここでは、県民経済計算、地域所得の決定、地域間格差、都市の成長と衰退、中心地理論、都市システム論など、都市・地域経済学の諸論の基礎を学ぶことを目的としています。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
181	秋	経済	商学特論Ⅷ/経済学特講Ⅴ	神田真秋	木	2	10

【副題】 最近の諸問題から、政治・経済・地域社会の動きを捉える

【講義内容】

知事・市長の経験から、現実には生起する課題や問題を取り上げ、それらの検討を通じて、必要な知識と多面的なものの見方、またその背景にある真実を見抜く力を養う。政治に関心がある方を大いに歓迎する。

※過去に聴講された方の申込はご遠慮ください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
182	春	経済	西洋経済史A	後藤俊明	水	3	5

【副題】 ヨーロッパにおける資本主義の展開

【講義内容】

この講義の目的は、ヨーロッパ近代の歴史を資本主義経済の展開を中心に学ぶなかで、歴史的思考力を磨くことにあります。まず、近代資本主義を歴史的に認識するための方法的枠組について解説します。ついで、イギリスを中心にヨーロッパの資本主義の胎動、誕生、発展、確立、変容について講述します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
183	秋	経済	西洋経済史B	後藤俊明	水	3	5

【副題】 近現代ドイツの経済と社会

【講義内容】

この講義では、20世紀ドイツにおけるナチズムの台頭を歴史的に理解することを目的として、資本主義の類型論的比較の観点から、とくにプロイセン・ドイツの後発型近代化の問題を学びます。ドイツの政治、経済、社会における近代化過程に孕まれた諸問題を明らかにするなかで、後発型近代化とナチズムの歴史的連関を明らかにします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
184	春	経済	一般経済史A	後藤俊明	木	2	5

【副題】 資本主義の歴史的発展とその構造

【講義内容】

この講義の目的は、経済史の基礎知識を学び、現代の経済社会を歴史的視角から把握できる力(歴史的思考力)を身につけることにあります。講義では、現代資本主義の重要な諸側面について解説したのち、経済史学の基本的枠組を説明します。ついで、ヨーロッパを特徴づける資本主義経済の基本構造を講述し、資本主義の発展段階について解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
185	春	経済	金融システム論	近藤万峰	火	4	3

【副題】 間接金融と金融システム

【講義内容】

本講義では、まず日本の金融システム(とりわけ、地域金融システム)の主要な担い手である銀行にまつわる基礎的な概念と理論を講述する。その後、金融システムの安定化を目的として実施されるプルーデンス政策について概説する(扱うピックスは、臨機応変に変更する)。講義に際しては、下記のテキストを使用するので、持参して頂きたい。

<テキスト> 家森信善『金融論』中央経済社

<履修上の注意> 本講義は、本学の平均的な学生の理解能力に合わせた、無理のない内容・スピードでもって展開する。具体的には、基礎的事項を時間をかけてゆったりじっくり教育するというスタンスをとるので、履修申請の際は、こうした進行方法や内容が各自のニーズに合うものであるかをよく検討して頂きたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
186	秋	経済	金融政策論	近藤万峰	火	4	3

【副題】 金融政策とマクロ経済

【講義内容】

本講義では、中央銀行が行う(マクロ)金融政策にまつわる基礎的な概念と理論を講述する。講義に際しては、下記のテキストを使用するので、持参して頂きたい。

<テキスト> 家森信善『金融論』中央経済社

<履修上の注意> 本講義は、本学の平均的な学生の理解能力に合わせた、無理のない内容・スピードでもって展開する。具体的には、基礎的事項を時間をかけてゆったりじっくり教育するというスタンスをとるので、履修申請の際は、こうした進行方法や内容が各自のニーズに合うものであるかをよく検討して頂きたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
187	春	経済	金融論A	近藤万峰	火	5	3

【副題】 金融の基礎 I

【講義内容】

本講義では、初めて金融に触れる方(完全な初学者である本学の学生を想定)を対象とし、金融論の基礎の基礎を網羅的に講述する。講義に際しては、下記に掲げるテキストを使用するので、持参して頂きたい。

<テキスト> 家森信善『金融論』中央経済社

<履修上の注意> 本講義は、本学の平均的な学生の理解能力に合わせた、無理のない内容・スピードでもって展開する。具体的には、基礎的事項を時間をかけてゆったりじっくり教育するというスタンスをとるので、履修申請の際は、こうした進行方法や内容が各自のニーズに合うものであるかをよく検討して頂きたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
188	秋	経済	金融論B	近藤万峰	火	5	3

【副題】 金融の基礎 II

【講義内容】

本講義では、初めて金融に触れる方(完全な初学者である本学の学生を想定)を対象とし、投資信託、デリバティブ、ファイナンスの基礎理論、およびマネーストックの基礎の基礎について講述する(扱う内容は、臨機応変に変更する)。講義に際しては、下記のテキストを使用するので、持参して頂きたい。

<テキスト> 家森信善『金融論』中央経済社

<履修上の注意> 本講義は、本学の平均的な学生の理解能力に合わせた、無理のない内容・スピードでもって展開する。具体的には、基礎的事項を時間をかけてゆったりじっくり教育するというスタンスをとるので、履修申請の際は、こうした進行方法や内容が各自のニーズに合うものであるかをよく検討して頂きたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
189	春	経済	地域経済論	近藤智	火	4	3

【副題】 戦後日本における地域経済の盛衰と今後の課題

【講義内容】

戦後日本における地域経済の盛衰は、日本全体における産業構造の変化、都市間交通インフラの整備と発展、全国総合開発計画(全総)に代表される国土計画の3つと、特に密接に関わってきたと言ってもよいでしょう。地域経済論ではまず、上記3つを主な要因とした地域経済の盛衰について、理論と歴史・事例・データを踏まえながら議論を展開します。次いで、今後に予想される地域経済の状況と課題について、いくつかの地域類型ごとに議論します。なお、授業はPC教室で行い、ほぼ毎回パソコンを使用します。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
190	春	経済	現代産業論A	近藤智	火	5	5

【副題】 産業・経済の成り立ちと産業間のつながり

【講義内容】

アダム・スミスが有名な『国富論』の冒頭で指摘したように、1国の経済は、人々の分業によって生産性を大いに高め発展してきました。一方、分業それ自体もまた、経済発展につれてますます細分化し多様化してきました。こうして複雑化し高度化した経済における、分業としての各経済活動を、体系的に分類し整理したのが産業です。現代産業論Aでは、人々の分業を契機とした産業・経済の成り立ちと、分業を通じた産業間のつながりを切り口として、経済の構造について理解する議論を展開します。なお、授業はPC教室で行い、ほぼ毎回パソコンを使用します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
191	秋	経済	現代産業論B	近藤智	火	5	5

【副題】 産業構造変化と日本経済

【講義内容】

1国の産業構造は、各産業における生産技術の革新と、各産業が生産する財・サービスに対する需要の変化という、需給両面の変化によって影響を受け変化します。そして産業構造の変化は、人々の雇用、所得、働き方などの雇用労働問題から、地域経済の盛衰といった地域経済問題、また1国全体の経済成長にまで、広範かつ深い影響を及ぼします。現代産業論Bでは、日本における産業構造と経済の変化の関係をテーマの軸として、議論を展開します。(ただし、地域経済問題は別途地域経済論で扱います。また、授業はPC教室で行い、ほぼ毎回パソコンを使用します)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
192	秋	経済	産業組織論	佐橋倫一	水	1	5

【副題】 不完全競争市場における企業行動と規制の分析

【講義内容】

娯楽産業、外食産業、通信産業などにおける価格決定を独占や寡占などの不完全競争における企業の利潤追求行動として分析する。また、電気、水道、ガスなど巨額の設立費用を要する費用逓減産業における問題点や規制のあり方について考察する。本講義ではマイクロ経済学やゲーム理論を援用するが、講義内でできる限り分析道具を概説し本題へ進んで行く予定である。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
193	春	経済	マクロ経済学 I	佐橋倫一	水	2	5

【副題】 国民所得の決定

【講義内容】

マクロ経済学Iでは、一国の経済活動を財市場・貨幣市場を中心に分析する。主要なマクロ経済指標である国内総生産(GDP)や三面等価の原則といった国民経済計算の諸概念、GDPデフレーターや消費者物価指数の計算方法などを学ぶ。45度線分析を用いて財市場の均衡である均衡GDPの決定や乗数効果、財政政策の効果について学習する。また、貨幣の機能や信用創造過程、中央銀行の役割や金融政策について概観する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
194	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ	佐橋倫一	水	2	5

【副題】 経済政策の効果と国際マクロ経済学の基礎

【講義内容】

マクロ経済学Ⅱでは、マクロ経済学Ⅰの分析を基礎にして、IS-LM分析やマンデル=フレミング・モデルを学習する。投資の決定理論を学んだ後、IS曲線を導出する。次に、貨幣市場の均衡を考えLM曲線を導出する。財市場と貨幣市場の同時均衡を考えるIS-LM分析を学習し、財政金融政策の効果を概観する。また、マンデル=フレミング・モデルにおいて、国際間での取引を考慮したときの財政金融政策の効果を学習する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
195	春	経済	農業経済学A	関根佳恵	火	2	3

【副題】 グローバル化時代の食料・農業・農村問題

【講義内容】

現代社会における農業は食料の生産のみではなく、環境保全、農村地域の振興、持続的な国土開発等における多面的機能の発揮が期待されている。しかし、グローバル資本主義の下で、食料安全保障、環境保全、エネルギー問題、都市と農村の乖離、過疎化等、農業を取り巻く課題は山積している。本講義では、受講生がこうした諸課題について理解するとともに、課題解決のための政策の変遷を学び、その有効性について考察する力を養うことを目的とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
196	秋	経済	農業経済学B	関根佳恵	火	2	3

【副題】 グローバル化時代の食料・農業・農村問題

【講義内容】

現代社会における農業は、農産物の生産のみではなく、その流通や加工、販売、技術開発、金融にいたるまで、関連産業を含めるとたいへん裾野の広い産業である。本講義では農業経済学Aで得た基礎知識をもとに、農業および関連産業の構造と直面している諸課題について理解するとともに、課題解決のための政策の変遷を学び、その有効性について考察する力を養うことを目的とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
197	春	経済	経済学特講Ⅱ	関根佳恵	水	2	5

【副題】 フードシステムと日本農業

【講義内容】

農業生産から食品製造、食品流通、外食、消費に至るフードシステムの概要と、価格や品質をめぐる問題を学ぶとともに、各産業の構造と企業行動、消費者の意識や行動について理解を深める。特に、フードシステムの起点となる農業について中心的に学習する。また、フードシステムが持続的に機能するように、フードシステムが抱える課題とその改善の方向について考える。本講義では、これらの問題について学び、理解を深めるとともに、当該分野における問題意識を高めることを目的とする。受講生は、農業経済学AおよびBを受講していることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
198	春	経済	労働経済学A	武内真美子	水	2	3

【副題】 労働需給の基礎理論と様々な労働者

【講義内容】

少子高齢化により日本の労働力人口は減少することが予想されています。そのような状況の中で労働経済学の果たす役割も大変重要になってきています。本講義では、まずデータを用いて日本全体の労働市場の現状を紹介しします。また、労働の需要(人を雇用すること)と供給(雇用されて働くこと)に関わる基礎的な理論を学び、それらがどのような要因に影響を受けるかを学びます。特に労働供給が様々な政策の影響も受けることを学びます。後半は、非正規雇用者、女性、外国人、高齢者など様々な立場で働く人々の現状と課題について学習します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
199	秋	経済	労働経済学B	武内真美子	水	2	3

【副題】 労働市場のダイナミズムと内部労働市場

【講義内容】

バブル崩壊後、日本ではマクロ的に見た労働市場全体の様相も、個々の企業内の組織や人々の働き方も大きく変容しました。講義の前半は、主に失業や雇用の創出と消失、労働力の動き、景気変動と労働市場の関連などの外部労働市場におけるダイナミックな動きを学習します。また、後半では内部労働市場といわれる企業内の組織や人事に関わる制度とその変容を中心に学びます。また、近年の高学歴化や女性の社会進出を考える上で重要な、教育、結婚、家族と労働の関係に関わる経済理論もわかりやすく紹介しします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
200	春	経済	経済学史A	田中秀夫	水	2	5

【副題】 アダム・スミスはなぜ経済学者となったのか

【講義内容】

1723年にスコットランドに生まれたアダム・スミスはグラスゴウ大学で道徳哲学をはじめとする当時の最新の学問を学んでからオックスフォード大学に留学し、1752年には母校グラスゴウ大学の道徳哲学教授となった。1759年には『道徳感情論』を出版した。その後、スミスは1764年には大学を辞め、フランスに旅立ち、郷里に戻って『国富論』を書いた。それはなぜか。そして『国富論』は近代社会の原理を解明し、母国の現状を鋭く批判する書物となった。それはなぜか。講義では『国富論』の新解釈を紹介する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
201	秋	経済	経済学史B	田中秀夫	水	2	5

【副題】 15人の経済学者とともに経済学を考える

【講義内容】

15回の講義に合わせて15人の経済学者(広義の)を取り上げる。縦割りの通説史はとらない。それぞれの経済学者がどのような時代背景のもとに、どのような問題意識で、どのような理論を編み出したのかについて、いわゆる文脈主義的に分析する。15人はベティー、ロック、モンテスキュー、チュルゴー、リカード、マルサス、ミル、リスト、マルクス、マーシャル、ウェーバー、ヴェブレン、ケインズ、ロビンズ、ハイエクを予定している。経済学の多様性、多元性、豊饒性を浮かび上がらせたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
202	春	経済	保険論A	田畑康人	月	2	5

【副題】 現代社会におけるリスクと保険

【講義内容】

保険はリスク対策の1つとして生成・発展してきました。しかし日本人は危険認識も曖昧で、保険に関する十分な知識もないのが実情です。ここでは「リスクや危険とは何か」を探り、それに対してどのように対処していくかを考えていきます。各種の保険や保険の仕組みについてもできるだけ取り上げ、一般消費者としてどのように保険と付き合い、理解できるようにしたいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
203	秋	経済	保険論B	田畑康人	月	2	5

【副題】 保険の限界と21世紀の保険政策

【講義内容】

保険論Aで身につけた基礎的知識を前提に、現代保険および保険の経営形態や国家による保険政策に焦点を合わせていきます。リスク対策としての保険の限界(地震保険など)を理解した上で、保険企業の破綻や消費者保護の問題など、幅広く検討していきます。そして20世紀末までの国家による保険政策と21世紀の政策を比較し、保険企業の倒産や保険金不払い問題、保険料取り過ぎ問題とその後への対応などについても言及します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
204	春	経済	生命保険論	田畑康人	火	2	3

【副題】 消費者側から見る生命保険

【講義内容】

「生命保険(life insurance)」は世界中にありますが、日本の生命保険は日本独特の考え方があり、それがいい面にも悪い面にもつながります。生命保険の基本的特徴を理解し、契約締結から終了までを消費者としてどのようにすればよいか講義していきます。また、企業の従業員保障としての生命保険・年金の問題についても言及し、21世紀の保険消費者のあり方を理解してほしいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
205	秋	経済	損害保険論	田畑康人	火	2	3

【副題】 消費者側から見る損害保険

【講義内容】

「損害保険」ということばはぴったりの英語がないという意味で日本独特ですが、その基本的な考え方は世界に通じます。損害保険の基本的特徴を理解した上で、私たち一般消費者に身近な火災保険や地震保険、火災と損害賠償そして最後に自動車保険について説明していきます。最後の部分では特に交通事故と損害賠償責任について深く理解してほしいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
206	春	経済	社会保障論	玉井金五	火	4	5

【副題】 現代日本の社会保障

【講義内容】

少子高齢化が進むなかで、社会保障給付費が著しく増加しています。そのために抜本的改革が叫ばれていますが、日本の社会保障制度は経路依存性が強く、なかなか変革がむつかしいところがあります。講義では、医療、年金、介護といった社会保険を取り上げて、それぞれの制度的特質について論じます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
207	春	経済	社会政策論A	玉井金五	水	3	3

【副題】 現代日本の雇用保障

【講義内容】

「現代日本の雇用保障」をテーマにします。現在注目されつつある高齢者雇用、女性雇用、障害者雇用などを中心として、これまでの取り組み、現状と問題点、今後の対策という形で論じていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
208	秋	経済	社会政策論B	玉井金五	水	3	3

【副題】 現代日本の生活保障

【講義内容】

「現代日本の生活保障」をテーマにします。日々の労働と生活は、すべての人にとって基本となるものですが、日常的には多くの労働問題、生活問題が生起しています。最低賃金制度、外国人労働者、日雇・ホームレスなどに焦点を当てて論じていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
209	春	経済	国際経済学A	多和田真	火	3	3

【副題】 国際貿易論の基礎

【講義内容】

国際貿易の理論と現状について説明する。はじめにリカードの比較優位論によって貿易がなぜ生じるのか、貿易はどの国がどの財を輸出するのか、貿易によって経済は豊かになるかといった問題を考える。これを基本として現代の貿易の特徴について論じ、最後に現代の国際貿易体制と戦後日本の貿易の歩みを説明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
210	秋	経済	国際経済学B	多和田眞	火	3	3

【副題】 国際マクロ経済学の基礎

【講義内容】

国際収支の基本と為替の決定について初めに学び、そのあと、国際貿易や国際的な金融取引のある場合のマクロ経済理論を説明する。そしてそのような経済での財政政策や金融政策について説明する。最後に現代の国際通貨制度とアジア通貨危機やリーマン・ショックに見られるような国際的な金融危機の問題や近年の日本の国際的な金融取引について説明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
211	春	経済	経済学特講VI	中山厚	木	5	5

【副題】 金融を通じて日本経済を診断する

【講義内容】

いかなる経済主体にあっても金融と無縁であることはできない。本講義では金融にかかる学説や理論を理解することよりも、実際に世の中で生じている現象、問題を分析し、その原因と対策を考察する。

講師が金融監督当局において携わったプルーデンス政策(健全性確保)を中心に、政府、企業、家計の取るべき行動を検討することを通じFinancial literacyを養成することを目標とする。

金融にかかる諸問題、金融緩和、金融危機、不良債権等に興味のある者、国、自治体、企業等で財務関係に従事する者にも金融良識として有用な講義としたい。予定テキスト 岩田規久男 「テキストブック金融入門」又は「金融」 東洋経済新報社

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
212	秋	経済	経済学特講VII	中山厚	木	5	5

【副題】 財政を通じ日本経済を診断する

【講義内容】

本講義では我が国経済の最大のリスクである国家財政について、現状を認識し、原因を分析し、対策を検討する。我が国の財政状況は先進国中最悪であり、将来に巨大な負担を先送りするとともに、その持続可能性が危惧されている。我が国財政の問題点を単に財政制度とその運用に求めるのではなく、国の在り方から公的資源配分の将来像を検証していく。講師が長年財務官僚として携わってきた国の「財政」を題材に、実証的なデータを基に問題点を把握し、解決策を探る総合戦略的な構想力を養成することを目標とする。予定テキスト 湯本雅士 日本の財政はどうなっているのか 岩波書店

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
213	春	経済	経済政策論A	藤川清史	金	3	3

【副題】 市場経済と政府の役割

【講義内容】

完全競争市場であれば、市場均衡によって効率的資源配分を実現できることが知られています。しかし、完全競争市場とは、「無数の取引主体」がいて、「財の同質性」と「情報の完全性」があつて、「参入・退出が自由」の市場なので、現実にはあり得ない市場なのです。また、市場均衡での資源配分が効率的であったとしても、経済全体の利益をどのように公平に配分するかは別問題です。そこで必要とされるのが政府による市場への介入です。この講義では、どのような場合にどのような政府の介入が必要であるかを中心に解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
214	秋	経済	経済政策論B	藤川清史	金	3	3

【副題】 具体例で考える日本の経済政策

【講義内容】

日本は19世紀後半に産業化を開始した「後発経済開発国」です。まず、先進国に追いつくために明治期から採用した経済政策について考えます。また昭和初期から戦争遂行のための経済政策運営が行われますが、それについて考えるとともに、その影響が現在の日本経済に残っていることを確認します。そして、敗戦以降の復興期、高度成長期、石油ショック、バブル経済、その後の長期デフレのそれぞれの経済状況と政府の政策対応について考えます。社会保障の問題、環境と経済の問題、労働者および働き方の問題についても概説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
215	秋	経済	一般経済史B	二谷智子	木	2	3

【副題】 世界経済の歴史

【講義内容】

経済史の基礎知識を学び、現代の世界経済の状況を歴史的視角から考察します。その場合、近年のアジア地域の経済成長を念頭におき、ヨーロッパとアジアとの比較の視点を持ちつつ、西アジア・南アジア・東南アジアなどアジアの諸地域からみた世界経済の歴史を学びます。教科書は、金井雄一・中西聡・福沢直樹編『世界経済の歴史』名古屋大学出版会、2010年を使用します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
216	春	経済	日本経済史A	二谷智子	金	2	5

【副題】 前近代の日本経済史

【講義内容】

経済史の基礎知識を学び、現代の日本経済の状況を歴史的視角から考察することにより、自分なりの歴史観を身につけることを目標にします。本講義では、古代から19世紀までの日本経済の変容を、主に対外関係、経済政策、生産・流通構造、生活環境の視点から学んでいきます。教科書は中西聡編『日本経済の歴史』名古屋大学出版会、2013年を使います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
217	秋	経済	日本経済史B	二谷智子	金	2	5

【副題】 近現代の日本経済史

【講義内容】

経済史の基礎知識を学び、現代の日本経済の状況を歴史的視角から考察することにより、自分なりの歴史観を身につけることを目標とする。本講義では20世紀の日本経済の変容を、主に対外関係、経済政策、生産流通構造、生活環境の視点から学んでいきます。教科書は、中西聡編『日本経済の歴史』名古屋大学出版会、2013年を使います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
218	春	経済	国際貿易論A	古田学	火	4	5

【副題】 国際貿易論の基礎理論

【講義内容】

国際貿易論の基礎的なフレームワークを学習する。なぜ貿易が発生するのかをリカードの比較優位論をもとに考え、部分均衡分析をもとに貿易の利益や輸入関税、輸入数量制限等の効果についても考える。なお、履修に際しては、ミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
219	秋	経済	国際貿易論B	古田学	火	4	5

【副題】 国際貿易論の応用

【講義内容】

国際貿易論Aで学習した基礎フレームをもとに、WTOのような多角的貿易自由化や、TPPのような地域貿易協定などについて学習する。この授業を通して、新聞等に書かれている近年の国際経済において何が起きているのかを理解できることが目的である。なお、国際貿易論Aの履修及びミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
220	春	経済	アジア経済論	古田学	木	3	5

【副題】 東南アジア、中国、インドの経済発展

【講義内容】

日本をはじめ、シンガポール・台湾などのNIES、タイ・マレーシアなどのASEANのように、東南アジアは急速な経済成長を経験してきたが、なぜこのような急成長が可能であったのかを、雁行型経済発展モデルなどの理論モデルで理解するとともに、各国の歴史的な背景についても概観する。また、近年成長の著しい中国、インドについて考察を行う。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
221	秋	経済	経済原論B	古田学	金	3	2

【副題】 マクロ経済学

【講義内容】

「マクロ経済学」は、国の経済政策を考える際の基礎となる考え方を与えてくれます。「マクロ経済学」の基礎的な考え方を学ぶことで、新聞やニュース番組で報道されている日本だけでなく、その他の国がとっている政策がどのような影響を及ぼすのかを考える際の礎を作ることをこの講義の目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
222	秋	経済	欧米経済論	松波京子	水	3	5

【副題】 EUとイギリスを中心として

【講義内容】

イギリスは2016年6月に実施された国民投票で、ヨーロッパ連合(EU)からの離脱を選択しました。全世界に衝撃が走ったイギリス国民の選択でしたが、この結果の背景にはこれまでのEUとイギリスの歴史的な関係性も少なからず関係していると考えられます。本講義は、EU成立の歴史的経緯、その社会的背景を理解し、現在のヨーロッパ社会経済への理解を深めていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
223	秋	経済	ファイナンス論	水野伸昭	火	3	3

【副題】 ファイナンス理論の基礎を学ぶ

【講義内容】

ファイナンスとは、資本市場における資産価値の決定、企業における資金調達、投資家による資産運用など、資金の流れに伴う幅広い領域を対象とします。その内容は、資産の運用サイドからみた投資理論(インベストメント)と調達サイドからみた企業財務論(コーポレート・ファイナンス)の二つに大別されます。この講義では、これら2つの分野に関して基礎を学びます。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」の知識があることを前提とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
224	春	経済	国際金融論A	水野伸昭	水	3	5

【副題】 国際金融の基礎を学ぶ1

【講義内容】

この講義は、国際金融の基礎である、国際収支や外国為替の仕組みなどを体系的に理解できるようになることを目標とします。現実には起きている国際金融の複雑な問題を正しく理解するには、関連する理論のほか諸制度の枠組みに関する知識を身に付けることが必要です。この講義では、国際金融に関する基礎的な用語や理論を中心に学ぶとともに、適宜、時事的な問題についても議論します。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」の知識があることを前提とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
225	秋	経済	国際金融論B	水野伸昭	水	3	5

【副題】 国際金融の基礎を学ぶ2

【講義内容】

この講義は、国際金融論Aで学んだ知識をもとに、世界で現実に行っている国際金融の問題を体系的に理解できるようになることを目標とします。現実に行っている国際金融の複雑な問題を正しく理解するには、関連する理論のほか諸制度の枠組みに関する知識を身に付けることが必要です。この講義では、国際金融に関する基礎理論や制度を中心に学ぶとともに、適宜、時事的な問題についても議論します。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」、「国際金融論A」の知識があることを前提とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
226	春	経済	経済統計学A	宮原正人	月	4	2

【副題】 平均・分散を理解する

【講義内容】

統計学の基本を学習します。分布の中心の尺度である平均、散らばりの尺度である分散、標準偏差等に関して、本質的な考え方を繰り返して学ぶことからスタートします。コンピュータソフトEXCELを使用しますので、エクセルをある程度自在に他人に頼らずに、操作できること、また若干の数学的知識(Σの計算ができること等)を具有することが受講の最低条件です。春学期のこの科目では相関係数とその検定までは学習する予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
227	秋	経済	経済統計学B	宮原正人	月	4	2

【副題】 回帰分析の初歩と応用

【講義内容】

春学期の経済統計学Aをスタート台といたしますので、そこまでのレベルにあることを前提に受講してください。ここでは、回帰分析を主要テーマにして講義を進めていきます。T検定や、p値の考え方を学びます。また、その他の有用な検定についてもいくつかを取りあげて学習する予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
228	春	経済	経済学A	宮原正人	月	5	2

【副題】 価格決定の仕組みを学ぶ

【講義内容】

社会科学の基本科目のひとつが「経済学」であることは論を俟たないでしょう。その基礎理論的な部分を担う『経済学A』では私たちの身の回りにある経済現象を解き明かすことを目的に、需要・供給・市場そして価格という言葉 키워ドにして、具体例を中心にして学んでいく予定です。日常的にわれわれが目にする市場における個々の商品(財&サービス)が、需要と供給の関係により価格(と数量)が決定していることを、日々感じられるようになります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
229	秋	経済	経済学B	宮原正人	月	5	2

【副題】 経済社会全体の仕組みを学ぶ

【講義内容】

この『経済学B』では『経済学A』とは異なり、社会全体の視点から経済現象を解き明かすことを目的に、GDP、失業率、インフレなどという言葉キーワードにして、具体例を中心にして学んでいく予定です。日々接する経済ニュースの多くは、政府(中央政府のこと)や地方自治体(地方政府という)、あるいは大企業の関連の話が多いが、これらの動きを理解できるようになります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
230	春	経済	マクロ経済学Ⅲ	宮原正人	木	3	5

【副題】 マクロ経済学の全体像を掴むために…

【講義内容】

閉鎖体系のもとでの財市場の均衡(45°線分析)と貨幣市場の均衡を考慮してIS=LM分析を、さらに労働市場の均衡を加えて、AD=AS分析を学習してきた学生を対象にしている。「マクロ経済学Ⅲ」では、それらを発展させて、開放体系下のオープンマクロ経済学として、IS=LM=BPモデルの基礎的な考え方を、さらに短期理論として発展してきたケインズモデルの長期化した分野として始まった経済成長論を学習する。その際には、新古典派理論にも言及する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
231	春	経済	日本経済論A	三好向洋	月	5	5

【副題】 日本の財政・社会保障・労働

【講義内容】

この授業では、先進国の中でも最も早く進む少子高齢化が日本経済に与える影響、特に財政・社会保障と労働問題にどのような影響があるのかについて考察する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
232	秋	経済	日本経済論B	三好向洋	月	5	5

【副題】 国際経済と日本

【講義内容】

この授業では、近年貿易赤字国になった日本の経済について、特に国際経済とのかかわりに重点を置いて解説する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
233	春	経済	財政学A	吉田雅彦	金	3	3

【副題】 日本の財政制度

【講義内容】

財政学の基本は、政府の歳入と歳出構造をみることです。政府は、財政を通じて民間経済に深く関与しており、そのウェイトは小さくありません。本講義では、予算制度、歳出構造、および歳入構造(租税制度)を中心に解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
234	秋	経済	財政学B	吉田雅彦	金	3	3

【副題】 日本の財政問題

【講義内容】

現代の日本の財政問題としては、財政赤字、社会保障財政、および地方分権化があげられます。財政赤字の要因やその経済的影響、高齢化社会における社会保障財政の持続性、国と地方との間における新たな財政的関係について解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
235	春	経済	地方財政論A	吉田雅彦	金	4	5

【副題】 地方財政の仕組みと動向

【講義内容】

地方財政とは地方公共団体が予算を通じて行う経済活動で、国家財政とともに車の両輪をなしています。本講義では、第一に、地方財政の制度的な仕組みとその財政的規模を見ます。第二に、現在直面している課題として、地方分権の推進、介護保険の導入で注目される地域福祉財政を解説します。第三に、歳出・歳入構造より、地方財政が健全であるかどうかを見る財政指標を解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
236	秋	経済	地方財政論B	吉田雅彦	金	4	5

【副題】 地方税と国と地方の財政調整問題

【講義内容】

地方は独自の地方税収では歳出を賄うことができず、地方債の発行や、国からの地方交付税および国庫支出金などの交付に依存しています。本講義では、第一に、地方税原則と地方税体系を見ます。第二に、地方の債務である地方債の意義や現状を見ます。第三に、国と地方の財政調整を見ることによって、地方分権と地方の自立を検討します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
237	春	経済	開発経済学A	李泰王	水	5	5

【副題】 新興国の経済発展の諸問題

【講義内容】

今日の世界では、先進国の発展と新興国の混乱が同時進行している。特に、アジア・アフリカなどの低開発新興国は、貧困、所得不均衡、教育衛生問題、環境汚染、内戦、など、様々な課題を抱えている。こうした問題が先進国のグローバル化と深く結びついていることを理論と実例に基づいて検証する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
238	秋	経済	開発経済学B	李泰王	水	5	5

【副題】 韓国経済の構造と課題

【講義内容】

戦後、目覚ましい成長を達成した韓国の経済と企業の仕組みについて考察する。政府主導型の経済モデルは、国民所得の飛躍的な上昇をもたらしたが、財閥の肥大化など負の遺産を残し、こうした経済構造の歪みとその是正が大きな課題となっている。この科目では、産業と企業システムの日・米・韓比較を通じて、韓国経済の今後を展望する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
239	春	経済	計量経済学A	渡邊隆俊	月	2	3

【副題】 「計量経済学の基礎を学ぼうーExcelによる記述統計と最小二乗法ー」

【講義内容】

計量経済学は、経済理論や数学を用いて経済モデルを構築し、現実に観測された経済データを用いて統計的にモデルを推定、検定し、シミュレーションを行う学問です。春学期の講義では、Excelを使ってデータの加工やモデルの推定などを行います。これらの学習を通じて、記述統計、最小二乗法の基礎を修得してもらいます。予定テキスト：白砂堤津耶(2007)『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学 第2版』日本評論社。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
240	秋	経済	計量経済学B	渡邊隆俊	月	2	3

【副題】 「計量経済学の基礎を学ぼうーExcelによる重回帰モデルと検定ー」

【講義内容】

計量経済学の枠組みで、より複雑な経済モデルを構築し、シミュレーションを行います。なお、「計量経済学A」を履修した方を対象として講義を進めますが、この講義からの受講も歓迎します。これらの学習を通じて、最小二乗法、重回帰モデル、回帰モデルの検定等の基礎を修得してもらいます。予定テキスト：白砂堤津耶(2007)『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学 第2版』日本評論社。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
241	春	経済	経済学特講 I	渡邊隆俊	金	4	5

【副題】 [東海東京証券の提携講座] 最前線から語る証券ビジネス

【講義内容】

この講義は、東海東京証券株式会社との提携講義です。東海東京証券の専門家の方々によるリレー講義の形式で行われ、証券市場にまつわる様々なトピックスを実務的な視点から取り上げて、生活者にとって必要な証券投資のための基礎的な知識を身につけます。加えて、資産運用における自己責任時代に要求される投資の心構えを学ぶことを目的とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
242	春	経営	国際経営論 I	丹下博文	金	3	10

【副題】 国際経営に関する体系的な基礎理論の習得

【講義内容】

21世紀になり企業経営に関する国際化またはグローバル化の新しい時代が到来した。例えば企業経営に関しては少子高齢化による国内市場の縮小傾向を反映し、従来の輸出型企業だけでなく内需型と呼ばれる企業までが国際事業展開を指向するようになってきた。さらに中堅企業や中小企業も国際化を余儀なくされているのが実態であろう。このような潮流を背景に、本講座では国際経営に関する体系的な基礎理論の習得を目標とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
243	秋	経営	国際経営論 II	丹下博文	金	3	10

【副題】 激変する国際情勢下における国際経営の課題

【講義内容】

21世紀になり経済のグローバル化を背景に国際情勢が激変している。それは地球環境問題の深刻化、日中間や日韓間における政治的緊張、アジア市場の急拡大、新興国の台頭などをみても明白であろう。このような新しい国際環境のもとで日本企業は国際化やグローバル化を推進しなければ、もはや存続・発展が不可能な時代が訪れたと言っても過言ではない。そこで本講義では、激変する国際情勢下における国際経営の課題を検討する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
244	春	経営	原価会計論A	中澤優介	月	1	5

【副題】 原価計算の基礎および実際原価計算を学ぶ

【講義内容】

原価会計論(AおよびB)では、原価の概念および計算方法について、包括的な知識の獲得を目的とします。原価会計論Aでは主に、実際原価計算の手法について学習します。  
 <受講上の注意>秋学期開講の原価会計論Bと併せて受講することで、原価計算の知識を包括的に学習できます。日商簿記検定2級(工業簿記)を受験する学生を主な対象としているので、日商簿記検定3級程度の知識を前提とします。受講の際は電卓を毎回持参するようにしてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
245	秋	経営	原価会計論B	中澤優介	月	1	5

【副題】 コストマネジメントのための原価計算を学ぶ

【講義内容】

原価会計論(AおよびB)では、原価の概念および計算方法について、包括的な知識の獲得を目的とします。原価会計論Bでは、コストマネジメントのための原価計算の具体的な手法について学習します。

<受講上の注意>春学期開講の原価会計論Aと併せて受講することで、原価計算の知識を包括的に学習できます。日商簿記検定2級(工業簿記)を受験する学生を主な対象としているので、日商簿記検定3級程度の知識を前提とします。受講の際は電卓を毎回持参するようにしてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
246	春	経営	管理会計論A	中澤優介	水	1	5

【副題】 伝統的管理会計の知識・手法を学ぶ

【講義内容】

管理会計論(AおよびB)では、管理会計に関する包括的な知識の獲得を目的とします。管理会計論Aでは、管理会計の基礎的な手法や考え方について学習します。

<受講上の注意>秋学期開講の管理会計論Bと併せて受講することで、管理会計の知識を包括的に学習できます。授業は、アルバイト以外の実務経験がない学生を主たる対象として進めるため、講義内容は企業の管理会計の仕組みの初歩的な部分になります。この点について、受講の際には注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
247	秋	経営	管理会計論B	中澤優介	水	1	5

【副題】 近年の管理会計のトピックとその手法について学ぶ

【講義内容】

管理会計論(AおよびB)では、管理会計に関する包括的な知識の獲得を目的とします。管理会計論Bでは、主として戦略管理会計という枠組みのもと、近年登場もしくは注目されている管理会計手法を学習します。

<受講上の注意>春学期開講の管理会計論Aと併せて受講することで、管理会計の知識を包括的に学習できます。授業は、アルバイト以外の実務経験がない学生を主たる対象として進めるため、講義内容は企業の管理会計の仕組みの初歩的な部分になります。この点について、受講の際には注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
248	春	経営	財務諸表分析	中山重穂	火	2	10

【副題】 財務諸表を利用した企業特性の分析

【講義内容】

本講義では、簿記、会計学等の会計関連科目で学んだ知識を応用し、実際の企業経営の良し悪しを分析する際に有用となる実践的知識の修得をねらいとしています。具体的には、投資者や債権者といった企業の外部者の視点から、公表財務諸表に基づいて、企業の収益性、安全性、成長性などといった経営特性を分析する方法、および企業価値を評価する方法の修得を目標としています。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
249	春	経営	財務会計論A	中山重穂	水	2	10

【副題】 財務諸表作成の原理と方法

【講義内容】

財務会計論では、財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論について学びます。財務会計論Aでは財務諸表作成全般にかかわるルールを中心に主要な論点について取り上げます。そして講義の受講を通じて、財務諸表を作成、あるいは読解するための会計力を養成することを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
250	秋	経営	財務会計論B	中山重穂	水	2	10

【副題】 財務諸表作成の原理と方法

【講義内容】

財務会計論では、財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論について学びます。財務会計論Bでは、財務会計論Aで学んだ内容を発展させ、財務諸表の作成と読解にかかわる理論をより深く学びます。そして講義の受講を通じて、財務諸表を作成、あるいは読解するための会計力を養成することを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
251	春	経営	税務会計論A	野口倫央	金	3	5

【副題】 税務会計と企業会計の相違および益金と損金を理解する

【講義内容】

我々が生活する上で、公共サービスや公共施設を欠かすことはできない。これらを成り立たせているのは、他ならぬ税金である。税金の中心は所得税や法人税といった所得課税である。税金は税法に基づいて課されるものであるが、所得課税は、企業会計において計算された利益を基礎として、その利益に税法独自の思考を考慮した加減算を行い、課税所得を計算し、それに税率を乗じることで算出される。そこで、この授業では課税所得の計算に必要な不可欠な益金と損金の概念について理解することを目的とする。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
252	秋	経営	税務会計論B	野口倫央	金	3	5

【副題】 課税所得の計算方法および国際税務を理解する

【講義内容】

企業会計における重要な視点の一つが税金問題であるといえよう。このような税金について様々な定めを行っているのが税法である。税法は、近年の企業活動のグローバル化や組織再編の活発化等を反映したものとなっており、多くの規定が設けられている。そこで、この授業では、基本的な課税所得計算を学習するだけでなく、国際税務や企業組織再編税制等についても理解することを目的とする。さらに、消費税も企業経営において考慮すべき税金であることから、その理解を促進する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
253	春	経営	中小企業経営論	林伸彦	月	3	3

【副題】 中小企業とはどのような企業なのか、また大企業とは何が違うのか。

【講義内容】

中小企業という言葉を知ることがない人はあまりいないでしょう。また日本の企業の99%以上は中小企業であることはよく知られています(中学校の公民でも学習します)。しかし、具体的に中小企業について知っていることは意外と少ないのではないのでしょうか。この授業では、大企業と比較しながら中小企業および中小企業経営にかかわる基礎的な知識を修得することを目的としています(実務的な知識取得や具体的な経営課題にお応えする内容ではありません。予めご承知おきください)。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
254	秋	経営	中小企業事例研究	林伸彦	月	3	3

【副題】 中小企業の経営実践を、成長企業の戦略分析を通して学ぶ。

【講義内容】

中小企業の経営は、利用できる経営資源が相対的に少ないことを前提としています。しかしそのなかで知恵を絞り、大企業以上の利益率を達成したり、業界トップシェアをほこる中小企業は少なくありません。中小企業は多様な存在と言われ、経営の仕方や戦略も様々で独自性を持っています。そこで本授業では、毎回1社ずつ事例を取り上げて分析をし、最後にそれらの共通項を発見することによって中小企業が成功する秘訣を探ることを目的としています。一方的な講義形式ではなく、実習的要素を含む授業ですので、予めご承知おきください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
255	春	経営	会計学入門 I	平賀正剛	月	3	10

【副題】 財務諸表を読むための基礎

【講義内容】

企業が公表する財務諸表、とりわけ貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の、いわゆる財務三表を読むための基礎知識を養成します。これらの表が読めれば、企業の財政状態や経営成績などが分かるようになります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
256	秋	経営	会計学入門Ⅱ	平賀正剛	月	3	10

【副題】 財務諸表作成のための基礎理論

【講義内容】

なぜ企業は財務諸表を作成するのか、財務諸表を作成するときの基礎的な原則にはどのようなものがあるのか、財務諸表作成を支える基礎的会計理論を説明します。上級の簿記検定試験(日商簿記1級や全経上級)などの受験を考えている人は理解しておくべき内容です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
257	秋	情報処理	経営管理実習ⅡC	荒井耕一郎	水	4	2

【副題】 練習問題を通してExcelとWordの操作に習熟する。

【講義内容】

本講義では、ビジネスデータの操作・分析に威力を発揮するExcelとWordを取り上げ、その機能についての理解と習熟を目指します。履修者は毎回配布される「講義の概要」を読みながら、授業時間内に与えられた課題を完成させることが求められます。毎回多くの練習問題に取り組むため、履修者にはExcelとWordの操作について既にある程度習熟していることが求められます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
258	春	情報処理	ソフトウェア開発論	竹治勲	水	4	5

【副題】 ソフトウェア開発の一連の流れを知る

【講義内容】

社会の様々な分野においてコンピュータは欠かすことのできないものとなっていますが、実際にコンピュータを動作させているのはソフトウェアです。このため、ソフトウェア開発ができる人やソフトウェア開発の知識を持った人の存在が非常に重要視されています。本講義では、システム開発の概念について学び、ソフトウェア開発の手順、システムの運用と保守などについて学びます。この講義は、情報処理技術者試験における出題範囲(システム開発技術・ソフトウェア開発管理技術)にも対応しています。※ パソコンによる実習はありません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
259	春	情報処理	データベースⅠ	中野健秀	月	4	3

【副題】 データベース入門

【講義内容】

データベースというものに初めて触れる初心者を対象とします。講義は、はじめにデータ間の関係、正規化などのデータ分析や、データ定義・操作を行うSQLについて学びます。コンピュータでの演習においては、Accessを使って実際にデータベースを扱い、ビジネスの現場で活用できるようになることを目標とします。情報処理の演習科目としてのレベルは初級程度です。※ パソコンによる実習を行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
260	秋	情報処理	データベースⅡ	中野健秀	月	4	3
【副題】 データベース応用							
【講義内容】 情報処理ⅡAからの継続として、さらに効率よいデータベースの作成方法、活用方法を学びます。Accessで作成したデータベースをマクロ・VBAを構築することによって、受講者が処理の自動化・ユーザインタフェースの作成を自由自在に扱えるようになることを目標として講義を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ 「データベースⅠ」を受講し内容を理解した人が対象です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
261	春	情報処理	データ分析Ⅰ	中野健秀	火	3	3
【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析							
【講義内容】 ITが進んだ今日、企業活動の現場では、様々なデータが溢れています。膨大なデータから価値ある情報を読み取り活用する能力は、全ての企業人にとって必須と言えるでしょう。本講義では、Excelを用いてビジネス実務に沿ったデータ分析を行います。様々な関数を学び応用し、分析結果のグラフ化まで行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ エクセルの簡単な操作ができること(数式入力など)を条件といたします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
262	秋	情報処理	データ分析Ⅱ	中野健秀	火	3	3
【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析 その2							
【講義内容】 マクロやプログラミング言語「VBA」を活用し、効率よくデータ処理業務を進める技術の習得を目指します。マクロおよびVBAの作成や編集、変数や制御構造、分岐処理などをビジネスデータの使用により実習を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ 「データ分析Ⅰ」を受講し内容を理解した人が対象です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
263	春	情報処理	データ分析Ⅰ	中野健秀	火	4	3
【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析							
【講義内容】 ITが進んだ今日、企業活動の現場では、様々なデータが溢れています。膨大なデータから価値ある情報を読み取り活用する能力は、全ての企業人にとって必須と言えるでしょう。本講義では、Excelを用いてビジネス実務に沿ったデータ分析を行います。様々な関数を学び応用し、分析結果のグラフ化まで行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ エクセルの簡単な操作ができること(数式入力など)を条件といたします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
264	秋	情報処理	データ分析Ⅱ	中野健秀	火	4	3

【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析 その2

【講義内容】

マクロやプログラミング言語「VBA」を活用し、効率よくデータ処理業務を進める技術の習得を目指します。マクロおよびVBAの作成や編集、変数や制御構造、分岐処理などをビジネスデータの使用により実習を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※「データ分析Ⅰ」を受講し内容を理解した人が対象です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
265	春	情報処理	情報リテラシーA	御幸英寛	水	4	3

【副題】 ICT社会で活躍できる“情報処理の基礎”および“文書作成能力”を身に付けよう

【講義内容】

今日、パソコンやインターネットは、ビジネスだけでなく生活にも必要不可欠なものとなりつつあります。また、商学部における専門科目でもパソコンやインターネットを利用した講義も多く、これらの活用方法をしっかりと身につけておくことが重要となっています。本科目では、インターネット利活用の向上や実践的なレベルでワープロソフト(Microsoft Word)の操作を学びます。これらを通じ、ICT社会で活躍できる情報処理の基礎および文書作成能力を身につけることを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
266	秋	情報処理	情報リテラシーB	御幸英寛	水	4	3

【副題】 ICT社会で活躍できる“表計算技術(グラフ作成や分析能力)”を身に付けよう

【講義内容】

データ集計や分析能力はビジネスだけではなく、社会状況の把握や政策の是非を検討するうえで必要不可欠なものとなっています。本科目では、大学生として今後の学習・研究活動、および就職活動などに必要とされる表計算ソフト(Microsoft Excel)の活用方法について学びます。これらを通じ、ICT社会で活躍できるデータ分析能力やデータ表現能力を身につけることを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
267	秋	情報処理	コンピュータシステム論	吉田聡	火	4	5

【副題】 コンピュータのハードウェアとソフトウェア

【講義内容】

コンピュータは教育機関・研究機関や企業の現場だけでなく、家庭においても必要不可欠なものとなっています。このため、コンピュータシステムの概要やしきみを知ることは非常に重要となります。本講義では、まずコンピュータ内部で扱われる情報表現について学び、さらにコンピュータを構成するハードウェア、システムソフトウェアなどの概要について学びます。この講義は、情報処理技術者試験における出題範囲(基礎理論・コンピュータ構成要素・システム構成要素・ソフトウェア)にも対応しています。※ パソコンによる実習はありません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
268	春	政治	比較政治	梅川正美	月	2	5

【副題】 主要諸国の政治比較

【講義内容】

政治制度の基本について、特にイギリスを中心としながら、主要国を比較します。現在、イギリスは、EUをどのように離脱するか、離脱したあとは、どのような国にするか。スコットランドは独立するのだろうか。議会制民主主義はどうか。などについて、考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
269	秋	政治	政治学原論	梅川正美	月	2	5

【副題】 昔話の政治学

【講義内容】

政治は何のためにあるのか、政治は何をするべきか。これらについて日本で言い伝えられてきた昔話のメッセージを調べ、それを継承しているアニメや映画などを調べて、その中にある政治に対するメッセージを探します。とくに昔話をいくつかのパターンに分けて考えます。第1節「だましあいの関係」。第2節「正直お爺さん」。第3節「一寸法師」。第4節「猿蟹合戦」。第5節「宝手ぬぐい」。第6節「姥捨て」。第7節「食わず女房」。このような各節にそって、政治へのメッセージを探ります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
270	春	政治	政治思想史	梅川正美	月	3	5

【副題】 近代以降の政治理論の概要について考えます

【講義内容】

近代以降の政治思想について学びます。近代の思想は、中世のローマカトリック支配の世界を打破するなかで生まれてきます。キリスト教的世界を外から否定したのがマキアベリでした。キリスト教の中から否定したルターとカルバンでした。彼らが個人を救済します。この個人を基礎とする政治理論をつくるのがホブズとロックです。両者の理論は、その後、人民を強調するルソーや、個人の快楽を強調するベンサムなどに分化し、ベンサムはミルの民主主義論に継承されます。このような重要な思想家について勉強します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
271	秋	政治	政治学原論	梅川正美	月	4	5

【副題】 昔話の政治学

【講義内容】

政治は何のためにあるのか、政治は何をするべきか。これらについて日本で言い伝えられてきた昔話のメッセージを調べ、それを継承しているアニメや映画などを調べて、その中にある政治に対するメッセージを探します。とくに昔話をいくつかのパターンに分けて考えます。第1節「だましあいの関係」。第2節「正直お爺さん」。第3節「一寸法師」。第4節「猿蟹合戦」。第5節「宝手ぬぐい」。第6節「姥捨て」。第7節「食わず女房」。このような各節にそって、政治へのメッセージを探ります。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
272	春	政治	西洋政治史	中谷毅	火	2	3

【副題】 ドイツ外交の歩み

【講義内容】

第二次世界大戦後から現在までのドイツ政治史を外交政策に焦点を当てて考えます。1989年までの時代をドイツ・欧州の分断、西側統合政策、東方外交、ヨーロッパ平和秩序といったキー概念を中心に検討し、その後、1989年から1990年のドイツ統一劇を説明します。そして、グローバル化の時代といわれる今日、統一後のドイツがどのような課題を抱えながらヨーロッパで、世界でその地歩を築いているのかを考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
273	秋	政治	国際関係論	中谷毅	火	2	3

【副題】 ヨーロッパ統合の歴史

【講義内容】

第二次世界大戦後のヨーロッパ史をヨーロッパの統合という視点から検討します。国際政治における最先端の実験であるヨーロッパ統合という現象を、20世紀の国際政治の変容という大きな流れの中に位置づけて考えます。1945年以降の統合の歴史が説明の中心になりますが、それまでの時代の統合前史にもある程度言及します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
274	春	法律	憲法入門	飯野賢一	木	2	5

【副題】 人権の問題を中心にした憲法入門

【講義内容】

憲法は、大きく分けると人権に関する規定と統治機構に関する規定から成り立っています。この講義では、はじめに憲法の基本原理を確認したのち、人権規定の方に重点を置いて憲法の基本的な考え方を説明します。なぜ憲法入門を人権中心に講義するかといえば、人権が侵害されて困っている人がいることを知れば、憲法問題をより身近に感じてもらえるのではないかと考えるからです。講義では人権の歴史や観念についてみた後、プライバシーの権利や法の下での平等、信教の自由、表現の自由などについて、具体的な事件を取り上げて詳しく説明していきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
275	秋	法律	憲法 I (統治)	飯野賢一	木	2	5

【副題】 国の統治の仕組みを考える

【講義内容】

この講義は、憲法の統治機構に関する基本を説明します。統治機構のメイン・テーマは、国会・内閣・裁判所といった国の組織が、どのような活動を行い、それぞれがどのような関係にあるのかを明らかにすることです。そのために、まず権力分立という考え方を学ぶ必要があります。さらに、こうした国家の組織に対して、国民がどのような係わり合いを持っているのか、とりわけ主権者である国民が、これらの機関に対してどのような民主的コントロールを及ぼすことができるのかを検討します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
276	春	法律	憲法Ⅱ(人権)A	飯野賢一	金	2	5

【副題】 人権の問題から考える個人と国家の関係

【講義内容】

この講義では、現代社会における人権の問題を素材として、個人・社会・国家の関係について考えていきます。春学期では、思想及び良心の自由、信教の自由、表現の自由といった精神的自由に関する問題と、幸福追求権や法の下での平等の問題を扱います。より具体的には、公立学校での国旗国歌の強制は思想の自由を侵害しないのか、名誉毀損的表現や性的表現の規制は認められるのかといった問題を検討します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
277	秋	法律	憲法Ⅱ(人権)B	飯野賢一	金	2	5

【副題】 人権の問題から考える国家と個人の関係

【講義内容】

秋学期の人権の講義のはじめは、経済的自由や財産権、社会権などを中心にお話します。具体的には、職業を選択したり、営業をしたりする自由によどのような規制が認められるのか、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」とはどのようなものか、公立学校での授業内容を決められるのは誰か、会社員や公務員がストライキをすることは認められるのか、という問題を扱います。ここまでお話した後、人権総論に戻り、人権享有主体性の問題や憲法の私人間適用の問題を扱います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
278	春	法律	刑事訴訟法A	石田倫識	火	1	5

【副題】 刑事裁判の諸問題(捜査法に関する判例を中心に)

【講義内容】

裁判員制度の導入を契機に、刑事裁判に対する関心は徐々に高まっています。しかしながら、刑事裁判についての法教育は、陪審制や参審制など、国民の司法参加の制度を有する諸外国に比べて、なお不十分なように思います。本講義では、具体的なケースなどを通じて、刑事裁判の基本原則を学んでいきたいと思します。なお刑事訴訟法Aでは、いわゆる捜査法の領域に重点をおきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
279	秋	法律	刑事訴訟法B	石田倫識	火	1	5

【副題】 刑事裁判の諸問題(証拠法に関する判例を中心に)

【講義内容】

刑事訴訟法Bでは特に刑事証拠法の領域(挙証責任原則、自由心証主義、伝聞法則、自白法則・補強法則、違法収集証拠排除法則等)を重点的に採り上げます。刑事訴訟法A(捜査法)の知識をある程度前提としていますが、必要に応じて、捜査法についても補足いたします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
280	春	法律	特殊講義 V / I 租税法A(基礎)	小川正雄	火	3	5
【副題】 租税法入門							
【講義内容】 個別・具体的な租税法を使用して、租税法の解釈原理・適用を重要な課税要件を絡めながら平易に講義をします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
281	秋	法律	特殊講義 VI / II 租税法B(応用)	小川正雄	火	3	5
【副題】 法人税法・所得税法・消費税法・相続税法の概要							
【講義内容】 上記の租税法の納税義務者、帰属、課税物件、課税標準および税率について講義をします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
282	春	法律	法哲学A	堅田研一	月	2	5
【副題】 法の原理的考察							
【講義内容】 「法とは主権者の発する命令である」という学説の検討から出発して、「法とは何であるか」を原理的に考えていきます。オースティン、ケルゼン、ハート、ドゥワーキンという、現代分析法理学と呼ばれる法哲学者の系譜をたどりながら、法と実力との違い、法と道徳との違い、ルールとして法を捉えることの意義、いわゆる道徳とは異なる法に固有の価値としての「正しさ」、といった法哲学の基本問題について考察していきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
283	秋	法律	法哲学B	堅田研一	月	2	5
【副題】 現代正義論							
【講義内容】 法が実現すべき価値といわれる「正義」とは何かについて考察します。近代法の基本的な価値は自由と平等であるといわれますが、この両者は必ずしも両立するわけではありません。この両者の対立をどのように調整するかをめぐって、現代の自由主義的な正義論が論争を繰り広げています。この論争を、とりわけロールズとノージックの対立を中心に検討します。							



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
284	秋	法律	国家と宗教	堅田研一	火	1	5

【副題】 国家と宗教との関係を原理的・法的に考える

【講義内容】

国家と宗教との関係について原理的に考察します。まず、信教の自由の原則が形成された思想史の流れを振り返りながら、その原理的意義を考えます。次に、信教の自由と政教分離に関する代表的な日本の判例を取り上げ、検討していきます。この検討は、憲法学の成果を踏まえ、かつ信教の自由の原理的・思想史的意義を基に、国家と宗教とがどのように関係すべきかという原理的な問題設定の下で行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
285	春	法律	法学	堅田研一	木	2	5

【副題】 法学入門

【講義内容】

法律学を初めて学ぶ受講生を対象に、近代法の基本的な思想、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原則と概念、法源論など、これからより深く個々の実定法を学ぶための基礎固めを行います。実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、初学者にも理解ができるような説明を心がけます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
286	秋	法律	日本政治史	栗田直樹	月	1	5

【副題】 昭和期の政治史

【講義内容】

昭和戦前期を中心に政治史の概略を学んでいきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
287	春	法律	地方政治	栗田直樹	月	2	5

【副題】 地方に関する大正・昭和の政治史

【講義内容】

大正・昭和期の政治史を地方に視点を据えて学んでいきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
288	春	法律	政党史	栗田直樹	水	1	5
【副題】 昭和期の政党史							
【講義内容】 昭和期、とりわけその戦前・戦中期の政党史について、概略的な解説を行いたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
289	春	法律	企業取引形態と法	黒野葉子	水	3	5
【副題】 企業取引における法ルール							
【講義内容】 企業取引には個人間の取引とは異なる特色があることから、商法によって、民法の一般原則とは異なるルールが定められています。また、企業が消費者との間で行う取引においては、「消費者の保護」という、企業間取引とは異なる配慮が必要となってきます。さらに、現代社会においては、多様な企業取引形態が出現しており、各種の企業取引形態に応じた法ルールも構築されています。この講義では、まず、企業取引に共通する商法上のルールを学び、その上で、消費者取引に関する法や各種の企業取引形態ごとの法について見ていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
290	秋	法律	企業取引決済と法	黒野葉子	水	3	5
【副題】 決済のしくみと法							
【講義内容】 私たちが企業から商品やサービスを購入した場合の支払方法を考えてみると、現金による支払のほか、銀行振込みや電子マネー、クレジットカードなど様々な支払方法を利用していることがわかります。ほかにも、企業間での取引においては、従来、手形や小切手が多く利用されてきましたし、近時では電子記録債権が手形に代わる決済手段として利用されています。また、相殺やネットティングといった決済方法もあります。この授業では、企業取引の決済手段について、そのしくみと、これをめぐる法ルールについて学びます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
291	春	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	黒野葉子	金	3	5
【副題】 株式会社の機関							
【講義内容】 この授業では、株主総会や取締役といった株式会社の「機関」について学習します。会社の「機関」は、まさに、法人たる会社を「動かす」部分です。株式会社は、「所有と経営の分離」のもと、出資者たる株主は業務執行には携わらず、経営を取締役に委ねるかたちをとっており、株式会社においては、その経営の監視体制の整備が重要となります。そこで、この授業では、株式会社のガバナンスにも焦点を当てつつ進めていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
292	秋	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	黒野葉子	金	3	5

【副題】 株式会社の資金調達と会社の組織再編

【講義内容】

この授業では、主として会社法が用意している資金調達のしくみと組織再編のための制度について学習します。具体的には、「募集株式の発行等」、「新株予約権」、「社債」、「合併」、「会社分割」、「株式交換・株式移転」などについて扱います。ここでは、会社法が用意した制度が、その本来の目的とは異なる目的で利用される場合もあるため、まずは、会社法の各制度についてオーソドックスな解説をしたうえで、実際にはそれらの制度がどのように利用されるのか、また、そこにどのような問題が起こりうるのかについてもみていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
293	春	法律	会社法Ⅰ(設立・株式等)A	黒野葉子	金	4	5

【副題】 会社法の基礎および会社の設立

【講義内容】

この授業では、まず、会社の意義や会社法の目的、会社の種類といった会社法の総論的部分を学習します。その上で、株式会社制度を中心に、そのしくみと設立手続についてみていきます。具体的には、会社法の①「第1編 会社法総則」、②「第3編 持分会社」、③「第2編 株式会社」のうち、「第1章 設立」を扱います。授業は、会社法の基本事項につき、なぜそのように定められているのかということも考えながら進めていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
294	秋	法律	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	黒野葉子	金	4	5

【副題】 株式に関する会社法上の基礎知識

【講義内容】

この授業では、株式会社の社員たる地位としての「株式」について扱います。具体的には、株式の意義、株主の権利、株式の種類、株式の譲渡などについて学習します。授業は、会社法の基本事項につき、なぜそのように定められているのかということも考えながら進めていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
295	春	法律	民法法入門	神田桂	火	3	5

【副題】 民法の基礎を学ぶ

【講義内容】

この講義では、まず、民法を学ぶ上での基礎的な知識を習得したうえで、民法の基本原則を中心に民法(財産法)の仕組みや考え方を学ぶ。次いで、民法第1編(総則)の1条から32条の2まで(たとえば、権利濫用、未成年者の民法上の扱い、後見制度等)を解説する(条文は、順不同で登場する)。

【受講上の注意】

- ・六法(ポケット六法(有斐閣)等が望ましい)必携
- ・授業は指定席制で行う。
- ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、小テストを複数回実施する。
- ・この授業は予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
296	秋	法律	民法Ⅲ(債権総論)	神田桂	火	3	3

【副題】 債権総論を学ぶ —債権の目的・債権の効力・債権債務関係の移転・債権の消滅・多数当事者の債権債務関係—

【講義内容】

民法第3編「債権」のうちの第1章「総則」(399条から520条まで)を扱う。民法上の「債権」に関する共通ルール(債権総論)につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。

【受講上の注意】

- ・この講義は毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。
- ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
297	春	法律	民法Ⅳ(契約)	神田桂	金	2	3

【副題】 契約法を学ぶ—契約総論(契約の成立・契約の効力・契約の解除)および契約各論(売買・賃貸借など)—

【講義内容】

民法第3編「債権」のうちの第2章「契約」(521条から696条まで)を扱う。民法上の「契約」をめぐる規定につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。【受講上の注意】・毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
298	秋	法律	民法Ⅳ(契約)	神田桂	金	2	3

【副題】 契約法を学ぶ—契約総論(契約の成立・契約の効力・契約の解除)および契約各論(売買・賃貸借など)—

【講義内容】

民法第3編「債権」のうちの第2章「契約」(521条から696条まで)を扱う。民法上の「契約」をめぐる規定につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。

- 【受講上の注意】・毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
299	春	法律	地方自治法	小林明夫	火	2	5

【副題】 地方自治の法としくみを学ぶ

【講義内容】

日本国憲法が保障する地方自治とは何か、それを現実のものとするための地方自治の法としくみはどのようなものなのか、といった点を体系的に理解することがこの講義の目標である。このことから、憲法・地方自治法などの理解を中心として話を進める。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
300	秋	法律	行政法A	小林明夫	火	2	5

【副題】 行政法の基礎を学ぶ

【講義内容】

この講義は、行政法の全体像を把握・理解することを目的とする。行政法の分野に属する無数の法令は、いずれも市民生活に密接な関わりを有しているものばかりである。この講義では、個々の法令というよりこれらを一貫基本原則を理解することを主眼として進めていく。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。(本科目の講義内容は「行政法 I (総論)A」と同様である。)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
301	春	法律	特殊講義XIV自治体法務	小林明夫	木	2	5

【副題】 政策法務という「新大陸の法学」への招待

【講義内容】

この講義では「政策法務」と呼ばれる分野を取り扱う。政策法務とは、「法を政策実現の手段と捉え、政策実現のためにどのような立法、法執行、争訟評価が求められるかを検討する理論及び実務における取組」であるとするのが学界における代表的な定義である。本講義においては、理論と実務とを架橋するという政策法務の特質を意識しつつ、その考え方を紹介していく。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
302	春	法律	地方自治と法	小林明夫	木	4	5

【副題】 地方自治の法としくみを学ぶ

【講義内容】

日本国憲法が保障する地方自治とは何か、それを現実のものとするための地方自治の法としくみはどのようなものなのか、といった点を体系的に理解することがこの講義の目標である。このことから、憲法・地方自治法などの理解を中心として話を進める。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。(本科目の講義内容は「地方自治法」と同様である。)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
303	秋	法律	行政法Ⅰ(総論)A	小林明夫	木	4	5

【副題】 行政法の基礎を学ぶ

【講義内容】

この講義は、行政法の全体像を把握・理解することを目的とする。行政法の分野に属する無数の法令は、いずれも市民生活に密接な関わりを有しているものばかりである。この講義では、個々の法令というよりこれらを貫く基本原理を理解することを主眼として進めていく。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
304	春	法律	民法Ⅰ(総則)	佐藤啓子	火	1	5

【副題】 法律行為の基礎と時効について学ぶ

【講義内容】

民法90条-169条を学びます。ここは民法の第1編「総則」の後半部分にあたります。法律行為(特に意思表示の効力と代理)と時効とを主な内容とします。抽象度が高い内容ですので、判例を紹介しつつ学説の対立も学びます。民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定された教材だけでなく、六法を必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
305	秋	法律	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	火	1	5

【副題】 物権総論と、担保物権以外の物権について

【講義内容】

民法の175-294条を扱います。ここは主に、民法の第2編「物権」の前半部分に当たります。物(動産・不動産)を中心に、「自分の」物とは民法上どのような意味か、二重売買、不法侵奪などの事例にどう対処すべきかなどを、学説と判例を中心に学びます。ただし、民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定した教材だけでなく六法を必ず持参してください

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
306	春	法律	民事法入門	佐藤啓子	火	3	5

【副題】 民法の基礎を学ぶ

【講義内容】

法律というといふ「国が…」「被害者が…」という内容を思い浮かべますが、私たちの日常生活の中にも法は生きています。そのような分野の代表格が、売買や消費貸借に関する民事法でしょう、その民事法の全体像と、民法の最初の部分(民法89条まで)を学びます。教科書と六法は必ず持参してください。なお、この授業は指定席制で行われます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
307	秋	法律	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	火	3	5

【副題】 物権総論と、担保物権以外の物権について

【講義内容】

民法の175-294条を扱います。ここは主に、民法の第2編「物権」の前半部分に当たります。物(動産・不動産)を中心に、「自分の」物とは民法上どのような意味か、二重売買、不法侵奪などの事例にどう対処すべきかなどを、学説と判例を中心に学びます。ただし、民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定した教材だけでなく六法を必ず持参してください

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
308	春	法律	民法Ⅰ(総則)	佐藤啓子	火	4	5

【副題】 法律行為の基礎と時効について学ぶ

【講義内容】

民法90条-169条を学びます。ここは民法の第1編「総則」の後半部分にあたります。法律行為(特に意思表示の効力と代理)と時効とを主な内容とします。抽象度が高い内容ですので、判例を紹介しつつ学説の対立も学びます。民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定された教材だけでなく、六法を必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
309	秋	法律	民法Ⅱ(物権)	佐藤啓子	水	1	5

【副題】 物権総論と、担保物権以外の物権について

【講義内容】

民法の175-294条を扱います。ここは、民法の第2編「物権」の前半部分に当たります。物(動産・不動産)を中心に、「物を持っている」とは民法上どう表現されるのか、二重売買、不法侵奪などの事例にどう対処すべきかなどを、学説と判例を中心に学びます。ただし、民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定した教材だけでなく六法を必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
310	春	法律	民法Ⅴ(担保物権)	佐藤啓子	水	2	3

【副題】 債務を確実に実行してもらうための物的担保について

【講義内容】

民法の295条-398条の22と、非典型担保を扱います。ここは主に、民法の第2編「物権」の後半部分に当たります。物(動産・不動産)を中心に、人に対して債権の履行を促すシステムの一部を、学説と判例を中心に学びます。民法のこの範囲以外の理解も要求されますが、物権と債権の復習をしながら授業を進めます。民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定された教材だけでなく、六法を必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
311	秋	法律	消費者と法	佐藤啓子	水	2	3

【副題】「強い」消費者になる

【講義内容】

消費者は「弱い」「保護されるべき」存在だと考えられてきました。また、不況になると悪徳商法によるトラブルが増えるとも言われています。もしトラブルが起きたらまずその対処が必要ですが、そもそもトラブルに巻き込まれない方がよいのではないのでしょうか。ある程度の法的な基礎知識に加えて、対処方法を学びます。なお、六法を持参してください。また、インターネットからいくつかの条文をプリントアウトしてほしいと要望するかもしれません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
312	春	法律	行政法 I (総論)B	杉原丈史	月	3	5

【副題】 行政過程を通じた行政の活動形式に対する法的統制の構造

【講義内容】

行政法 I (総論)Aの講義で明らかとなった法律による行政の限界を克服すべく提唱された重要な行政法理論である行政過程論の立場から、行政過程全体を通じていかなる活動形式が用いられ、それに対してどのような法的統制がなされているかにつき、近年の立法・判例の動向をふまえながら、その現状と課題を分析していく。本科目は、「行政法 I (総論)A」を履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
313	秋	法律	行政法 II (各論)	杉原丈史	月	3	5

【副題】 行政活動に対する私人の利益救済に関する法的仕組み

【講義内容】

行政は、膨大な人員・設備と強力な権限を有する公的組織によって実施される以上、違法になされた場合ももちろん、適法であっても、個人々の権利・利益を侵害する危険性を常に有している。個人のこうした危険に対して、必要な救済手段を保障するために発達してきた行政争訟法および国家補償法の現状を分析する。本科目は、「行政法 I (総論)A・B」を一通り履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
314	秋	法律	行政法 I (総論)A	杉原丈史	火	2	5

【副題】 行政活動をめぐる法的統制の基本構造

【講義内容】

社会全体の利益、すなわち公益を実現するために、国・自治体が市民に対して行う規制や給付などの行政活動は、市民の日々の生活を直接左右するものである以上、法に基づく公正かつ民主的な統制が不可欠である。こうした統制の基本的な仕組みを明らかにした上で、それが現代の複雑多様な行政活動にどこまで対応できているのかを分析する。本科目は、憲法を始めとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
315	春	法律	特殊講義Ⅵ行政紛争と法	杉原丈史	金	2	5

【副題】 行政紛争の法的解決を目的とした様々な手続きや仕組み

【講義内容】

消費者被害、建築紛争、環境問題など、現代社会における様々な法的紛争は、本来それを予防すべき行政活動が違法に行われてしまったり、逆に十分行われていなかったりすることに起因する場合が多い。本科目では、そうした「行政の失敗」をいかに是正・改善し、紛争に対して適正な解決をもたらすことができるかという観点から、現行法における行政紛争解決目的による様々な手続きや仕組みを幅広く検討する。本科目は、少なくとも「行政法A」を履修した上で受講することが望ましい。また、講義内容は、「行政法Ⅱ（各論）」と相当程度重複する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
316	秋	法律	行政法B	杉原丈史	金	3	5

【副題】 行政過程を通じた行政の活動形式に対する法的統制の構造

【講義内容】

行政法Aの講義で明らかとなった法律による行政の限界を克服すべく提唱された重要な行政法理論である行政過程論の立場から、行政過程全体を通じていかなる活動形式が用いられ、それに対してどのような法的統制がなされているかにつき、近年の立法動向をふまえながら分析していく。よって、本科目は、「行政法A」を履修した上で受講することが望ましい。なお、講義内容は「行政法Ⅰ（総論）B」と同様である。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
317	春	法律	法学	鈴木慎太郎	月	2	5

【副題】 はじめて法を学ぶ人のための法学入門

【講義内容】

この講義は、さまざまな法を理解し、学ぶための基礎固めを行う講義です。法律学にはじめて触れる受講生を対象に、法の基本的な考え方、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原理と概念、法源論、法解釈の方法などをわかりやすく説明します。受講生は法学の初学者であることが前提ですので、実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、理解しやすい講義をめざします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
318	春	法律	外国法A	鈴木慎太郎	火	5	5

【副題】 アメリカ法制度の基本を学ぶ

【講義内容】

この講義では、「外国法」としてアメリカ法を学びます。各回の講義では、アメリカの統治構造や立法過程、司法制度の概要とその特徴、法律家のあり方、ロースクールなど法曹養成制度の概要、憲法・民法・刑法の分野でのアメリカ法に特徴的な制度や考え方などを説明します。アメリカの法制度を多角的な観点から検討することでその全体像を把握し、また日本法とアメリカ法を比較することで日本法の理解を深めることも目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
319	秋	法律	外国法B	鈴木慎太郎	火	5	5

【副題】 判例から読み解くアメリカ社会

【講義内容】

アメリカの法制度は判例を中心に形成されています。この講義では、1つの判例を1ないし2回にわたって検討し、私たち日本人の法感覚と比較しながら、アメリカ法の原理やその背景にあるアメリカ社会の価値観を理解することをめざします。検討する判例は、表現の自由、信教の自由や生命倫理の問題に関するものです(※アメリカ法制度の全体構造についての説明は「外国法A」で行い、この講義では行いませんのでご注意ください)。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
320	秋	法律	環境と法	鈴木慎太郎	水	3	15

【副題】 環境問題を知り、持続可能な社会のあり方と法の役割を考える

【講義内容】

この講義は、なごや環境大学との連携講義です。市民・市民団体、企業、教育機関、行政が協働して運営するなごや環境大学を通して、産、官、民それぞれのセクターから専門家を講師としてお迎えし、環境問題の現状や持続可能な社会を実現するための法制度と実践的な取組みについて講義していただきます。また、法学部の教員が、初回と最終回の講義を担当するとともに、各回の講義にも参加し、講義やディスカッションをファシリテイトします。この講義では、外部講師と法学部教員が協力して、環境と法に関わる実践知と理論知の提供をめざします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
321	春	法律	法学	鈴木慎太郎	木	2	5

【副題】 はじめて法を学ぶ人のための法学入門

【講義内容】

この講義は、さまざまな法を理解し、学ぶための基礎固めを行う講義です。法律学にはじめて触れる受講生を対象に、法の基本的な考え方、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原理と概念、法源論、法解釈の方法などをわかりやすく説明します。受講生は法学の初学者であることが前提ですので、実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、理解しやすい講義をめざします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
322	秋	法律	法と倫理	鈴木慎太郎	木	2	5

【副題】 法学から生命倫理を考える

【講義内容】

先端的な医療が次々と開発されている現代社会においては、そうした新しい医療の社会的受容が課題となっています。この講義では、臓器移植医療、生殖補助医療、遺伝子医療などの進展に伴って生じる生命倫理の問題に対し、法的思考を用いてどのような解決が考えられるのかを検討します。こうした現代的な課題を考えることを通して、法の可能性と限界、法と倫理の関係など、「法」に対する理解を深めることが、この講義のねらいです。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
323	秋	法律	民法Ⅶ(親族)	鈴木伸智	水	3	3

【副題】 夫婦・親子をめぐる法律問題

【講義内容】

「民法Ⅶ(親族)」では、「誰と誰とが婚姻をすることができるのか」、「離婚をするにはどのようにすればよいのか」、「離婚の際、財産はどのように分けられるのか」、「親子とはどのような関係にあるものをいうのか」などの問題に触れながら、民法第4編「親族」を中心に解説する。自分の身の回りで起こり得る家族にかかわる事象が、法律でどのように規律されているのかを理解してもらいたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
324	春	法律	家族と福祉	鈴木伸智	木	3	3

【副題】 子どもと高齢者をめぐる法律問題

【講義内容】

本講義では、まず、子どもと家族との関わり合いという視点から、民法の親子法を中心に、生殖補助医療、子どもの権利条約、児童虐待などについて解説する。次いで、高齢者とその家族にかかわるさまざまな法的問題を取り上げ、民法および特別法の視点から検討する。講義のスケジュールについては、子どもの問題と高齢者の問題との比率が、7対3程度になると思われる。なお、受講に際しては、「現代社会と家族」を聴講済みであることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
325	秋	法律	現代社会と家族	鈴木伸智	木	3	5

【副題】 家族をめぐる法律問題

【講義内容】

人の社会生活の基盤となるのは家族であるといわれる。この家族をめぐる紛争が生じた場合、解決の基準の一つとなるのが民法第4編「親族」・第5編「相続」である。「現代社会と家族」では、この両編について解説する。なお、「親族」・「相続」をより深く学びたい場合は、本講義ではなく、法律学科の民法Ⅶ(親族)および民法Ⅷ(相続)を受講することをお勧めする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
326	春	法律	民法Ⅷ(相続)	鈴木伸智	金	2	5

【副題】 相続をめぐる法律問題

【講義内容】

民法第5編に規定される相続法は、死亡した人の財産を「いつ、どこで、誰が、どのように承継するか」を定めるルールである。わが国では、この「誰が」という点に着目し、親族法と相続法とを合わせて、家族法と呼ぶことがある。一方で、相続法は、財産の「承継」という意味では、財産法の一部とみられることもできる。このことから分かるように、相続法を理解するためには、親族法だけでなく、財産法の知識も必要である。受講に際しては、少なくとも「民法Ⅶ(親族)」を聴講済みであることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
327	秋	法律	特殊講義XV 家族法	鈴木伸智	金	2	3
【副題】 家族法を掘り下げる							
【講義内容】 本講義を開講した目的は、「民法Ⅶ(親族)」および「民法Ⅷ(相続)」ではカバーしきれなかった内容をより詳細に伝えることにある。したがって、受講に際しては、上記2科目を聴講済みであることが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
328	春	法律	民事執行・保全法	高木敬一	水	3	5
【副題】 強制執行手続の骨組みを学ぶ							
【講義内容】 権利、特に請求権の実現に関わる手続である民事執行手続及び民事保全手続を対象とするが、民事保全手続は簡単に触れるだけに留め、専ら民事執行手続を取り上げる。なかでも、民事執行手続の中核をなす強制執行を主に解説する。具体的には、まず、強制執行手続の基本的な仕組みを学び、その後、強制執行の具体的な手続を概観する。強制執行の各種の手続のうちでは、特に重要性の高い不動産強制競売に重点を置く。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
329	秋	法律	民事訴訟法入門	高木敬一	水	3	5
【副題】 民事訴訟法の基礎と判決手続の概要を学ぶ							
【講義内容】 この講義では、民事訴訟を理解するための第一歩として、民事訴訟の基本的な考え方、手続の流れなどを学び、それを通じて民事訴訟法の基礎を知り、判決手続の概要を理解することを目指す。そこで、まず民事訴訟の基礎概念を学んだ後、民事訴訟を類型毎に概観する。その後、判決手続の流れを、訴えの提起から第一審手続、更には上訴手続まで通観する。最後に時間が許せば、民法を踏まえつつ、訴訟における当事者の能力について言及する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
330	秋	法律	紛争解決と法	高木敬一	金	2	5
【副題】 民事紛争を解決するための手続の概要を学ぶ							
【講義内容】 社会生活を送っていると、しばしば紛争に巻き込まれるが、これを適切に解決しないと、平穏な生活を送れない。国家や社会は紛争を解決するために多くの制度を置いている。その代表が民事訴訟であるが、それ以外にもADRと総称される多くの裁判外紛争解決手続が存在している。この講義では、ADRにはどのようなものがあるかを理解するとともに、民事訴訟との対比から、ADRがどのような特徴を持っているかを知り、我が国における紛争解決手続の全体像を把握することを目指す。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
331	春	法律	民事訴訟法A	高木敬一	金	3	5

【副題】 民事訴訟の審理を学ぶ

【講義内容】

訴訟というとまず思い浮かべるのは、両当事者が裁判官の面前で互いに主張を闘わせ、証拠を挙げあうという審理の場面であろう。このイメージが正確か否かは別として、少なくとも民事訴訟手続のなかで、審理が中核的な位置にあることは確かである。この講義では、民事訴訟の審理の進め方、その基本的な考え方を学ぶ。具体的には、主要事実と間接事実、証拠調べ、証明責任、裁判上の自白、弁論主義などを取り上げて解説する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
332	秋	法律	民事訴訟法B	高木敬一	金	3	5

【副題】 口頭弁論、上訴審の手続及び判決効を学ぶ

【講義内容】

この講義では、まず第一審の審理を主に手続的な面から概観し、口頭弁論の方式やそれをめぐる原則、弁論の準備などに言及する。その後、上訴手続について、民事訴訟法入門での学修を踏まえてより深く解説する。次に、確定判決の効力のうち既判力について概観し、最後に時間が許せば当事者について、民事訴訟法入門で言及できなかった部分を中心に講義する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
333	春	法律	国際機構と法	尋木真也	月	4	5

【副題】 国際機構の組織と法的役割

【講義内容】

国際社会には、国連をはじめとする約400の国際機構が存在するといわれる。これらの国際機構は、設立文書と呼ばれる条約(たとえば国連は「国連憲章」)に基づいて、国際社会の平和や発展のためにさまざまな取り組みを実施している。本講義では、国際機構の法的側面について学ぶことを主眼に据え、北朝鮮の核開発問題やシリア内戦への国連安全保障理事会の対応等の時事問題についても適宜考察を行う。なお、各国際機構に通底するルールを学ぶために、一般的・普遍的国際機構である国連および国際連盟を主たる素材として取り上げる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
334	秋	法律	国際紛争と法	尋木真也	月	4	5

【副題】 国際法による平和の追求

【講義内容】

私たち人類は、20世紀には2度の世界大戦と長い冷戦時代を経験し、21世紀には多くのテロに直面している。こうした現実を受け、国際社会は戦争を禁止し、紛争の平和的解決を義務づけた。今日の平和は、国連の集団的安全保障の下で維持されており、平和に対する脅威をもたらす国に対しては、制裁が加えられてきている。しかし、それでも戦争が発生した場合には、国際人道法を適用することにより、敵対行為の規制や戦争犠牲者の保護が図られている。本講義では、安全保障法と国際人道法の観点から、戦争の規制について学習する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
335	春	法律	国際法 I (総論)A	尋木真也	木	2	10

【副題】 国際社会における法の役割

【講義内容】

国際社会においては、領土問題(竹島・北方領土問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP、日EU・EPA等)、安全保障問題(北朝鮮核開発等)など、絶えずさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論) Aでは、主に国際法の基礎となる法源(条約・慣習法)や国際法主体、管轄権などの学習を通じて、こうした国際問題に通底する法の基礎理論や共通規則について勉強する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
336	秋	法律	国際法 I (総論)B	尋木真也	木	2	10

【副題】 国際社会における法の役割

【講義内容】

国際社会においては、領土問題(竹島・北方領土問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP、日EU・EPA等)、安全保障問題(北朝鮮核開発等)など、絶えずさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論) Bでは、人権、環境、安全保障等の個別の論点につき、国際法がいかなる規律を及ぼしているかについて学習する。本講義は、基本的に国際法 I (総論) Aを受講していることを前提に進める。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
337	春	法律	国際法 I (総論)A	尋木真也	木	3	10

【副題】 国際社会における法の役割

【講義内容】

国際社会においては、領土問題(竹島・北方領土の領有権等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP、日EU・EPA等)、安全保障問題(テロ・北朝鮮核開発等)など、絶えずさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論) Aでは、主に国際法の基礎となる法源(条約・慣習法)や国際法と国内法の関係、国家主権などの講義を通じて、こうした国際問題に通底する法の基礎理論や共通規則について学習する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
338	秋	法律	国際法 I (総論)B	尋木真也	木	3	10

【副題】 国際社会における法の役割

【講義内容】

国際社会においては、領土問題(竹島・北方領土の領有権等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP、日EU・EPA等)、安全保障問題(テロ・北朝鮮核開発等)など、絶えずさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論) Bでは、人権、環境、安全保障等の個別の論点につき、国際法がいかなる規律を及ぼしているかについて学習する。本講義は、基本的に国際法 I (総論) Aを受講していることを前提に進める。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
339	春	法律	民法Ⅱ(物の利用と法)	田中淳子	月	4	5

【副題】 財貨の帰属秩序を学ぶ

【講義内容】

土地を利用する場合、自分のものであれば「所有権」に基づいて利用することができるが、他人の土地を利用する場合には、賃貸借契約や地上権等、利用する権原(根拠)が必要となる。本講義では、物の利用についてのいくつかの法的手段について学びます。具体的には、所有権と賃貸借契約のような利用権の法的性質の違い(物権と債権の相違点)や、実際に起こっている裁判例を通じて明らかになっている法的問題について解説し、制度上どこに問題があるのかを一緒に考えてみます。教科書は近江幸治『民法講義Ⅱ物権法[第三版]』(成文堂、2006年)。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
340	秋	法律	金融担保と法	田中淳子	月	4	5

【副題】 債権保全のための担保制度を学ぶ

【講義内容】

新しい事業を始めるために銀行から融資を受けたい、住宅を購入するため融資を受けたい。あるいは給料や、家賃について「後から本当に払ってくれるだろうか」と債権者からすれば不安になる場合も実社会では少なくない。民法は、295条から398条の22において前記の場合に対応すべく法的手段を規定している(典型担保)。それ以外には保証制度もある。本講義では改正債権法にも触れながら一緒に債権保全制度を学びます。教科書は、教科書は近江幸治『民法講義Ⅲ担保物権[第2補訂版]』(成文堂、2007年)。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
341	秋	法律	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	月	2	5

【副題】 民法の共通ルールを学ぶ

【講義内容】

民法第一編総則のうち、後半部分(法律行為・意思表示、代理、時効)を中心に各制度について学びます。ここでの内容は、民法全体に共通するルールであり、物権や債権などの領域を理解するために必要不可欠な知識となります。本講義では、民法総則に関する基礎的な知識を修得することにより、実際の取引関係において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
342	秋	法律	民法Ⅰ(総則)	永岩慧子	火	1	5

【副題】 民法の共通ルールを学ぶ

【講義内容】

民法第一編総則のうち、後半部分(法律行為・意思表示、代理、時効)を中心に各制度について学びます。ここでの内容は、民法全体に共通するルールであり、物権や債権などの領域を理解するために必要不可欠な知識となります。本講義では、民法総則に関する基礎的な知識を修得することにより、実際の取引関係において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
343	春	法律	民法法入門	永岩慧子	火	3	5

【副題】 民法の基礎を学ぶ

【講義内容】

民法の全体的な仕組みについて理解したのち、第一編総則のうち前半部分(法人まで)を中心に各制度について学びます。ここでの内容は、民法全体に共通するルールであり、物権や債権などの領域を理解するために必要不可欠な知識となります。本講義では、民法総則に関する基礎的な知識を修得することにより、実際の取引関係において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
344	秋	法律	民法 I (総則)	永岩慧子	火	3	5

【副題】 民法の共通ルールを学ぶ

【講義内容】

民法第一編総則のうち、後半部分(法律行為・意思表示、代理、時効)を中心に各制度について学びます。ここでの内容は、民法全体に共通するルールであり、物権や債権などの領域を理解するために必要不可欠な知識となります。本講義では、民法総則に関する基礎的な知識を修得することにより、実際の取引関係において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
345	秋	法律	損害賠償と法	永岩慧子	火	4	5

【副題】 損害賠償の視点から民法のルールを学ぶ

【講義内容】

民法に規定される損害賠償をめぐるルールについて、不法行為責任を中心に基本的な概念や制度の意義を学びます。講義の中では、債務不履行責任も扱います。抽象的な規定が多い民法ですが、私たちが日常生活の中で接する身近な具体的事例を示しながら、重要な点について説明します。本講義では、社会生活の基本に関わるこれらの法制度を理解することにより、実際の取引関係等において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
346	春	法律	民法 I (総則)	永岩慧子	水	1	5

【副題】 民法の共通ルールを学ぶ

【講義内容】

民法第一編総則のうち、後半部分(法律行為・意思表示、代理、時効)を中心に各制度について学びます。ここでの内容は、民法全体に共通するルールであり、物権や債権などの領域を理解するために必要不可欠な知識となります。本講義では、民法総則に関する基礎的な知識を修得することにより、実際の取引関係において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
347	秋	法律	民法Ⅵ(不法行為等)	永岩慧子	水	3	5

【副題】 不法行為法を中心に民法のルールを学ぶ

【講義内容】

民法第三編第二章から第五章に規定される債権の発生原因に関する各制度のうち、契約(第二章)を除く法定債権関係(事務管理・不当利得・不法行為)について、基本的な概念や制度の意義を学びます。

本講義では、社会生活の基本に関わるこれらの法制度を理解することにより、実際の取引関係等において生じる具体的な問題について法的な観点から検討する能力を養うことを目標としています。講義内容の理解のため、教科書・六法は必ず持参してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
348	春	法律	刑法Ⅱ(各論)A	野村健太郎	火	2	5

【副題】 各種犯罪はどのような場合に成立するのか(1)

【講義内容】

刑法は、各条文で「殺人罪」「窃盗罪」などの犯罪を規定し、それぞれの犯罪にふさわしい刑の重さを定めています。刑罰を科すためには、「何らかの犯罪」ではなく、「どの犯罪が成立するのか」をはっきりさせなければなりません。この講義では、刑法総論で学んだことを前提に、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
349	秋	法律	刑法Ⅱ(各論)B	野村健太郎	火	2	5

【副題】 各種犯罪はどのような場合に成立するのか(2)

【講義内容】

春学期に引き続き、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
350	秋	法律	刑事法入門	野村健太郎	木	2	5

【副題】 刑罰の意味、刑事法の基本原則

【講義内容】

死刑、懲役刑、罰金刑などの刑罰は、科される側からしてみれば、「殺される」「刑務所に閉じこめられる」「お金を奪われる」といった「苦痛」を意味します。ただでさえ犯罪によって人が苦しんだのに、なぜ、わざわざ刑罰を科して、苦しむ人をさらに増やすのか、それをこの講義では考えてみたいと思います。また、不当な処罰を防ぐために確立されてきた基本原則についても、学んでいくことにします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
351	秋	法律	刑法(各論)	野村健太郎	木	4	5

【副題】 各種犯罪はどのような場合に成立するのか

【講義内容】

刑法は、各条文で「殺人罪」「窃盗罪」などの犯罪を規定し、それぞれの犯罪にふさわしい刑の重さを定めています。刑罰を科すためには、「何らかの犯罪」ではなく、「どの犯罪が成立するのか」をはっきりさせなければなりません。この講義では、刑法(総論)で学んだことを前提に、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。※この講義は半期科目です。刑法各論についてより広く学びたい方は、刑法Ⅱ(各論)A・Bのほうを受講してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
352	春	法律	刑法Ⅰ(総論)A	野村健太郎	金	2	5

【副題】 なぜ刑罰を科すのか、どのような場合に刑罰を科してよいのか(1)

【講義内容】

死刑、懲役刑、罰金刑などの刑罰は、科される側からしてみれば、「殺される」「刑務所に閉じこめられる」「お金を奪われる」といった「苦痛」を意味します。ただでさえ犯罪によって人が苦しんだのに、なぜ、わざわざ刑罰を科して、苦しむ人をさらに増やすのでしょうか。この講義では、この疑問について考えたうえで、刑罰を科してよい場合と、科してはいけない場合とを、感情に流されず冷静に区別するための方法を、考えていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
353	秋	法律	刑法Ⅰ(総論)B	野村健太郎	金	2	5

【副題】 なぜ刑罰を科すのか、どのような場合に刑罰を科してよいのか(2)

【講義内容】

春学期に引き続き、刑罰を科してよい場合と、科してはいけない場合とを、感情に流されず冷静に区別するための方法を、考えていきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
354	春	法律	メディアと法	波多江悟史	水	2	5

【副題】 マスメディア法を学ぶ

【講義内容】

マスメディアは、今日の言論空間を独占し、社会に大きな影響力を有してきました。こうした傾向は、インターネットの発達に伴い、一般の人々が表現を行うことが可能となった今日でも続いています。そこで、本授業では、法を通して、マスメディアを理解することを目指します。とくに、マスメディアの現代的状況を踏まえ、国家との関係および市民との関係でマスメディアの法的規律を整理したうえで、マスメディアの今日的課題について考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
355	秋	法律	情報と法	波多江悟史	水	2	5

【副題】 現代社会における表現の自由について考える

【講義内容】

現代社会での表現活動は、孤立した個人によってなされるだけでなく、集会・デモ行進・結社のように、団結した集団によってもなされるようになっていきます。さらに、国家も、表現活動を規制するだけでなく、施設の設置や文化の助成のように、表現活動を保障するようになっています。そこで、本授業では、集団による表現活動が、国家によっていかに規制され、いかに保障されているのかを検討することによって、現代社会における表現の自由について考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
356	春	法律	憲法入門	波多江悟史	木	3	5

【副題】 憲法の基本的内容を学ぶ

【講義内容】

本授業では、憲法の全体像を講義することを通して、憲法の基本的な仕組みを理解することを目指します。とくに実際に問題となった事件を多く取り上げることで、憲法条文に関する基本的解釈を理解するだけでなく、憲法規範に基づいて、今日の日本社会を批判的に分析し、あるべき社会を構想する能力を修得することを重視します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
357	秋	法律	人権論	波多江悟史	木	3	5

【副題】 憲法の人権保障を学ぶ

【講義内容】

本授業では、人権保障の全体像を講義することを通して、人権保障の基本的考え方を理解することを目指します。とくに実際に問題となった事件を多く取り上げることで、憲法条文に関する基本的解釈を理解することだけでなく、憲法規範に基づいて、今日の日本社会を批判的に分析し、あるべき社会を構想する能力を修得することを重視します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
358	春	法律	憲法入門	波多江悟史	金	2	5

【副題】 憲法の基本的内容を学ぶ

【講義内容】

本授業では、憲法の全体像を講義することを通して、憲法の基本的な仕組みを理解することを目指します。とくに実際に問題となった事件を多く取り上げることで、憲法条文に関する基本的解釈を理解するだけでなく、憲法規範に基づいて、今日の日本社会を批判的に分析し、あるべき社会を構想する能力を修得することを重視します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
359	秋	法律	憲法Ⅰ(統治)	波多江悟史	金	2	5

【副題】 憲法の統治構造を学ぶ

【講義内容】

現代日本の統治構造は、1990年代に着手された政治改革・行政改革・司法制度改革によって形作られています。しかし、一連の改革から20年以上が経過した今日では、多くの弊害が指摘されるようになってきています。本授業では、日本国憲法が想定する統治構造を踏まえたうえで、現代日本の統治構造について批判的に評価する能力を習得することを目指します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
360	秋	法律	特殊講義Ⅹ国際人権法 /国際人権と法	初川満	木	1	5

【副題】 国内人権保障の国際的監視システムについて学ぶ

【講義内容】

人権を人間の法的権利と定義し、法的枠組みによる人権の保障について考える。まず、人権とは歴史的にいかなるものかを学び、しかる後に国際社会が人権問題をいかに扱い、いかにして保障しようとしているかを学ぶ。なお、本講義では、特に戦後国際的関心事となった人権の保障について、国際社会はいかに国際基準に基づいた国内人権保障監視システムを発達させてきたかを見て行く。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
361	春	法律	刑法Ⅱ(各論)A	三上正隆	月	4	5

【副題】 個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件についての検討

【講義内容】

刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件を学ぶことを通して、刑法各論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅱ(各論)A」では、生命・身体に対する罪(殺人罪及び傷害罪等)、自由に対する罪(監禁罪等)、人格的法益に対する罪(名誉毀損罪等)及び財産に対する罪(窃盗罪等)等を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
362	秋	法律	刑法Ⅱ(各論)B	三上正隆	月	4	5

【副題】 個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件についての検討

【講義内容】

刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件を学ぶことを通して、刑法各論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅱ(各論)B」では、財産に対する罪(強盗罪、詐欺罪及び横領罪等)及び放火罪等を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
363	春	法律	刑法 I (総論)A	三上正隆	火	4	5

【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討

【講義内容】

個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法 I (総論)A」では、刑事法入門(刑事手続の流れ等)、刑罰論(刑罰の種類・正当化根拠等)、刑法の基本原則(罪刑法定主義及び責任主義等)、犯罪体系論及び構成要件(因果関係等)を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
364	秋	法律	刑法 I (総論)B	三上正隆	火	4	5

【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討

【講義内容】

個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法 I (総論)B」では、違法(違法性の実質、正当防衛及び緊急避難等)、責任(責任能力[原因において自由な行為を含む]等)、未遂犯及び共犯を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
365	春	法律	刑法(総論)	三上正隆	木	3	5

【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討

【講義内容】

個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法(総論)」では、犯罪体系論、構成要件(因果関係及び不作為犯等)、違法(正当防衛及び緊急避難等)、責任(責任能力等)、未遂犯及び共犯を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
366	春	法律	会社法 I (設立・株式等)A	南川和範	水	1	5

【副題】 会社法の基礎的知識・理解と文章表現力の養成

【講義内容】

この授業においては、「会社法」を取り扱います。会社法は、大きく「総論」、「設立」、「株式」、「機関」、「資金調達」、「組織再編行為」に分野分けできますが、会社法 I Aでは「設立」までを取り扱う予定です。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる「講義」ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
367	秋	法律	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	南川和範	水	1	5

【副題】 会社法の基礎的知識・理解と文章表現力の養成

【講義内容】

この授業においては、「会社法」を取り扱います。会社法は、大きく「総論」、「設立」、「株式」、「機関」、「資金調達」、「組織再編行為」に分野分けできますが、会社法ⅠBでは「株式」を取り扱う予定です。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる「講義」ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
368	春	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	南川和範	木	1	5

【副題】 会社法の基礎的知識、理解と文章表現力の養成

【講義内容】

本講義においては、「会社法」を取り扱います。「会社法Ⅱ」においては、会社の運営の担い手(会社の機関)に関する法規制を取り上げます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
369	秋	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	南川和範	木	1	5

【副題】 会社法の基礎的知識、理解と文章表現力の養成

【講義内容】

本講義においては、「会社法」を取り扱います。「会社法ⅡB」においては、「会社法ⅡA」に引き続いて機関に関する法規制を取り上げるとともに、会社はどのように資金を調達するか(資金調達)、会社の成果はどのように明らかにされるか(会社の計算)及び合併などの組織再編(会社の組織再編行為等)等を取り上げます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
370	春	法律	企業組織の運営と法	南川和範	木	2	5

【副題】 会社法の基礎的知識、理解を簡単な事例を通して修得する

【講義内容】

本講義においては、「会社法」を取り扱います。なかでも、会社という企業組織を運営する仕組み(会社の機関)を中心に上げます。現代社会法学科配当科目なので、体系的に授業を進めるのではなく、適宜事例を設定して問題解決的に進めます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとることが予定されています。したがって、いわゆる「講義」(しかも体系的「講義」)を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
371	秋	法律	企業組織の資金調達と法	南川和範	木	2	5

【副題】 会社法の基礎的知識、理解を簡単な事例を通して修得する

【講義内容】

本講義においては、「会社法」を取り扱います。なかでも、会社という企業組織が資金を調達する場合の法規制を中心に取り上げます。現代社会法学科配当科目なので、体系的に授業を進めるのではなく、適宜事例を設定して問題解決的に進めます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとることが予定されています。したがって、いわゆる「講義」(しかも体系的「講義」)を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
372	春	法律	特殊講義Ⅸ/Ⅲ 金融商品取引法	村上康司	水	1	5

【副題】 金融商品取引に関する基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、金融商品取引を規制する金融商品取引法の基礎的な知識の習得を目標とする。さまざまな金融商品のうち、特に有価証券に関して、企業・投資家・証券会社といったそれぞれの立場からのかかわりを通じて、市場の基本的な仕組みを理解できるように講義を展開していきたい。また、日産のケースなど近時間問題となっている事例等も積極的に紹介していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
373	秋	法律	特殊講義ⅩⅢ/V 企業法特講	村上康司	水	1	5

【副題】 数字で学ぶ会社法ルール

【講義内容】

法律学は、さまざまな当事者の存在を前提に、社会において望ましいルールを模索する。それゆえ、不利益を受ける者への手当てを欠くルールや解釈論は、広く受け入れられる法律論とはいえない。そのため、当事者がどのような利害状況にあるのかを注意深く分析する必要がある。本講義では、これらの分析のための具体的な手がかりとして、「数字」を用いて会社法の諸ルールを理解する。受講者は、経済学や会計学などの諸科学との関連性にも関心が広がれば、本学の総合大学としての利点をより一層活かすことができよう。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
374	春	法律	会社法Ⅰ(設立・株式等)A	村上康司	水	2	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅰで取り扱われるのは、①②③および④の一部である。このうち、Aでは、①②および③の前半が取り扱われる。これに続く部分は、秋学期の会社法Ⅰ(設立・株式等)Bで触れることとなる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみ砕いて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
375	秋	法律	会社法Ⅰ(設立・株式等)B	村上康司	水	2	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅰで取り扱われるのは、①②③および④の一部である。このうち、Bでは、③の後半および④の一部が取り扱われる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみ砕いて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
376	春	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	村上康司	水	3	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、会社法典を大きく二分し、その後半部分を取り扱う。会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅱで取り扱われるのは、④⑤⑥⑦である。このうち、Aでは、④が取り扱われる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみくだいて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
377	秋	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	村上康司	水	3	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、会社法典を大きく二分し、その後半部分を取り扱う。会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅱで取り扱われるのは、④⑤⑥⑦である。このうち、Bでは、⑤⑥⑦が取り扱われる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみくだいて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
378	春	法律	保険法A	山野嘉朗	水	1	5

【副題】 保険契約総論・損害保険契約

【講義内容】

保険および保険契約の仕組み・特色ならびに損害保険契約(火災保険契約、自動車保険契約等)を対象として、配布資料を使用して学習します。教科書はとくに指定しません。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を必ず持参してください。



講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
379	秋	法律	保険法B	山野嘉朗	水	1	5
【副題】 生命保険契約・傷害疾病保険契約							
【講義内容】 生命保険契約・傷害疾病保険契約を対象として、配布資料を使用して学習します。教科書はとくに指定しません。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
380	春	法律	現代社会と保険	山野嘉朗	水	2	5
【副題】 損害保険・生命保険・傷害(疾病)保険の仕組みと法制度							
【講義内容】 ①保険および保険契約の仕組み・特色, ②損害保険契約・生命保険契約・傷害疾病保険契約を対象として、配布資料を使用して学習します。教科書はとくに指定しません。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を必ず持参してください。保険法についてのより詳しい知識を身につけたい方は、本講義よりも法律学科で開講されている保険法(A)(B)の受講をお勧めします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
381	秋	法律	交通災害と補償	山野嘉朗	水	2	5
【副題】 交通事故の民事責任と自動車保険(自賠責保険・任意保険)							
【講義内容】 交通事故の被害者は、①誰に対し、どのような法的根拠に基づいて損害賠償を請求することができるか(責任論)、また、その損害はどのように算定されるのか(損害論)②自動車保険の仕組み、③紛争解決方法を対象として配布資料を使用して学習します。教科書はとくに指定しません。参考書として藤村和夫＝山野嘉朗『概説・交通事故賠償法』(日本評論社、第3版、2014年)を推薦します。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
382	春	法律	商取引法A	山野嘉朗	木	4	5
【副題】 企業・消費者間取引の法律問題							
【講義内容】 現代社会では企業を中心に様々な取引が行われていますが、この講義では、企業・消費者間の契約における法律問題を対象とします。たとえば、コンビニで消費品を買う機会が多いが、コンビニ加盟店と本部はどのような法律関係にあり、どのような問題が生じているのか(フランチャイズ契約をめぐる法律問題)、通販や訪問販売のトラブルから消費者をどのように保護するか等の問題を実際の事件を紹介しつつ学習します。教科書はとくに指定しません。法律科目ですから、六法(小型版)を持参する必要があります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
383	秋	法律	商取引法B	山野嘉朗	木	4	5
【副題】 企業取引および決済手段の法律問題							
【講義内容】 この講義では、様々な業種(代理業、仲立業、取次業、運送営業、倉庫営業等)に関するルールおよび様々な決済手段(通貨、仮想通貨、クレジット、手形小切手等)について学びます。教科書はとくに指定しません。法律科目であるから、六法(小型版)を持参する必要があります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
384	春	その他	イノベーション論	内藤勲	水	1	10
【副題】 イノベーションとモノ・コト・ことば							
【講義内容】 ソニーが開発したウォークマンは音楽の楽しみ方を一変させました。携帯電話の普及は待ち合わせの仕方を変えました。このようにイノベーションは社会を変化させます。イノベーションという社会生態学的な変化は、三つの側面から見ることができます。一つはモノの変化です。もう一つはコトの変化です。そして三つ目がことばの変化です。三つの変化からイノベーションという社会変化に迫ります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
385	秋	現代社会	コミュニケーション論	内藤勲	水	1	10
【副題】 コミュニケーションの楽しみ方							
【講義内容】 人はコミュニケーションすることを欲しています。社会の成立にもコミュニケーションが不可欠です。コミュニケーションには心理学的な側面や社会学的な側面だけでなく、言語学的な側面や哲学的な側面もあります。本講義では、コミュニケーションの本質的な理解から出発して、説得の方法やうわさの様相、世論の形成やメディアの役割など幅広いトピックスを扱いながら、コミュニケーションの多様な側面を学びます。							

## 7. 聴講に際して

### A. 聴講生証について

「聴講生証」には、氏名、顔写真、聴講生番号、生年月日が記載されており、学内での身分証明書になりますので常に携帯してください。

\*紛失した場合、再発行料として1,500円が必要となります。

### B. 自動車登録について（日進キャンパスのみ）

自動車通学される場合は、教職員用駐車場に駐車してください（来客用駐車場には駐車しないでください）。なお、駐車するには、登録料2,200円（年度内有効）が必要となります。

\*「自動車登録申請書」はオリエンテーションで配付します。

\*半期でも登録料2,200円が必要です。

\*自転車・バイク通学の場合も登録が必要です（登録料無料）。

なお、名城公園キャンパスは、自転車、自動車およびバイクでの通学は出来ません。公共交通機関で通学してください。

### C. 教科書・参考文献について

授業で使用する教科書や参考文献については、初回授業にて各担当教員より案内があります。以下の学内書店で購入できますので、各自購入してください。

\*日進キャンパス：成文堂（第3食堂2階）・丸善（3号館1階）

名城公園キャンパス：紀伊國屋書店（キャッスルホール2階）・成文堂（アリストワー2階）

### D. 修了証書交付について

2020年度講座修了後（2021年1月下旬頃）、修了式にて「修了証書」を交付します（12月頃案内予定）。

\*「修了証書」交付可否は3分の2以上の出席などにより決定されており、交付できない場合もありますのでご了承ください。

### E. 注意事項について

- 聴講許可されている科目以外の科目は聴講できません。また、講義の録音・録画、代理受講などは禁止です。
- 科目によっては、授業の進行を学生のレベルに合わせて行うものや座席が指定される場合がありますのでご了承ください。
- 教員や他の学生、他の聴講生などに迷惑となるような行為があった場合は、聴講をお断りする場合があります。
- 学内は全館禁煙です。喫煙する際は、所定の場所にてお願いいたします。
- 健康管理に留意して聴講してください。

※上記内容を確認し、「聴講願書」下部のチェック欄に記入をしてください。

## 8. 授業について

### A. 授業時間・回数について

1回の講義は90分間で、週1回全15回の授業（半期）です。

\*キャンパスにより授業時間帯が異なりますのでご注意ください。

#### 授業時間帯

時限	日進キャンパス	名城公園キャンパス
1時限	9:30～11:00	9:00～10:30
2時限	11:10～12:40	10:40～12:10
3時限	13:30～15:00	13:10～14:40
4時限	15:10～16:40	14:50～16:20
5時限	16:50～18:20	16:30～18:00

### B. 休講・補講・教室変更について

- ・教員の公務や学会などで授業が休講
- ・休講に伴う補講
- ・当初予定していた教室（時間割表に記載の教室）が変更

などがあります。各自、大学のポータルサイト「WebCampus」または学内掲示板（日進キャンパスのみ）でご確認ください。

\*直接本人に連絡はありません

### C. 欠席連絡について

授業を欠席される場合の連絡は不要です。次回出席時に担当教員にお伝えいただき、欠席した日の授業内容などをご確認ください。

### D. 緊急時の授業の取り扱いについて

台風などの緊急時の授業については、大学ホームページにてご確認ください。

## 9. 個人情報の取り扱いについて

- 申込時の登録内容に変更があった場合はご連絡ください。
- 教員や学生、聴講生の連絡先は、個人情報となりますので一切教える事はできません。
- 本学では、資料請求・聴講願書にご記入いただいた申込者の個人情報を、細心の注意を払って適法かつ適切に管理し運用します。なお、下記の利用目的以外には使用いたしません。

### 【利用目的】

- ① 講座の管理運営（聴講許可証・聴講料納付書の送付、聴講生証作成、修了式案内など）
- ② 継続受講、新年度講座、学内公開講座などの各種案内
- ③ 受講者一覧作成および科目担当者への配付
- ④ サービス向上のため個人を特定できない形で統計処理したデータの作成と活用

※上記内容を確認し、「聴講願書」下部のチェック欄に記入をしてください。

## 10. 講義の閉講について

本学では、授業規模の適切化に取り組んでおり、授業規模の基準（講義 10 名以上、演習・語学 5 名以上）で授業を実施しております。つきましては、学生の履修状況に伴い、少人数授業（履修 10 名以下）と決定された科目は、閉講することになります。

聴講許可された科目が閉講となりました際には、科目の変更、聴講の取消、それに付随する聴講料の返還等により対応させていただきます。あらかじめご承知おきください。

## 11. Q&A

Q. 学生用のシラバス（講義概要）を閲覧できますか？

A 大学ホームページ (<http://www.agu.ac.jp>) にて検索閲覧できます。

Q. 定期試験は受けることはできますか？

A 原則、受験することはできません。受験を希望される場合は、担当教員へご相談ください。

Q. 語学のレベルは？

A シラバス（講義概要）を参考に判断をお願いします。

Q. 学割は利用できますか？

A 正規生ではないのでご利用いただけません。

Q. 開放講座と公開講座の違いは？

A 開放講座は、各学部で開講している講義を一般の方に開放し、学生と一緒に講義を受ける講座です。それに対して、公開講座は、春季講座（5月開講）と秋季講座（10月開講）があり、本学の教員が、それぞれ専門分野の立場から時事性の高いテーマについて一般の方に向けて土曜日に講義を行う講座です。

\*公開講座に対する問い合わせは「エクステンションセンター（日進キャンパス）」までお願いします。

Q. 春学期申込時に秋学期分の申込をしていませんが、秋学期の受講を希望する場合はどうすればいいですか？

A 年間を通じての聴講、秋学期のみの聴講についても春学期に申込受付をしています。定員に余裕のある科目については、8月頃追加募集を行いますので、募集科目をご確認の上お申込ください。ただし、募集人数を上回る申込があった場合は抽選となります。

Q. 大学内に食事する所はありますか？

A 日進キャンパス：けやきテラス（第1食堂、モスバーガー、スガキヤ、S&B カレーショップ）、第2食堂、第3食堂、学院会館1階レストラン、さくらテラス、ローソン  
名城公園キャンパス：くすのきテラス（キンシャチダイニング、猿Café、ローソン）  
がありますので、ご自由にご利用ください。  
※名城公園キャンパスは昼の時間、混雑の恐れがあるのでご注意ください。

Q. 大学内で体調を崩したらどうすればいいですか？

A 日進キャンパスは、保健センター（教学センター前・健康管理棟1階）、名城公園キャンパスは、メディカルルーム（アガルスタワー1階）にて診察を受けることができます。

# 公開講座のご案内



## エクステンションセンター

春学期・秋学期に各全4回、1つの総合テーマを各専門分野の教員が様々な視点から講演をおこないます。

### 1.総合テーマ「続・自然災害と向き合う」

春季日進キャンパス 毎週土曜日（10時～12時）

秋季名城公園キャンパス 毎週木曜日（18時～20時）

講演者名	所属学部	個別テーマ	春季(日進)	秋季(名城)
福島 金治	文(歴史)	中世日本の災害と復興～地震・津波を中心に～	5/16(土)	10/22(木)
山本 清司	薬	大規模災害と薬～平常時の備えと災害時の対応～	5/23(土)	10/29(木)
古田 学	経済	自然災害と生産ネットワーク～製造業における災害のリスク～	5/30(土)	11/5(木)
塚本 早織	教養	心理学から考える防災～災害時に適切な行動がとれない理由とは～	6/6(土)	11/12(木)

### 2.総合テーマ「現代社会の多様性を考える」

春季名城公園キャンパス 毎週木曜日（18時～20時）「名古屋市キャンパス講座」

秋季日進キャンパス 毎週土曜日（10時～12時）

講演者名	所属学部	個別テーマ	春季(名城)	秋季(日進)
鈴木 伸智	法	多様化する家族～家族の形成過程を中心に～	5/28(木)	10/3(土)
高木(北山) 眞理子	文 (英語英米 文化)	多文化社会における寛容と不寛容～アメリカの日系人強制収容に学ぶ～	6/4(木)	10/17(土)
中澤 優介	商	アカウントビリティを履行するということ ～多様な責任を果たすには～	6/11(木)	10/10(土)
千野 直仁	心身科学 (心理)	多様な社会における達成感・喪失感・孤独感からの旅立ち ～心理学・医学・生物学・物理学的視点からの考察～	6/18(木)	10/24(土)

受講料：2,000円(税込み) 資料代として 全4回分

特典：図書館を利用できるライブラリーカード、日進キャンパスは講座当日の駐車場利用料（無料）

但し、名城公園キャンパスは駐車場利用不可

○申込期間 日進キャンパス 春季：4/2～4/17 秋季：8/27～9/9  
名城公園キャンパス 春季：4/2～4/27 秋季：8/27～9/25

○申込方法 下記連絡先へ、①受講希望キャンパス名 ②氏名 ③年齢 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号を明記して、「FAX」、「メール」、「郵送」にて、お送り下さい。

この講座は先着順とし、締切後に振込用紙を送付します。

携帯・スマホはこちらから



連絡先：〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

愛知学院大学 エクステンションセンター 公開講座係 (3号館1F 丸善書店隣)

TEL：0561-73-1111 (代表) FAX：0561-73-9222 E-mail：koukai-k@dpc.agu.ac.jp

# オープンカレッジのご案内



## エクステンションセンター

愛知学院大学では、一般の方に大学の施設を開放し学びの場として、生涯学習の要請に応えるよう努めています。学びたいという思いのある方、ぜひ本学のオープンカレッジに参加してみませんか？オープンカレッジの教室は一般社会人の方のみで構成されます。楽しく学べます！

開講時期：春学期/5月中旬～7月中旬 秋学期/10月初旬～12月中旬

講座回数：全10回および全6回（1回90分）

受講料：10回講座 16,500円(税込) 6回講座 9,900円(税込) \*語学系講座は別途テキスト代が必要

駐車料：2,200円(2021年3月末まで利用可)

特典：図書館を利用できるライブラリーカード

## 予定講座 〈詳細が決まり次第、順次大学のホームページにUPします〉

### ○全6回講座

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| ●民俗学入門（春学期のみ） | 日本の民間伝承とその成り立ちを考える |
|---------------|--------------------|

### ○全10回講座

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| ●日本仏教の世界（春学期のみ）       | 仏教は、人と人がともに生きる世界をどのように描いてきたのか。日本の仏教者の思想の中に、ともに生きることの意味を見出し、わたしたちにとって生きる糧とは何かを考えます。 |
| ●折り紙で脳トレしよう（秋学期のみ）    | 折り紙で楽しく脳トレしましょう  |
| ●日常英会話（英検3級程度）        | 自分の考えや意見を正確に伝達できるようになるための発展的な能力を演習形式で身に付ける   |
| ●トラベル英会話（英検3級程度）      | 楽しく学ぶ旅行英会話プラス基本的な文法の復習とポップソングを聞いてリスニング強化に取り組む                                      |
| ●楽しく触れ合う韓国語（入門～初級）    | 韓国と韓国語にたくさん触れ合う、初心者向けの講座   |
| ●表現力アップのための韓国語（初級～中級） | 文法を学びながら日常会話に慣れ、使いこなせるように指導します。  |

受講生の声 ○大変楽しく興味深く受講させていただきました。先生たちの授業を通じて新たな発見がいくつもありました。  
○やはり脳トレでした。自分の頭がこれほど硬くなっていた事に気付かされました。頭脳が新鮮になったような気がし、すっきりして順序だてて物事を考えられるようになった気がします。  
○講師の先生のお人柄、独特な考え方に興味があり楽しく学ばせて頂きました。新しい知識も増え、幾つになっても学ぶことが出来ることに満足しています。

\*お問合せは下記連絡先まで

連絡先：〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12

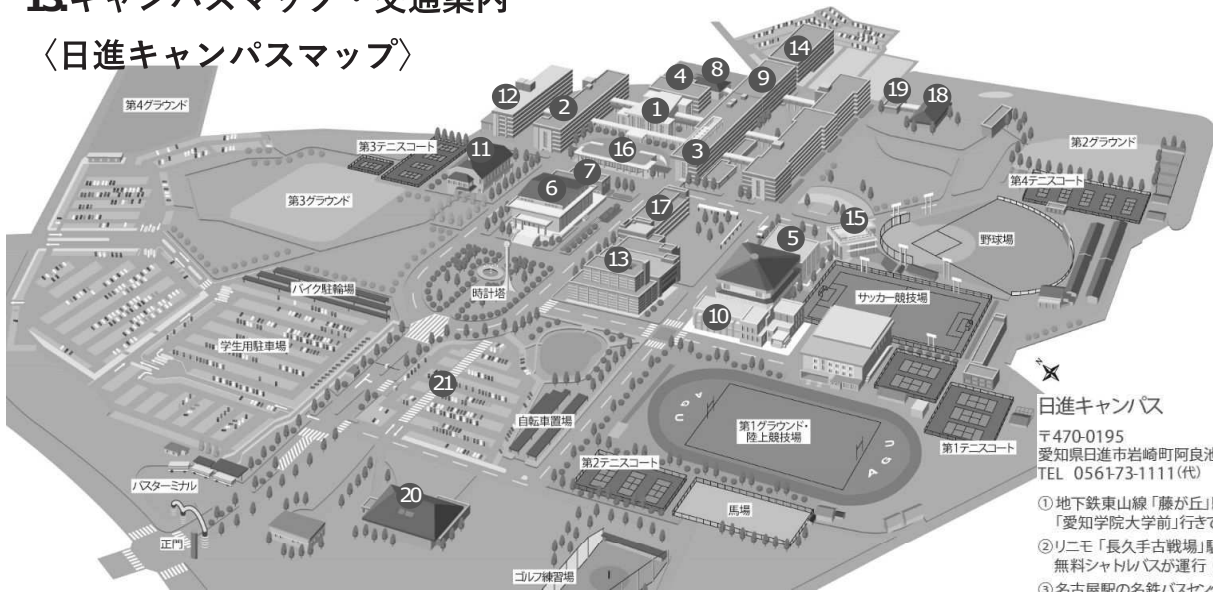
愛知学院大学 エクステンションセンター オープンカレッジ係（3号館1F 丸善書店隣）

TEL：0561-73-1111（代表） FAX：0561-73-9222 E-mail：ocollege@dpc.agu.ac.jp



# 13 キャンスマップ・交通案内

## 〈日進キャンスマップ〉



日進キャンパス

〒470-0195  
愛知県日進市岩崎町阿良池12  
TEL 0561-73-1111(代)

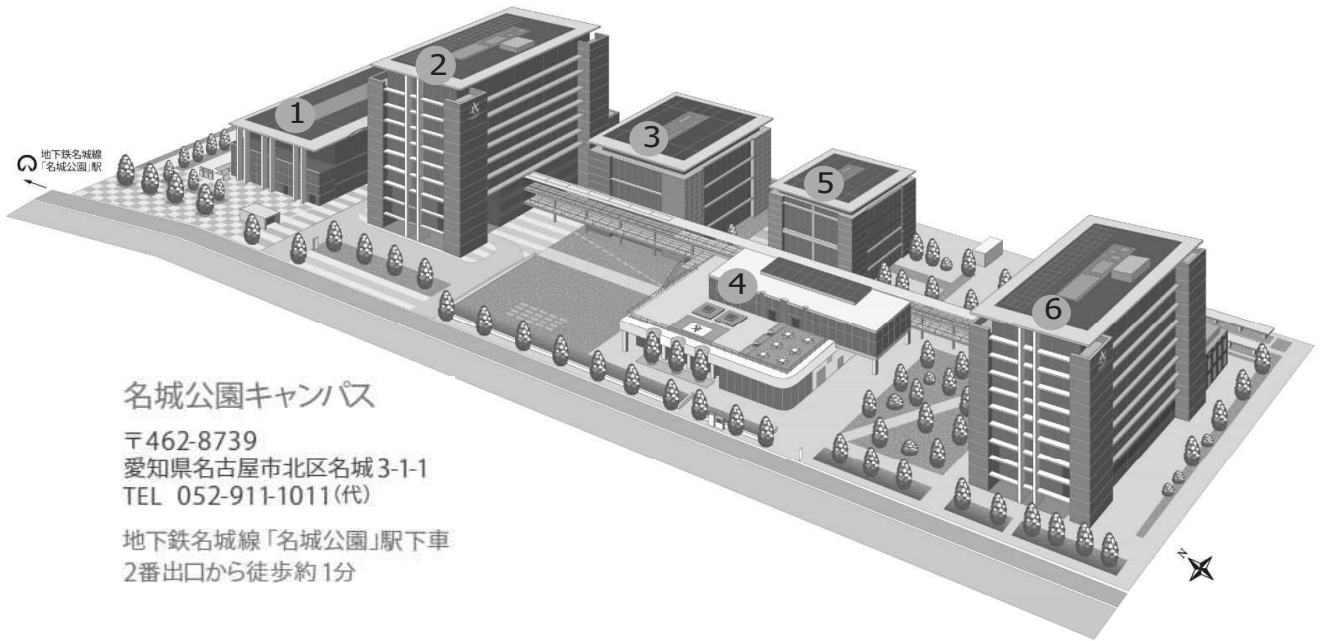
- ① 地下鉄東山線「藤が丘」駅から名鉄バス「愛知学院大学前」行きで約10分
- ② リニモ「長久手古戦場」駅からは無料シャトルバスが運行(約7分)
- ③ 名古屋駅の名鉄バスセンターから高速バスで約40分

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 1号館<br/>・ネットワークセンター</li> <li>② 2号館</li> <li>③ 3号館<br/>・エクステンションセンター<br/>・丸善書店<br/>・オクムラ写真館<br/>・心理臨床センター</li> <li>④ 4号館</li> <li>⑤ けやきテラス<br/>・多目的ホール</li> <li>⑥ 講堂</li> <li>⑦ 健康管理棟<br/>・保健センター</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 第2食堂</li> <li>⑨ 9号館<br/>・情報処理教育センター</li> <li>⑩ AGUスポーツセンター<br/>第3食堂</li> <li>⑪ 学生ホール<br/>・AGUライフショップ<br/>・トラベルセンター<br/>・成文堂書店</li> <li>⑫ 12号館</li> <li>⑬ 図書館情報センター</li> <li>⑭ 14号館</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑮ さくらテラス<br/>・ローソン<br/>・Cafe Box</li> <li>⑯ 教学センター<br/>・教務課<br/>・学生課</li> <li>⑰ 本部棟</li> <li>⑱ 坐禅堂</li> <li>⑲ 禅研究所</li> <li>⑳ 学院会館</li> <li>㉑ 教職員・聴講生駐車場</li> </ul> |
|--|--|--|

## 交通アクセス

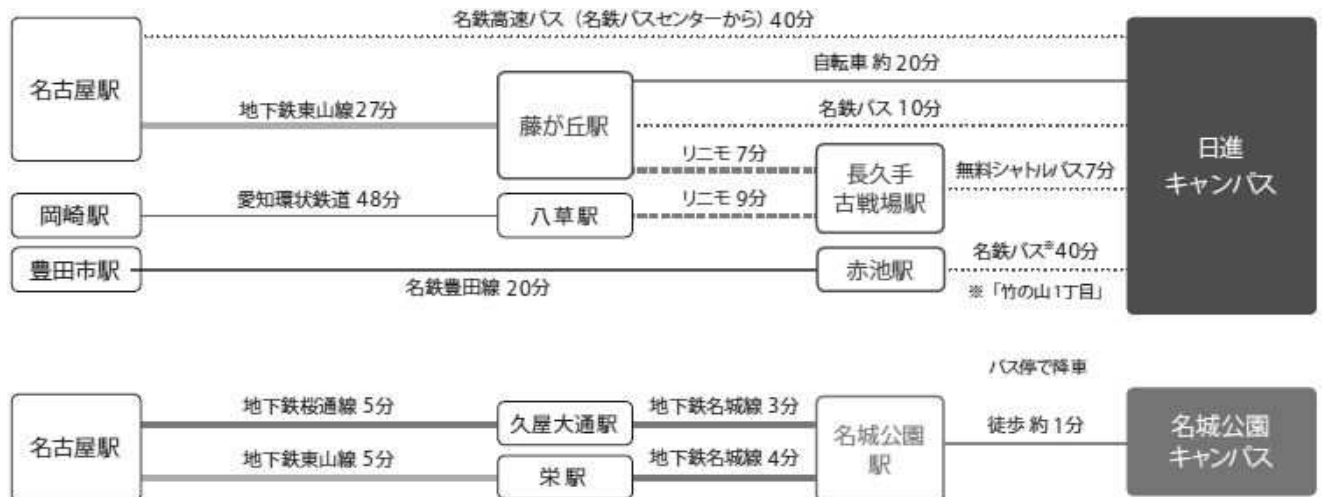


# 〈名城公園キャンパスマップ〉



- 1 Castle Hall**  
キャッスルホール  
・紀伊國屋書店
- 2 Agals Tower**  
アガルスタワー  
・インフォメーション  
・メディカルルーム  
・地域連携センター  
・放光台（坐禅室）  
・アクティブ・ラーニング教室  
・アガルスホール
- 3 Intelligence Cube**  
インテリジェンスキューブ  
・Cubic Lab（ICT教室）  
・Cubic Lib  
図書館情報センター名城公園キャンパス分館
- 4 Kusunoki Terrace**  
くすのきテラス  
・猿Café  
・キンシャチダイニング  
・ローソン
- 5 Hub Cube**  
ハブキューブ  
・名城公園キャンパス事務室  
・Hubラウンジ
- 6 Alice Tower**  
アリスタワー  
・アカデミックcommons  
・成文堂  
・エクササイズスタジオ

## 主要駅からの所要時間



# ◎記入例

## 愛知学院大学 開放講座聴講願書

\*太枠内をご記入ください

受付番号		聴講生番号		提出日	2020年 2月 13日
フリガナ	アイガク タロウ	生年月日	満 (62) 歳	性別	男・女
氏名	愛学 太郎	西暦	1957年 12月 20日生		
住所	〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12		不鮮明な場合受付できません。 P.2 をご確認ください		
	Tel (自宅)	0561-73-0000	Fax	0561-73-0000	
	Tel (携帯)	090-0000-0000	E-mail	aigaku@x x x	

写真貼付欄  
サイズ  
4cm×3cm

スナップ写真不可  
無背景

写真裏面に氏名を  
記入して貼付

キ  
リ  
ト  
リ

	講義番号	科目名	担当者名	開講学期 (○で囲む)	曜日時限	第2希望の有無
聴講科目	1	52 現代社会と宗教 I	小林 奈央子	春・秋	金 2	<input type="radio"/>
	2	53 現代社会と宗教 II	小林 奈央子	春・秋	金 2	<input type="radio"/>
	3	※2020年度より法学部開講科目はすべて名城公園キャンパス開講となっております。お申し込みの際はご注意ください。 ※日進・名城公園キャンパスの移動には約1時間かかります。お申込の前に希望科目の曜日・時限・キャンパスを確認してください。 ※第2希望がある場合は、「第2希望の有無」欄に「○」を記入し、下記「第2希望」欄に希望科目ご記入ください。 ※ご希望の科目は1行につき1科目ご記入ください。				
	4					
	5					
	6					
第2希望	1	42 仏教と文化 I	木村 文輝	春・秋	火 1	52
	2	43 仏教と文化 II	木村 文輝	春・秋	火 1	53
	3			春・秋		
聴講理由	聴講理由は可能な限りご記入ください。					
	確認の上、必ずチェックをお願いします。					
	※ <input type="checkbox"/> 「7. - E.注意事項について (P.110)」の内容を承諾しました。					
	※ <input type="checkbox"/> 「9. 個人情報の取り扱いについて (P.112)」同意します。(申込前に必ずご確認いただき、チェックを入れてください)					

抽選にはずれた場合に、第2希望の科目がある場合は「○」を記入。

第1希望にしていた「講義番号」を記入。

※この「聴講願書」にご記入いただきました個人情報は、細心の注意を払って適法かつ適切に管理し、運用します。

過去の聴講経験回数を記入してください (同年度(春・秋)は1回とします)	回
2019年度に聴講された方は 聴講生番号をご記入ください	D19

※ 用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。	
科目	,000円

## 愛知学院大学 開放講座聴講願書

\*左ページの記入例をよく読み、太枠内をご記入ください

受付番号		聴講生番号		提出日	2020年 月 日	
フリガナ		生年月日	満( )歳	性別	男・女	写真貼付 サイズ 4cm×3cm  <b>スナップ写真不可 背景無地</b>  写真裏面に氏名 を記入して貼付
氏名		西暦	19 年 月 日生			
住所	〒					
	Tel (自宅)		Fax			
	Tel (携帯)		E-mail			

	講義番号	科目名	担当者名	開講学期 (○で囲む)	曜日時限		第2希望の有無
聴講科目	1			春・秋			
	2			春・秋			
	3			春・秋			
	4			春・秋			
	5			春・秋			
	6			春・秋			
第2希望	1			春・秋			
	2			春・秋			
	3			春・秋			

聴講理由	<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div>
------	---

- ※  「7. - E.注意事項について (P.110)」の内容を承諾しました。
- ※  「9. 個人情報の取り扱いについて (P.112)」同意します。 (申込前に必ずご確認いただき、チェックを入れてください)

※この「聴講願書」にご記入いただきました個人情報は、細心の注意を払って適法かつ適切に管理し、運用します。

過去の聴講経験回数を記入してください (同年度(春・秋)は1回とします)	回
2019年度に聴講された方は 聴講生番号をご記入ください	D19

※用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。

科目	,000円
----	-------



AICHI GAKUIN  
UNIVERSITY

問合せ先・聴講願書提出先

愛知学院大学  
教務課「開放講座」係

〒470-0195  
愛知県日進市岩崎町阿良池12  
TEL: (0561)73-1111(代)  
FAX: (0561)74-1607  
ホームページ: <http://www.agu.ac.jp>  
E-mail: [kaiho@dpc.agu.ac.jp](mailto:kaiho@dpc.agu.ac.jp)  
受付時間: 平日8:50~17:45  
※授業期間のみ